

# 宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会

## 第1回委員会資料

平成22年11月29日

社団法人 日本港湾協会

## 目 次

序. 委員会の目的と手順	1
1. 仙台湾各港の現状	3
1. 1 仙台湾各港の概要	3
(1) 宮城県港湾の位置	3
(2) 臨港区域及び港湾区域の指定状況	6
(3) 現有機能と位置づけ	9
(4) 空間利用状況	12
1. 2 各港の利用状況	15
(1) 各港の利用動向	15
(2) 取扱貨物の背後地流動状況	41
(3) 東北他港との比較	43
1. 3 仙台湾各港のあゆみと港湾計画の経緯	50
(1) 仙台湾各港のあゆみ	50
(2) 港湾整備の歴史	51
(3) 現港湾計画の概要	62
2. 経済社会環境の動向	72
2. 1 我が国及び東北地方を取り巻く経済社会の動向	72
(1) 我が国を取り巻く経済社会環境の変化	72
(2) 宮城県及び東北地方の経済社会の動向	77
(3) 新たな国土形成計画の動き	101
2. 2 港湾行政の動き	104
(1) 国際コンテナ戦略港湾の目的と選定結果	104
(2) 国際バルク戦略港湾の目的と候補港湾	107
(3) 重点港湾の目的と選定港湾	108
3. 統合の意義と必要性	109
3. 1 仙台湾各港の課題	109
3. 2 仙台湾のポテンシャル	114
3. 3 統合の意義と必要性	115
(1) 統合の背景と必要性	115
(2) 統合の方針と必要性	116
(3) 統合の意義（メリット）	117

## 序. 委員会の目的と手順

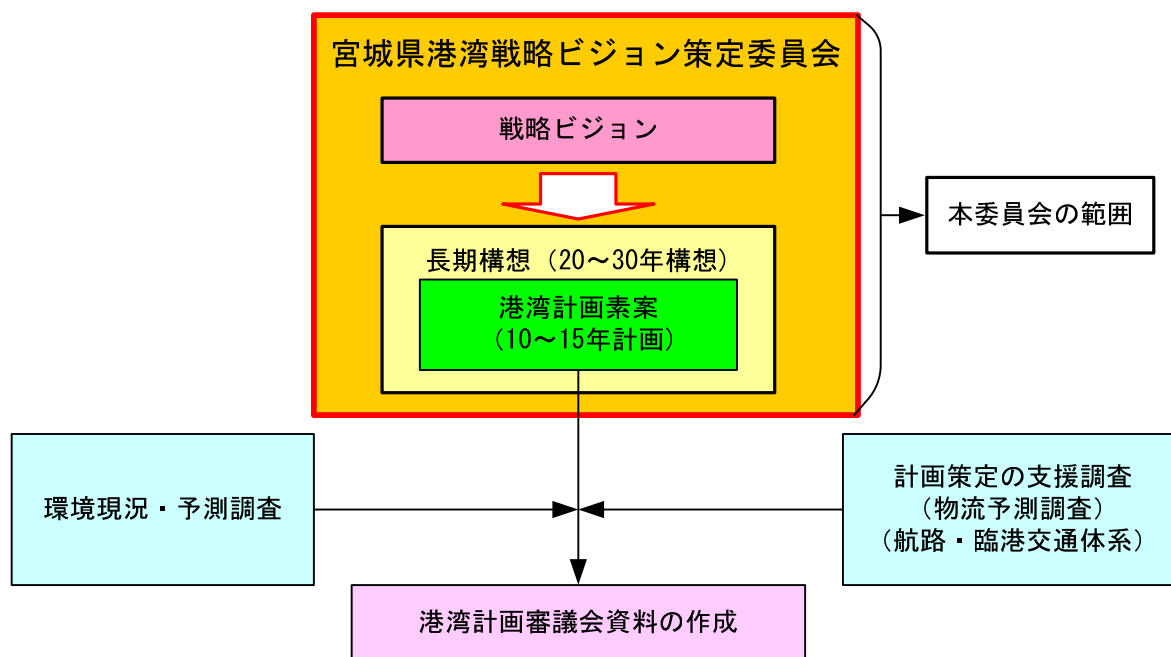
### 序. 1 委員会の目的

本委員会は、仙台湾内に位置する仙台塩釜港、石巻港、松島港（以下、統合港湾という）を対象とし、近年の経済社会及び港湾行政の動向を踏まえて、統合港湾が宮城県はもとより東北地方の産業及び生活基盤として、地域経済の活力維持や暮らしの安定に貢献していくため、3港が一体となった統合港湾の将来ビジョンとその実現に向けた戦略、長期構想及び港湾計画素案について検討するものである。

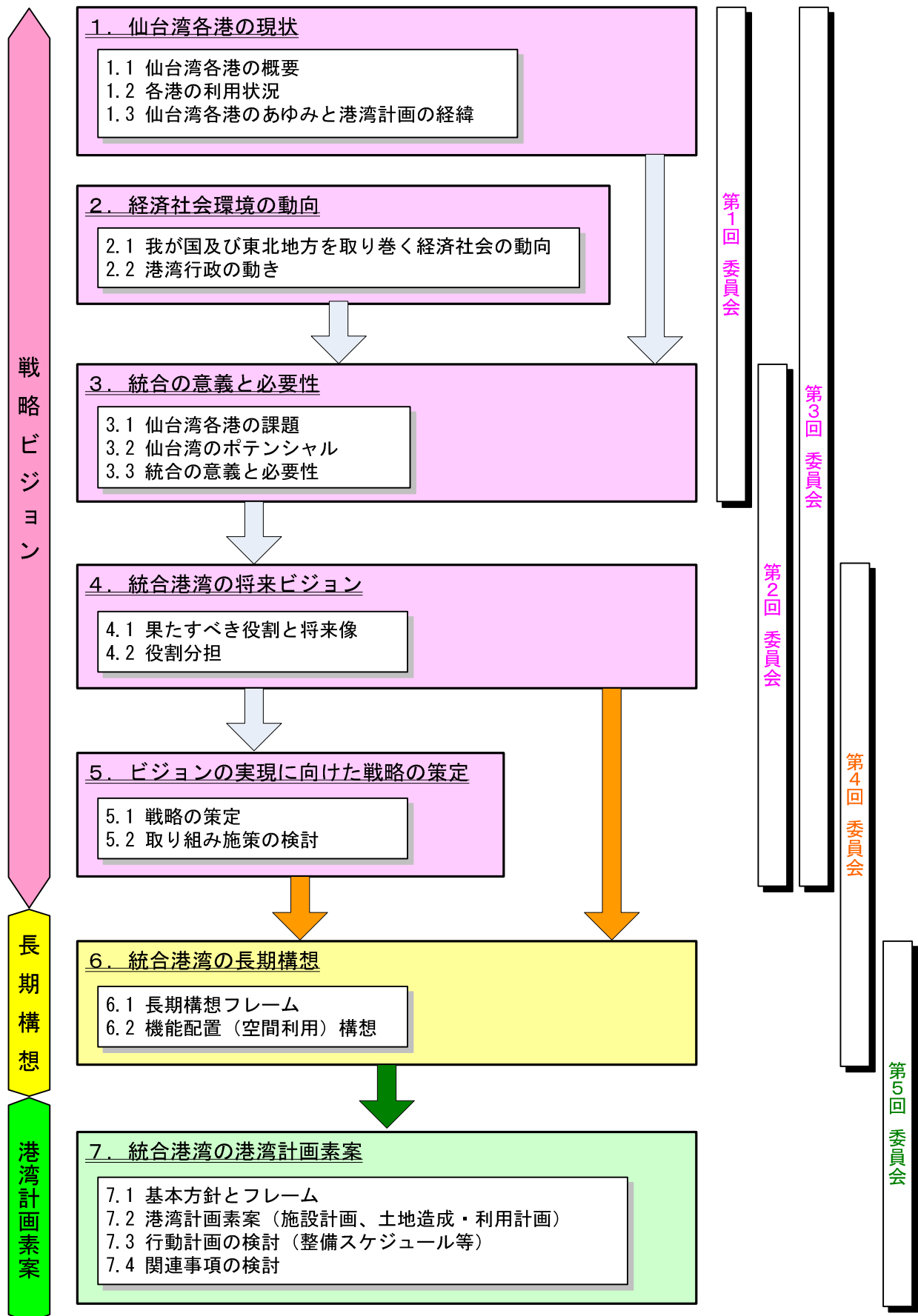
### 序. 2 委員会の位置づけ

本委員会の位置づけを以下に示す。

本委員会は、今後進められる統合港湾の港湾計画改訂に当たり、戦略ビジョン、長期構想及び港湾計画素案を検討するものである。



### 序. 3 委員会の内容と手順



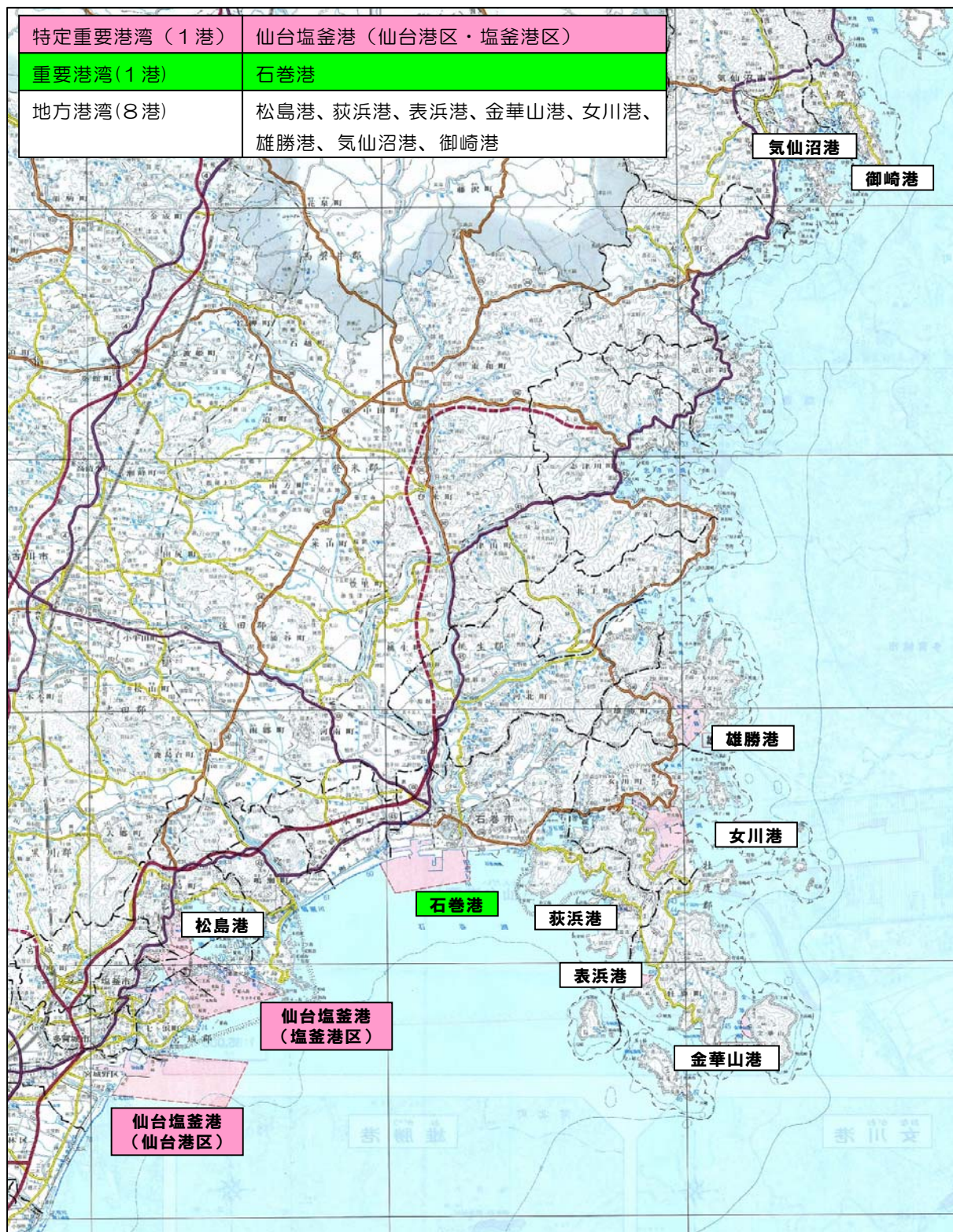
# 1. 仙台湾各港の現状

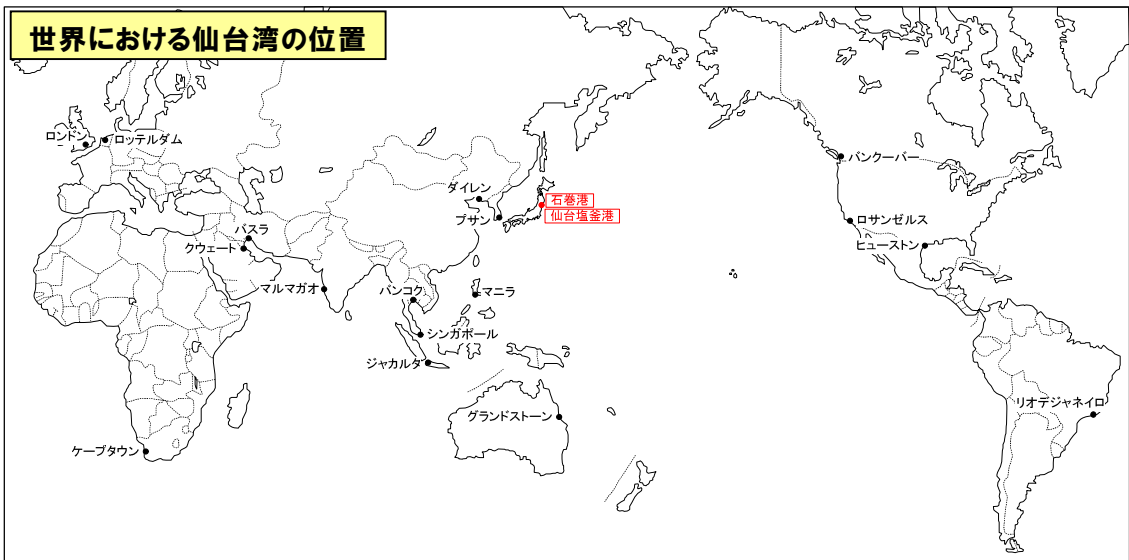
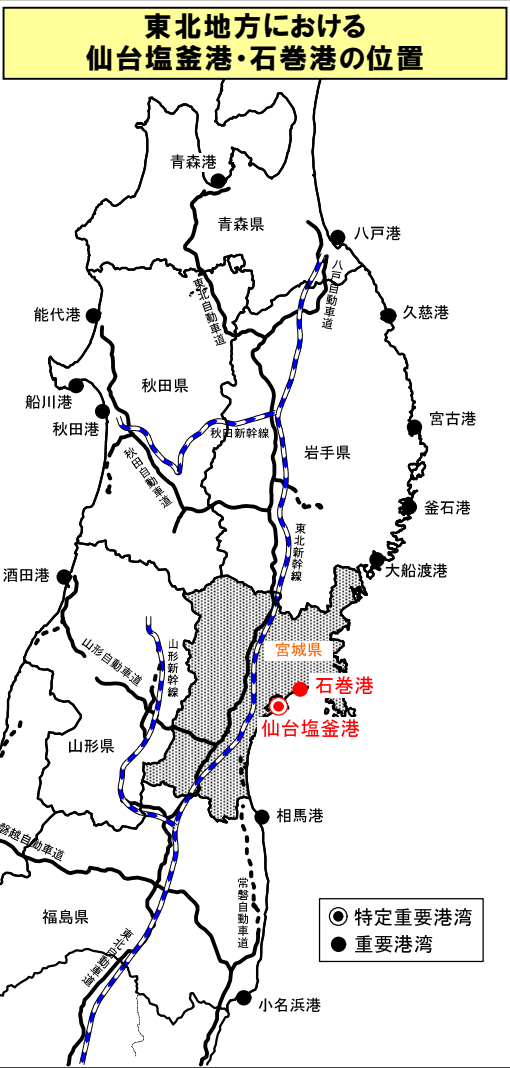
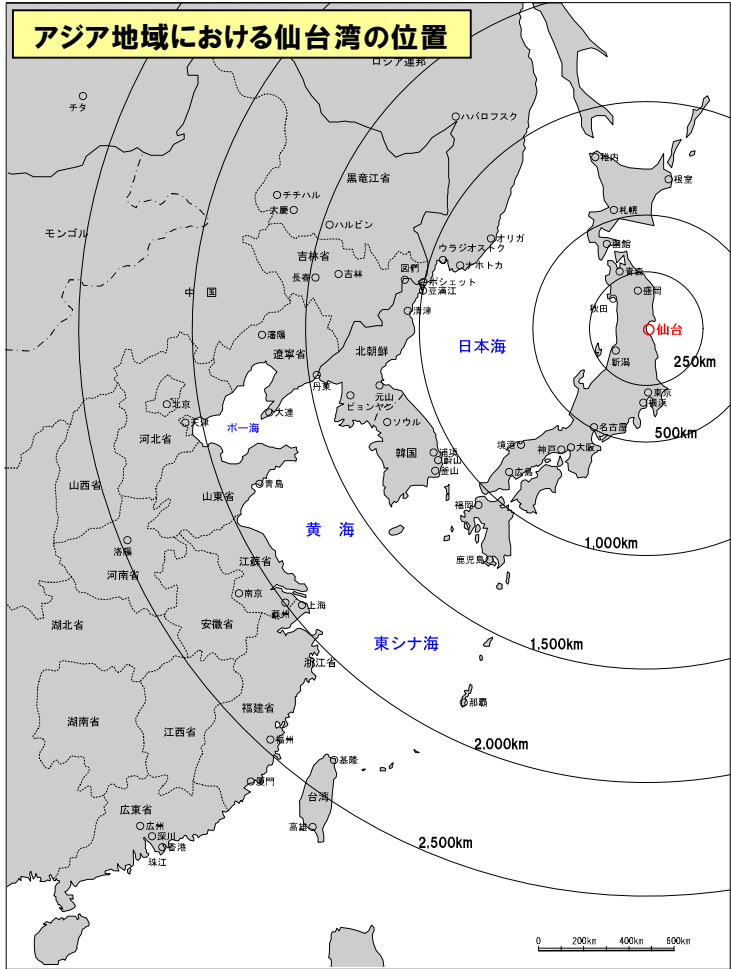
## 1.1 仙台湾各港の概要

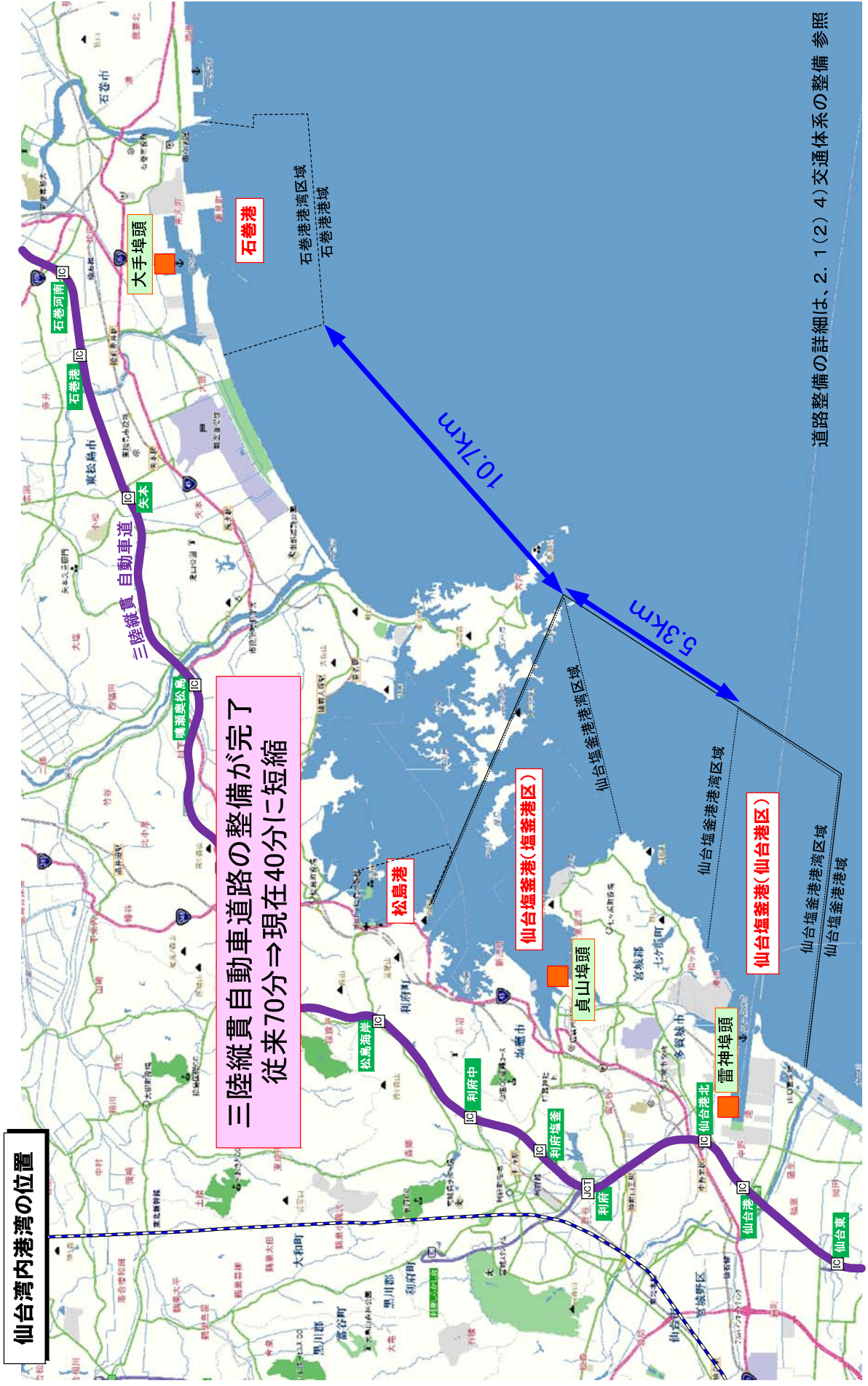
### (1) 宮城県港湾の位置

宮城県内には、特定重要港湾1港、重要港湾1港、地方港湾8港、計10港が整備されている。

各港の位置は次図のとおりである。







仙台湾内港湾の位置

三陸縦貫自動車道の整備が完了  
従来70分⇒現在40分に短縮

道路整備の詳細は、2.1(2)4)交通体系の整備 参照

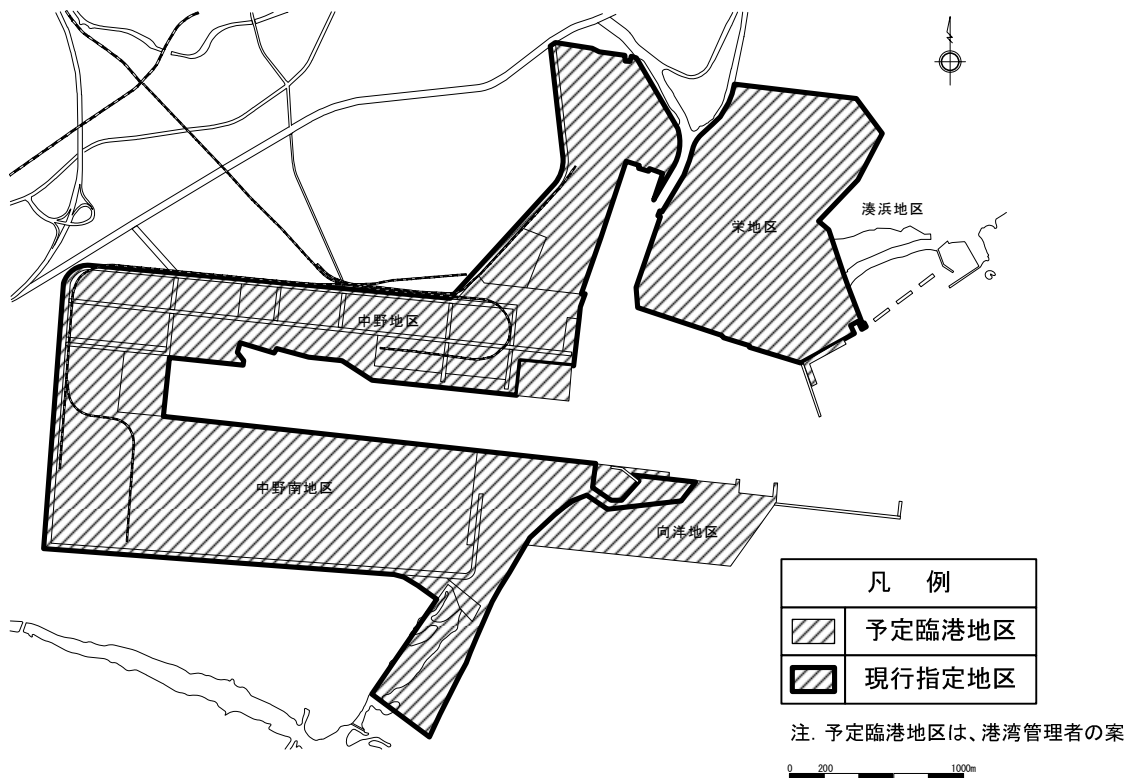
## (2) 臨港地区及び港湾区域の指定状況

### 1) 仙台塩釜港

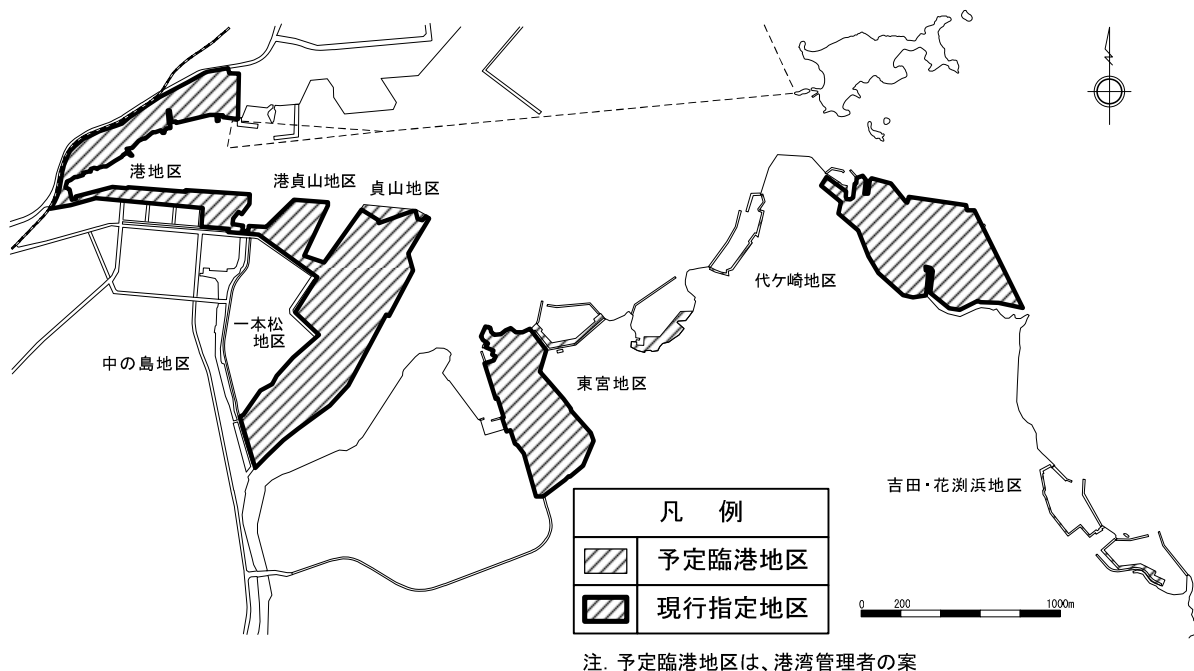
仙台塩釜港の現在の臨港地区は、仙台港区は平成 22 年 5 月 18 日仙台市告示第 191 号により、また、塩釜港区は平成 22 年 5 月 18 日宮城県告示第 517 号により指定されている。

現港湾計画の遂行に伴い、港湾の管理・運営を円滑に行うために必要と考えられる臨港地区（港湾管理者案）は、次のとおりである。

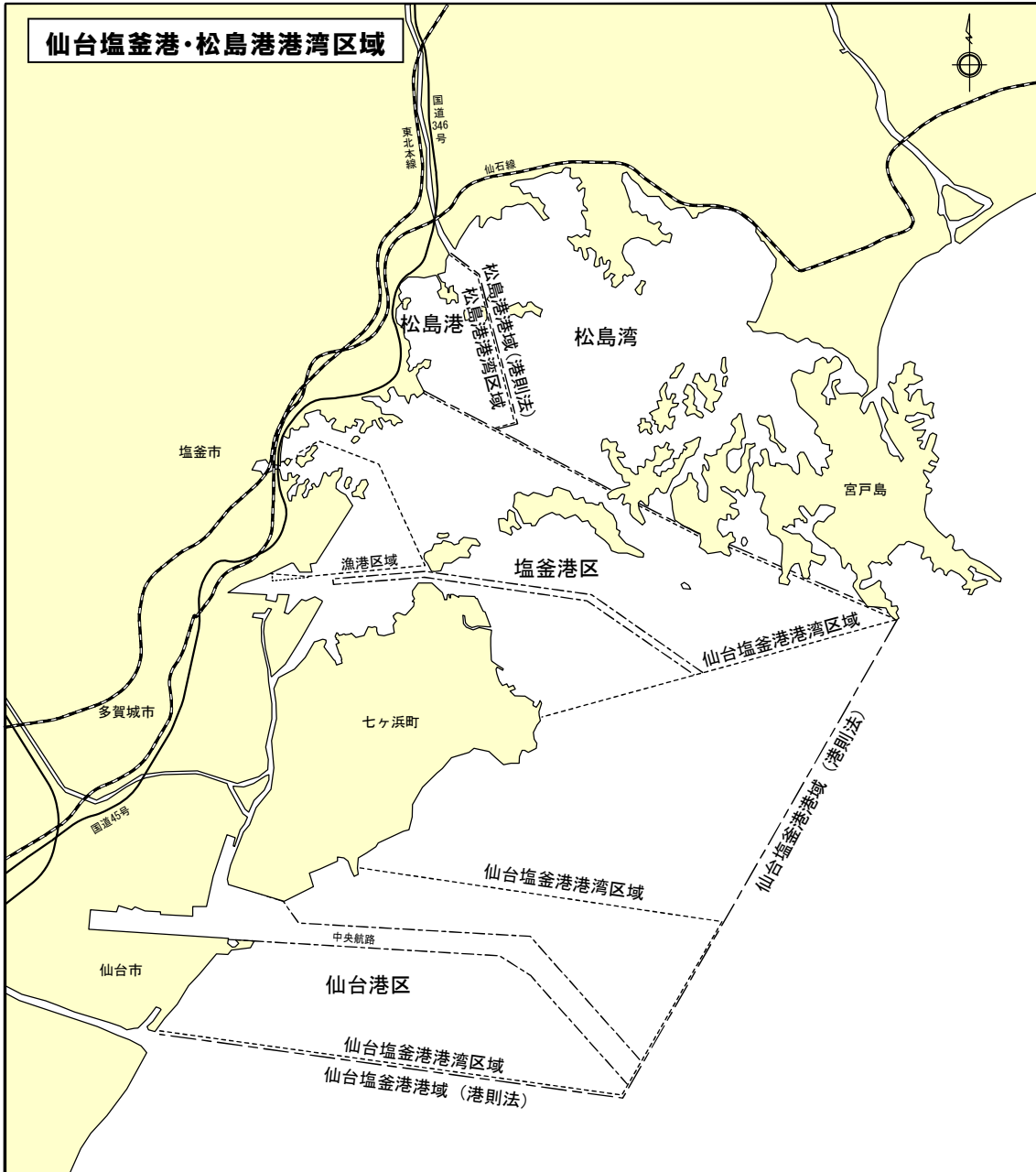
現況及び港湾管理者案の臨港地区の範囲（仙台港区）



現況及び港湾管理者案の臨港地区の範囲（塩釜港区）





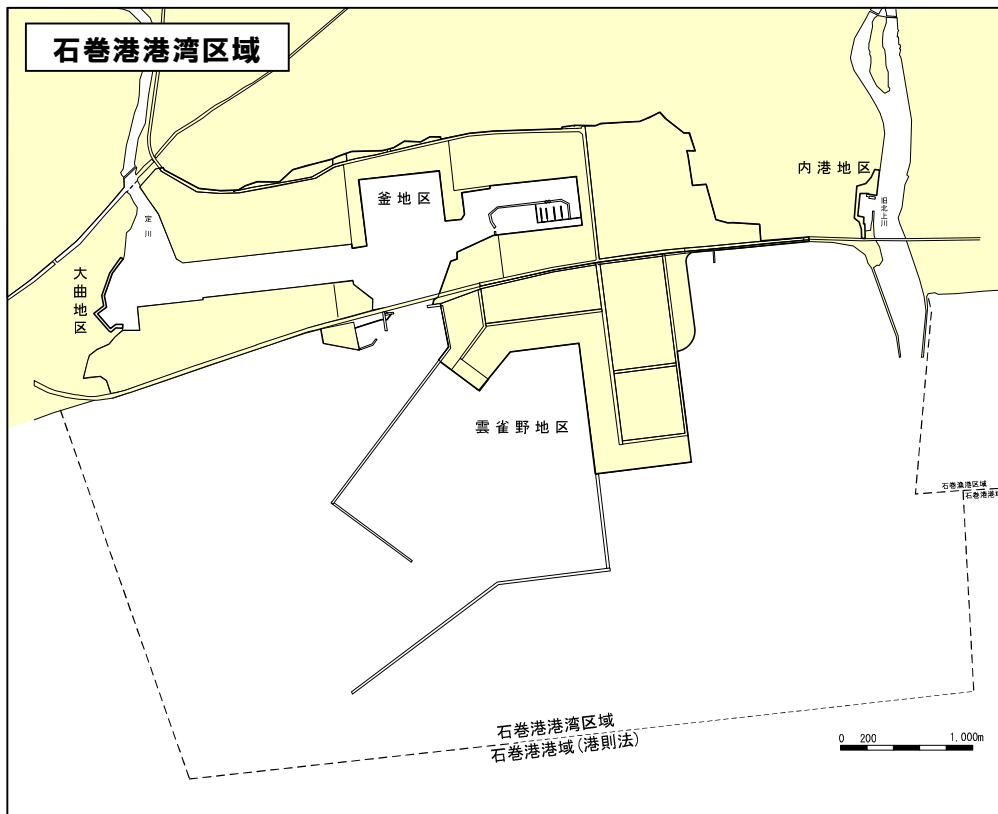
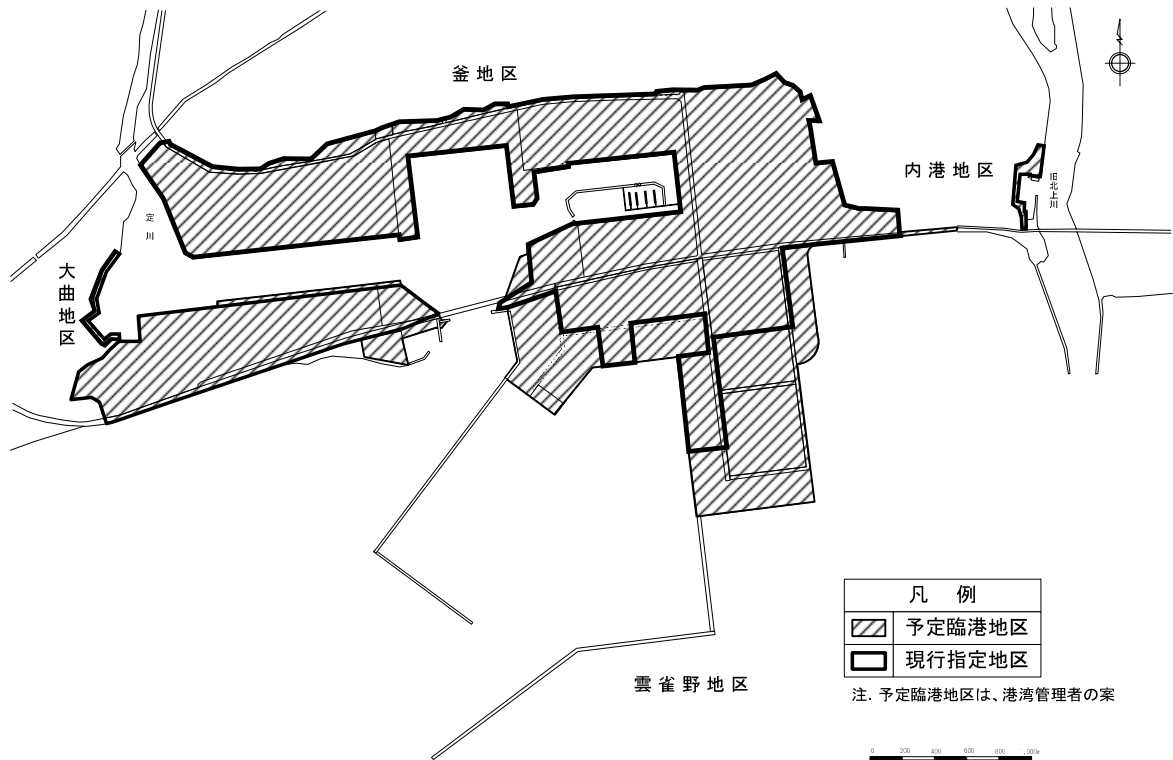


## 2) 石巻港

現在指定されている臨港地区は、平成 22 年 5 月 18 日 宮城県告示第 521 号により指定されている。

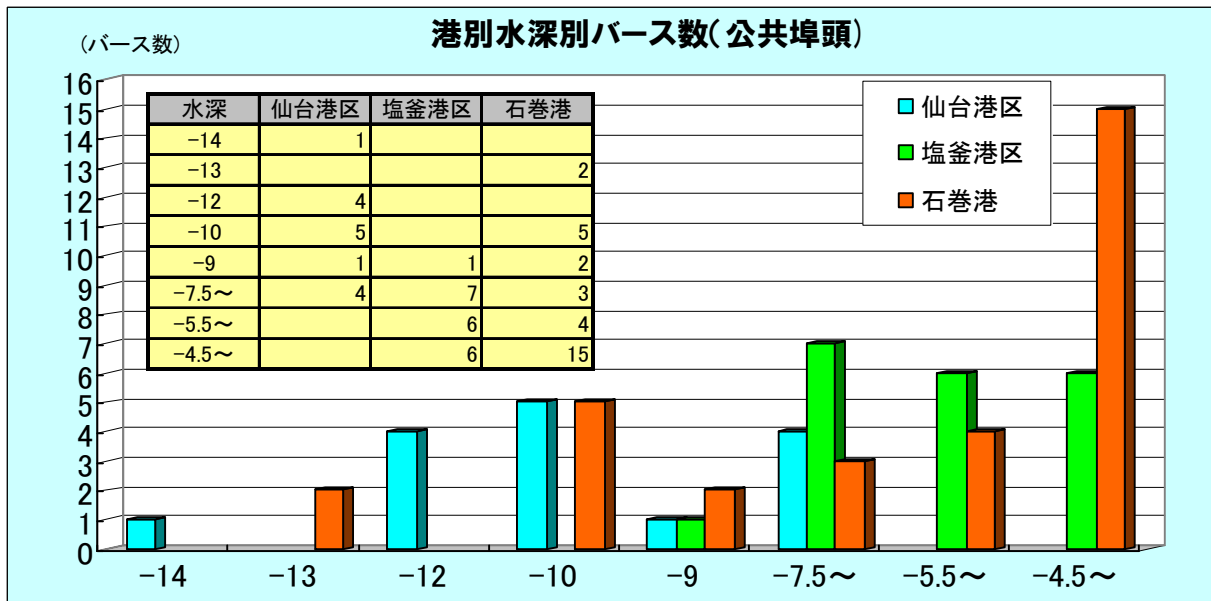
現港湾計画の遂行に伴い、港湾の管理運営を円滑に行うために必要と考えられる臨港地区(港湾管理者案)は、以下のとおりである。

現況及び港湾管理者案の臨港地区の範囲(石巻港)

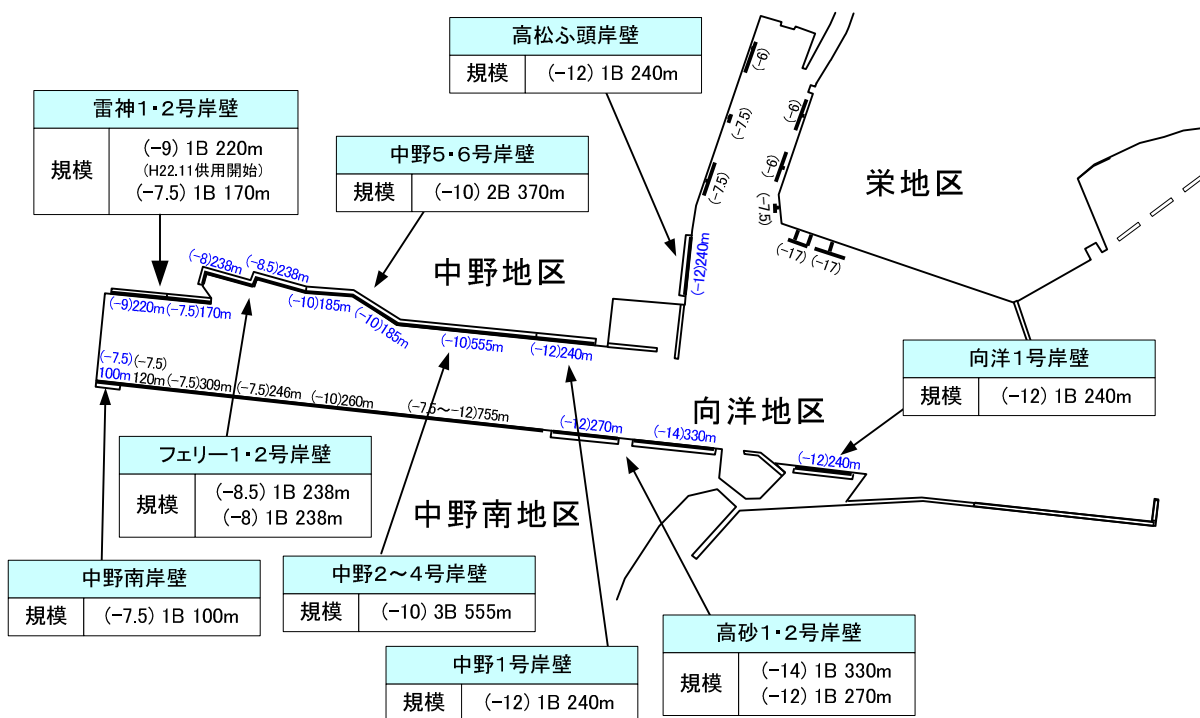


(3) 現有機能と位置づけ

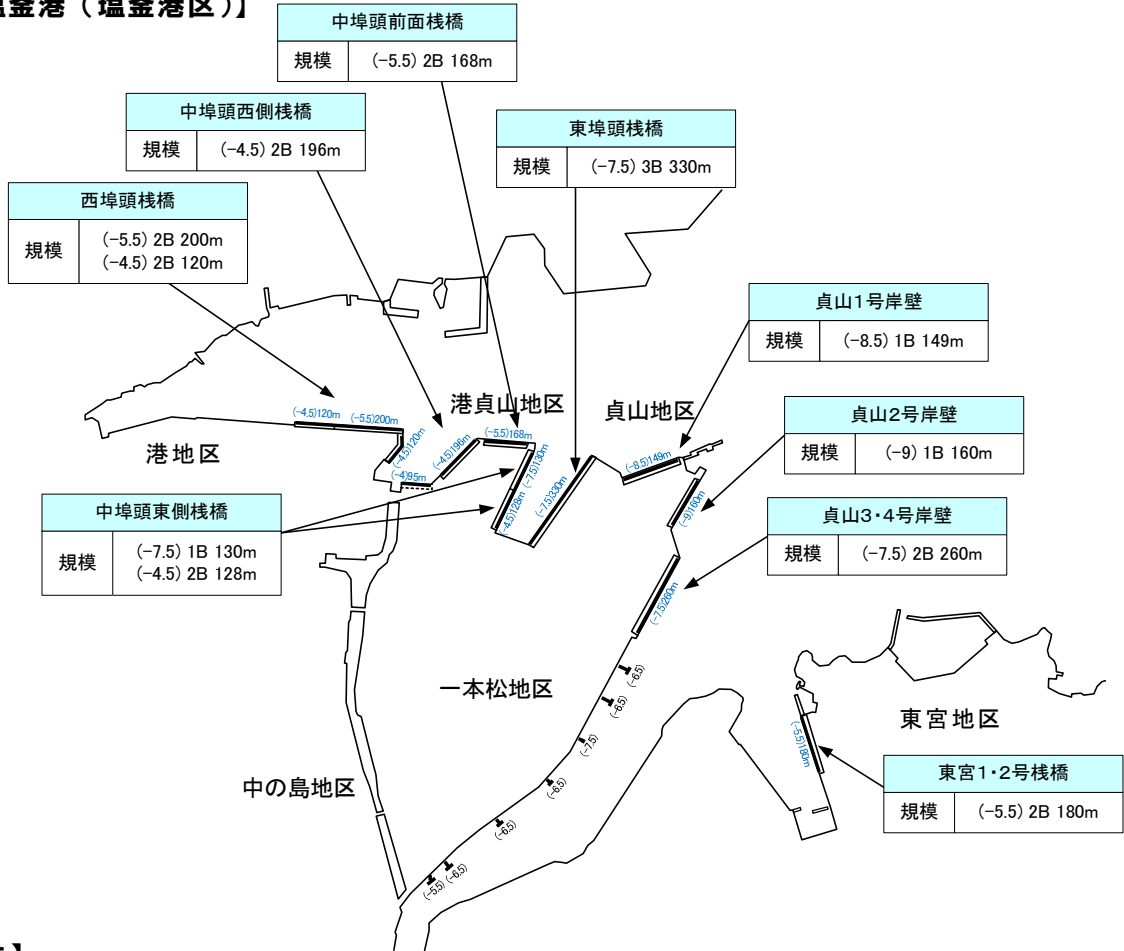
港格	特定重要港湾		重要港湾	地方港湾
港湾名	仙台塩釜港(仙台港区)	仙台塩釜港(塩釜港区)	石巻港	松島港
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の自動車輸送の拠点</li> <li>・穀物等バルク貨物輸送拠点</li> <li>・エネルギー産業拠点(電力、原油、石油製品)</li> <li>・国際コンテナ5航路(週5便)</li> <li>・国内コンテナ7航路(週13便)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業(観光・水産加工)の輸送拠点</li> <li>・内貿バルク貨物の輸送基地</li> <li>・日本三景松島観光の玄関</li> <li>・マリインレジャーの拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製紙産業の生産拠点</li> <li>・東北の木材・飼料供給基地</li> <li>・宮城県の開発拠点・工業港</li> <li>・東北南部の広域リサイクルポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本三景松島観光の拠点</li> <li>・世界に誇れる観光資源の玄関</li> </ul>
年間取扱貨物量 H21	30,984千トン	2,107千トン	3,683千トン	—
旅客乗降客数 H21	190,792人	479,988人	50,165人	1,288,798人
外貿コンテナ航路 H22	北米西岸/東南アジア航路：1便/週 東アジア航路：1便/週 中国/韓国航路：3便/週	—	—	—
フェリー航路 H22	仙台⇄苫小牧：毎日運航 仙台⇄名古屋：隔日運航	—	田代島/網地島	—
内貿コンテナ RORO航路 (方面別計)H22	北海道：7、東京：7、名古屋：4.5、 大阪4	—	大阪1	—
旅客船航路	金華山(不定期)	朴島、松島、松島湾内、金華山(不定期)	石巻湾周遊	松島湾内、塩釜
主要貨物	完成自動車、原油、石油製品	石油製品、重油、セメント	木材チップ、石炭、とうもろこし	—
主要立地企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北電力</li> <li>・J X 日鉱日石エネルギー</li> <li>・J F E 条鋼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北電力</li> <li>・太平洋セメント</li> <li>・出光エッソ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本製紙</li> <li>・石巻合板工業</li> <li>・石巻埠頭サイロ</li> </ul>	—
公共最大岸壁	—14m×1B	—9m×1B	—13m×2B	—3m 栈橋2基
位置づけ(役割分担)	東北のグローバルポート港湾	地域産業支援港湾	広域基幹産業拠点港湾	世界に誇れる観光港湾



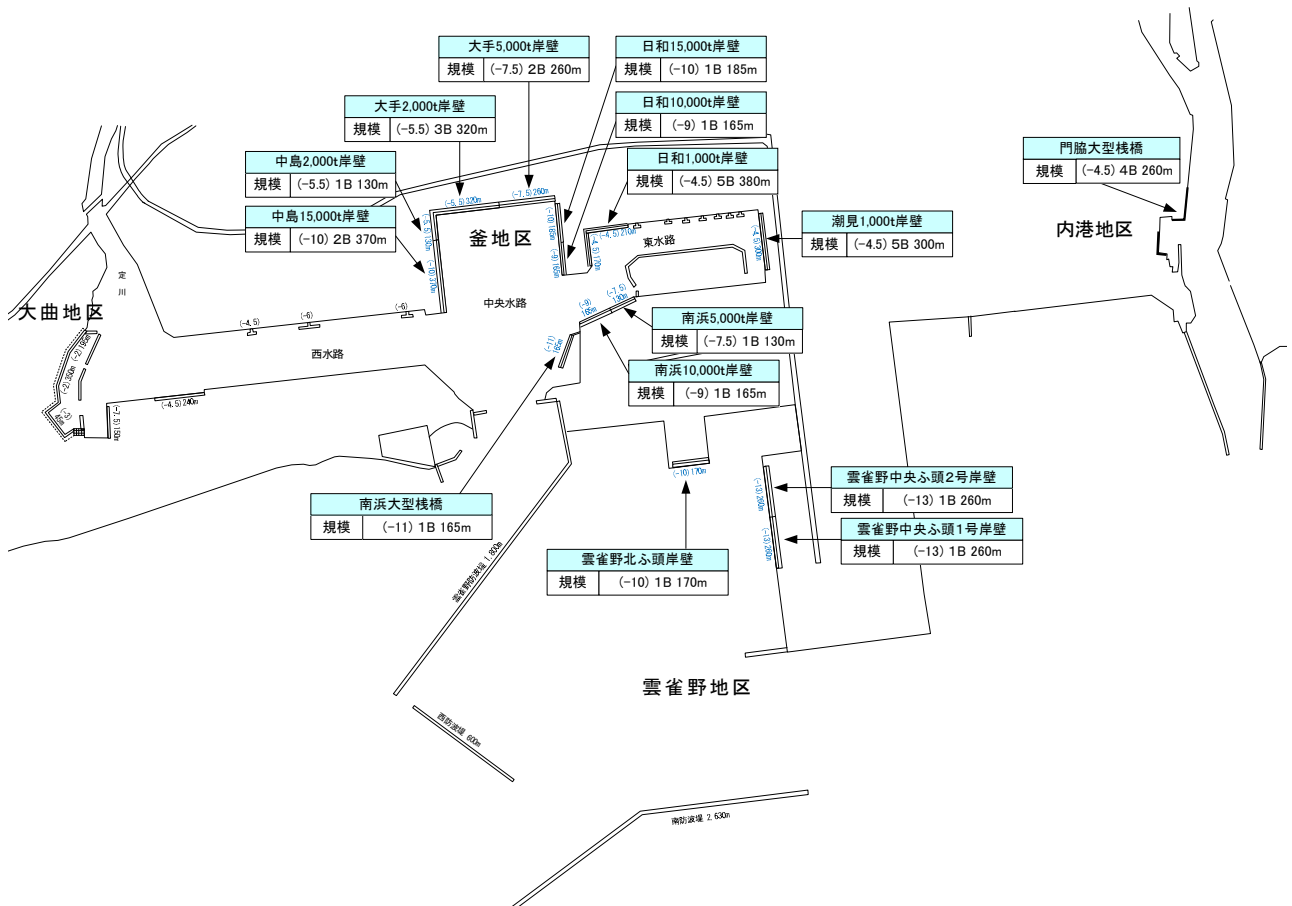
### 【仙台塩釜港（仙台港区）】



【仙台塩釜港（塩釜港区）】



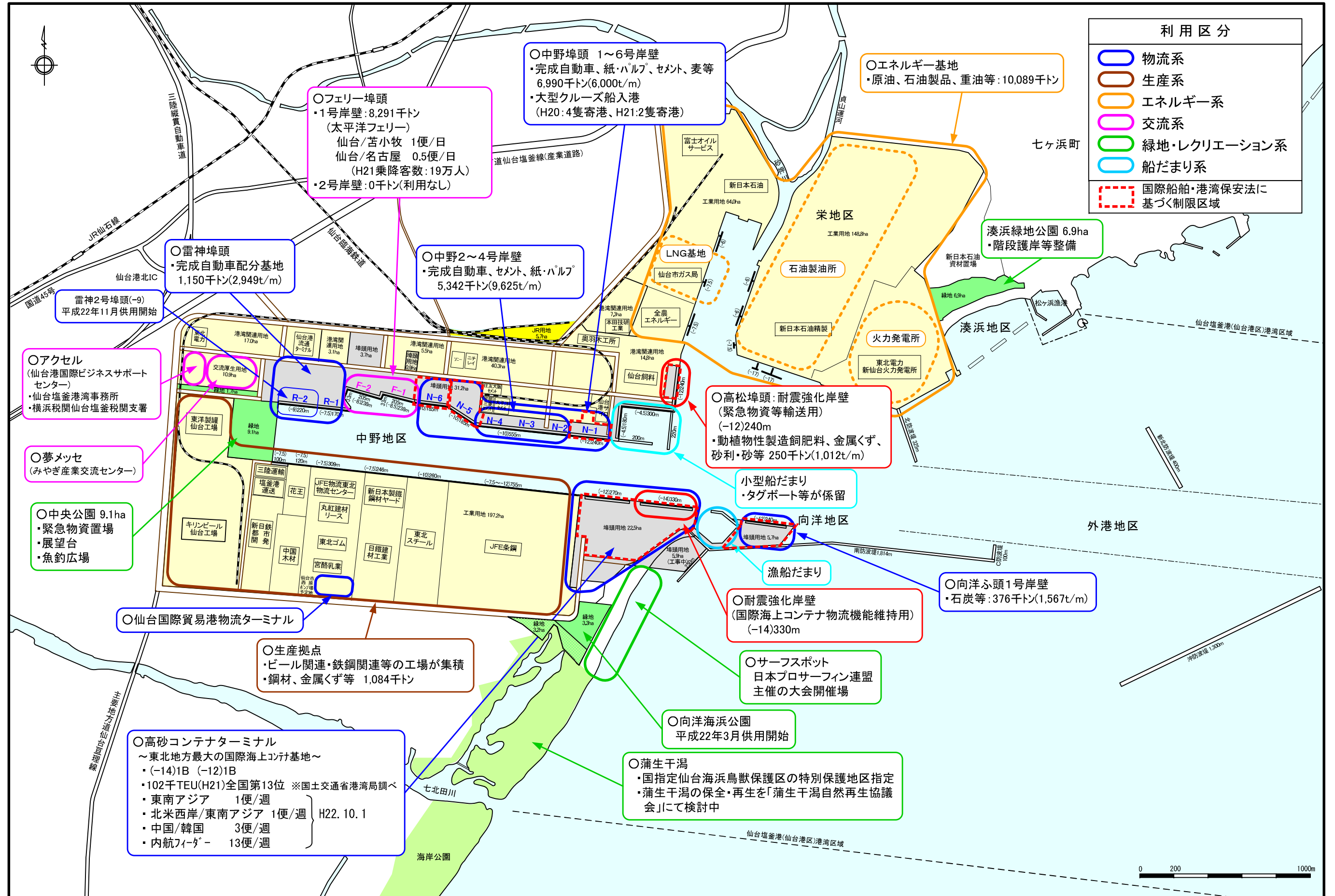
【石巻港】



(4) 空間利用状況

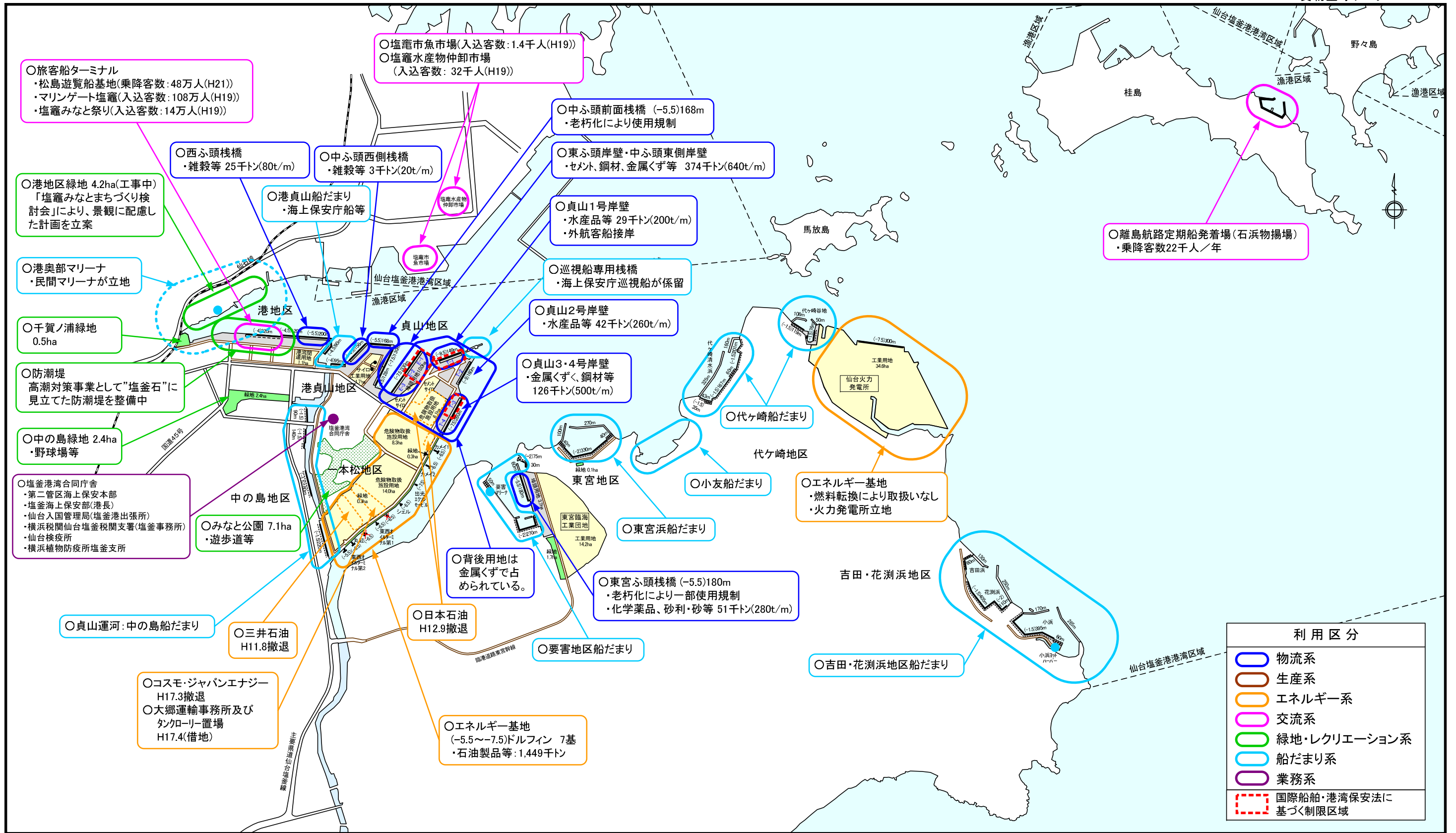
仙台港区利用現況図

貨物量等データ：H21



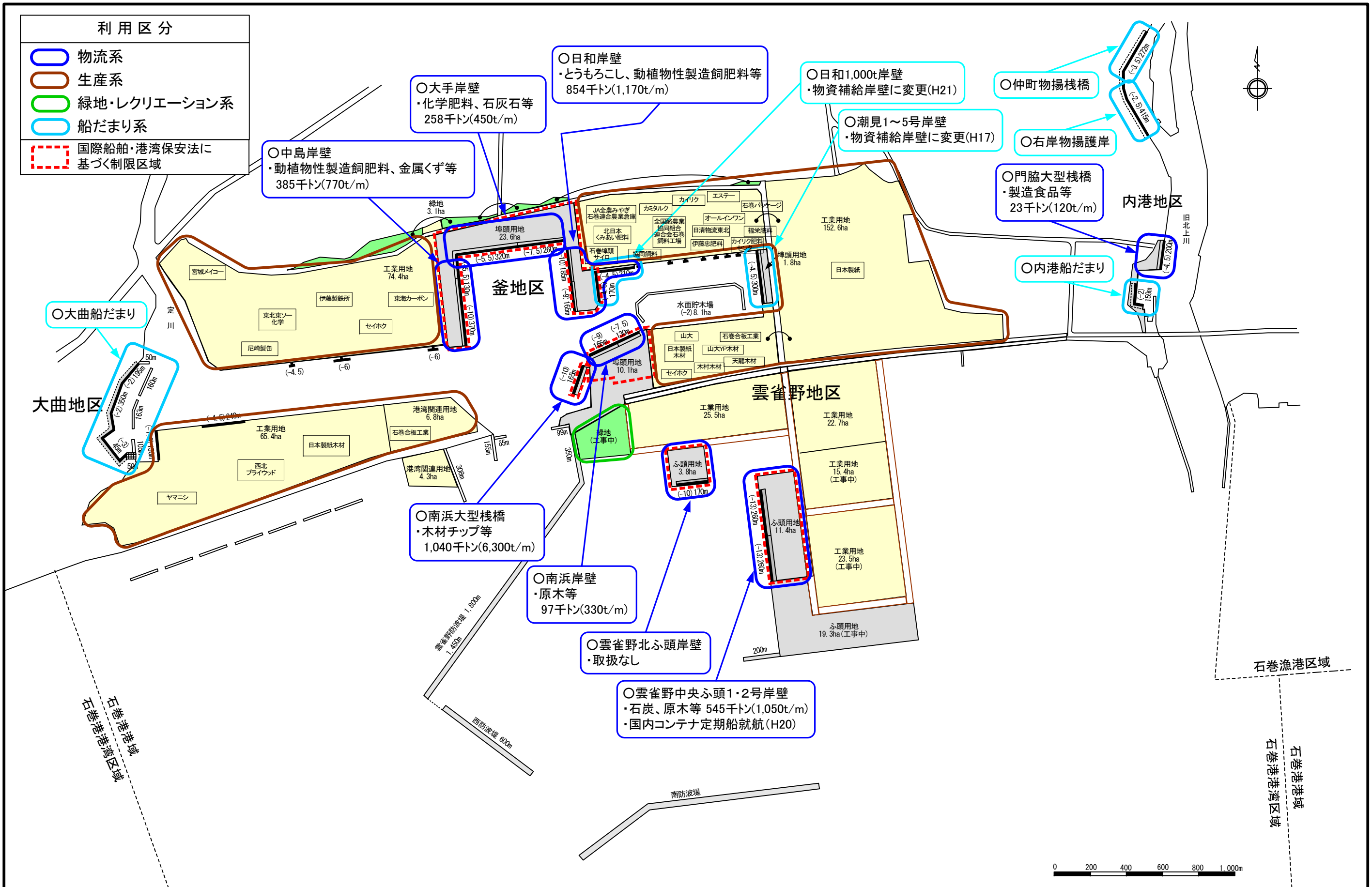
# 塩釜港区利用現況図

貨物量等データ: H21



# 石巻港利用現況図

貨物量等データ：H21





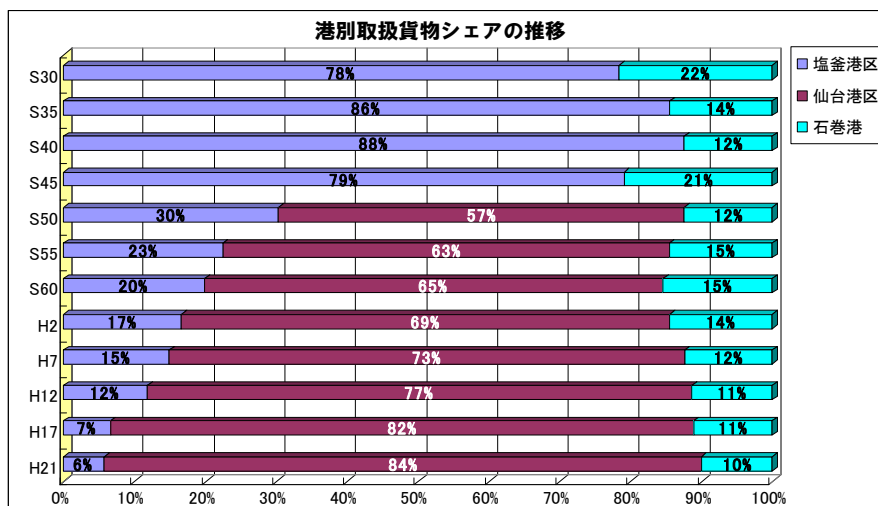
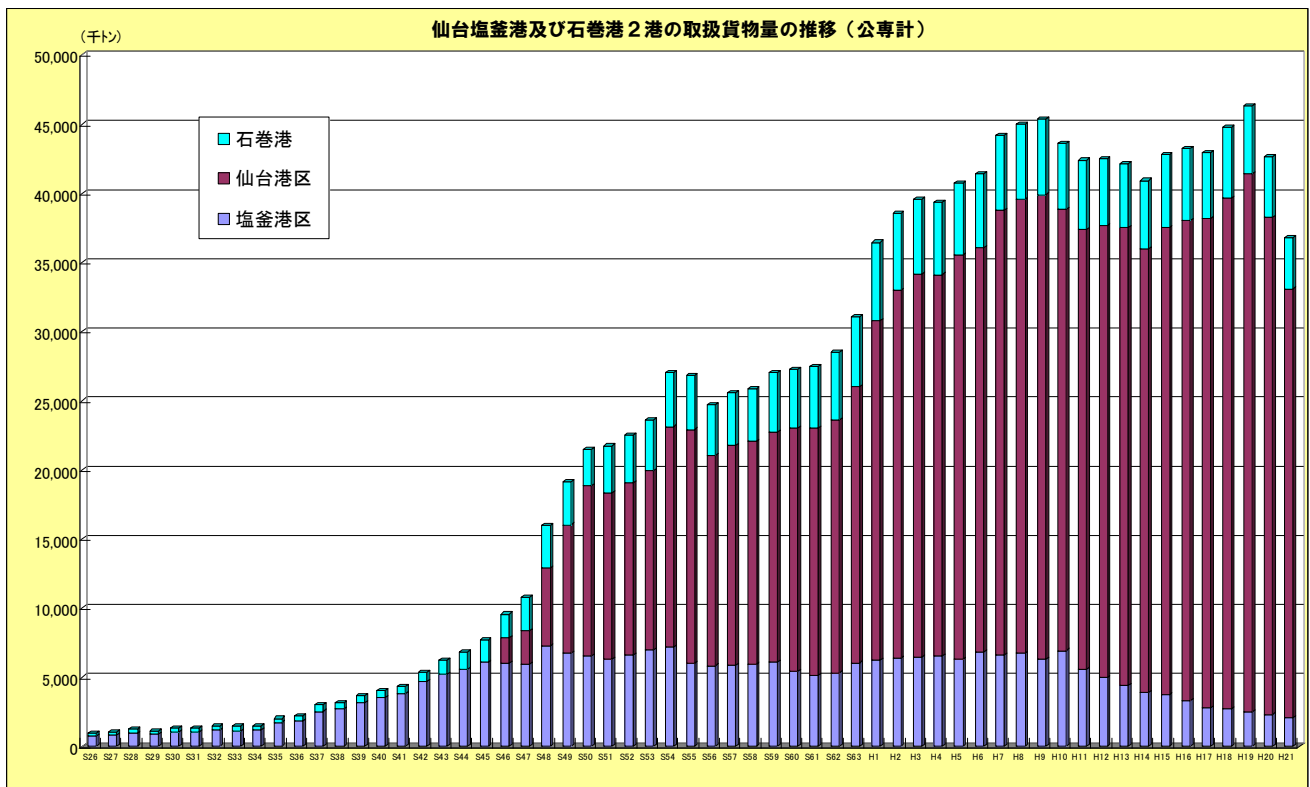
## 1.2 各港の利用状況

### (1) 各港の利用動向

#### 1) 取扱貨物量の推移

##### ① 総貨物量の推移

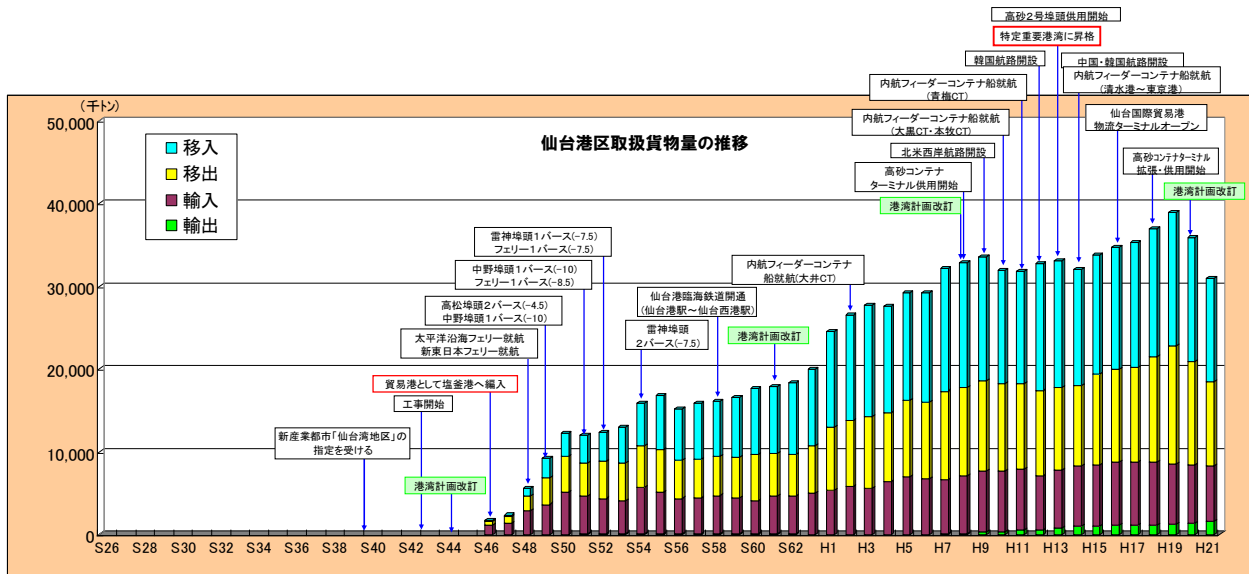
- 仙台塩釜港及び石巻港の2港の総取扱貨物量の過去最高は平成19年の4,630万トン。
- 昭和26年から平成9年(過去第2位)までは順調に増加、平成10年から平成14年までは減少、平成15年以降に再び増加。
- 平成20年以降は、世界同時不況の影響により急激に減少。
- ※ 平成21年貨物は平成元年貨物と同程度まで減少。
- 港別シェアは、年々、仙台港区のシェアが高まり、平成21年実績では、仙台港区84%、石巻港10%、塩釜港区6%。



## ② 港別貨物量の推移

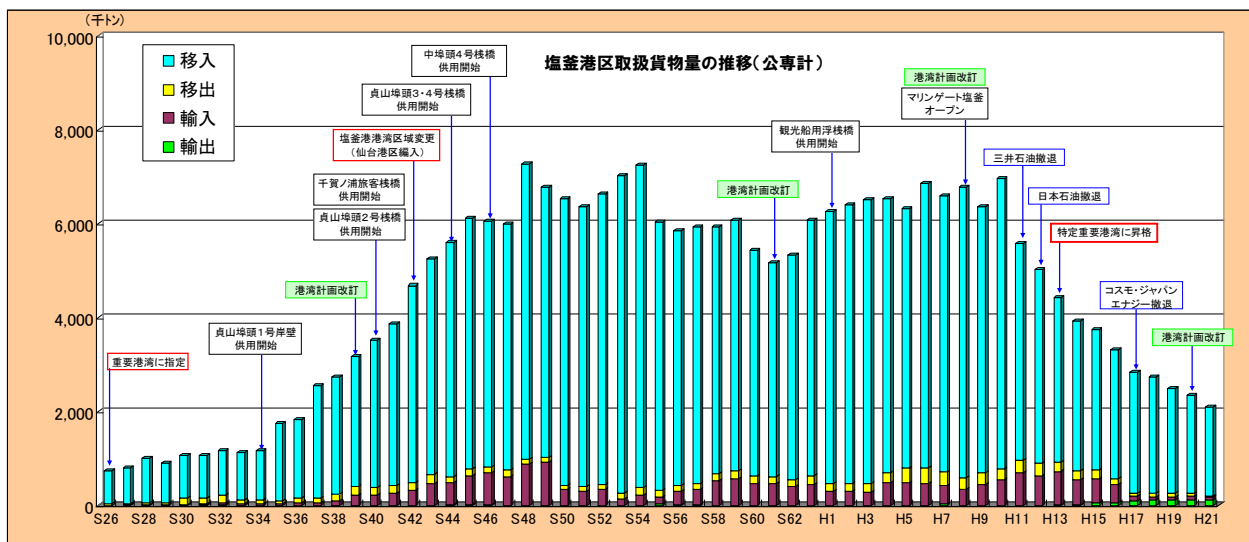
### 【仙台区】

- 取扱貨物量は昭和46年の供用開始以降、ほぼ順調に増加。
- 輸移出入別シェアとしては、移入 43～45%、移出 33～35%、輸入 20～23%、輸出 1～3%と内貿貨物のシェアが高い。
- 過去最高は平成19年の3,900万トン。
- 平成20年以降は、世界同時不況により急激に減少。



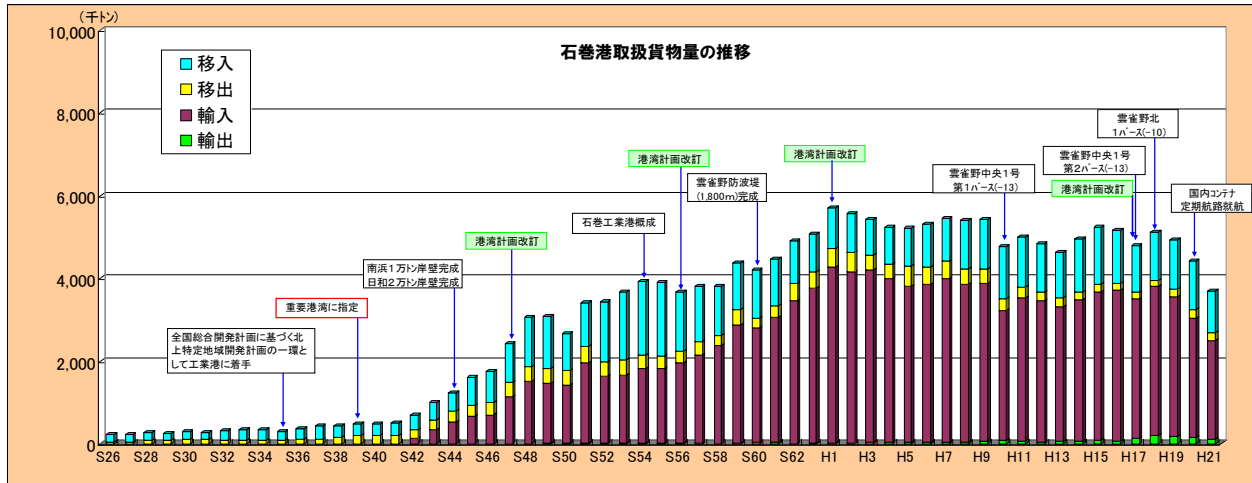
### 【塩釜港区】

- 塩釜港区取扱貨物量の約90%は移入貨物。
- 塩釜港区の過去最高は昭和48年の730万トン。
- 平成11年以降は、相次ぐ石油関連企業の撤退及び東北電力のエネルギー転換(H16.3月以降)により急激に減少。
- 平成21年は210万トンまで減少。



## 【石巻港】

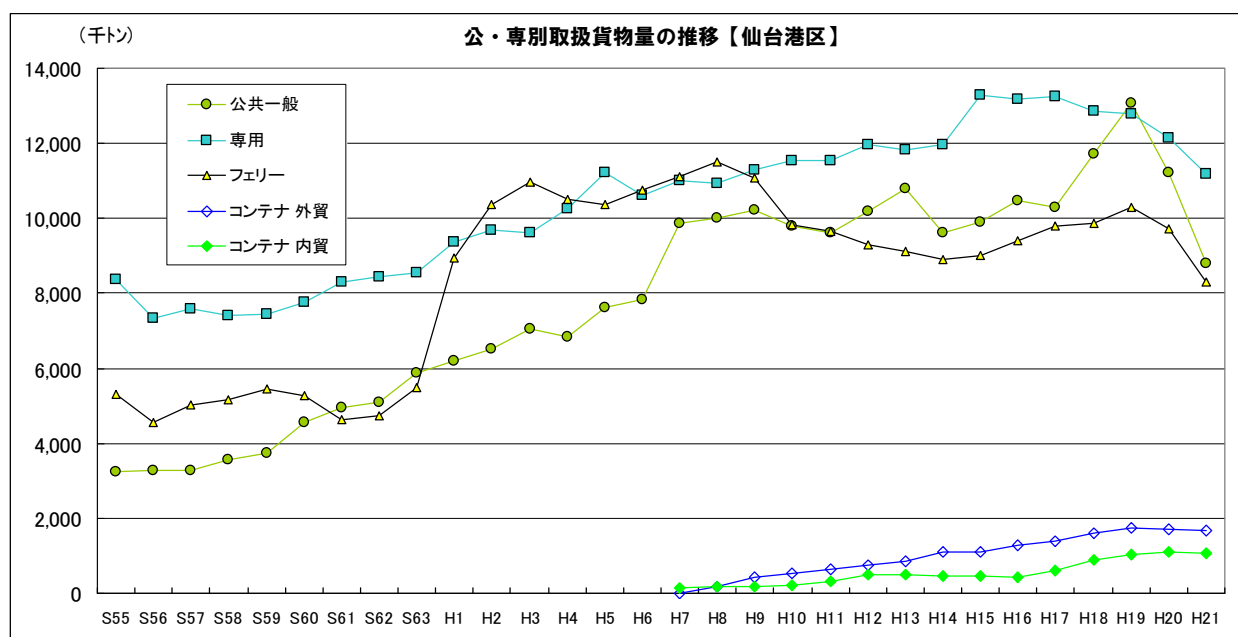
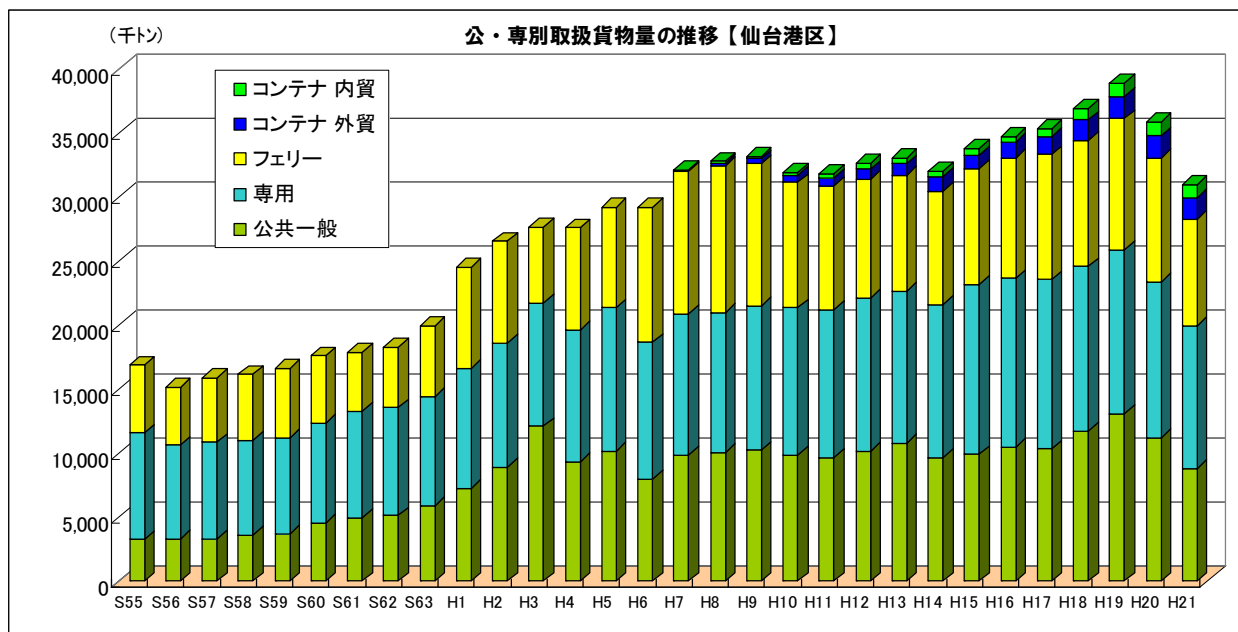
- 昭和42年の出入国港の指定に伴い、輸入貨物が増加。
- 輸移出入別シェアとしては、輸入65～68%、移入25～27%、移出4～6%、輸出2～4%。
- 過去最高は平成元年の570万トン。
- 平成2年以降、若干の減少傾向。



### ③ 公共・専用別貨物量の推移

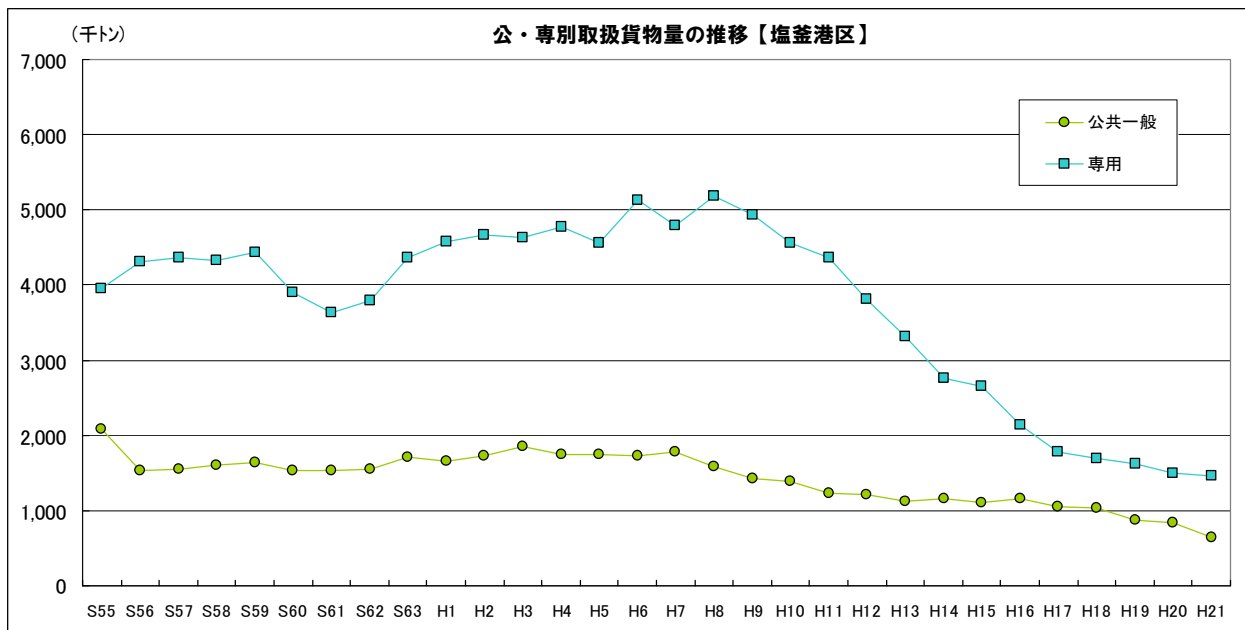
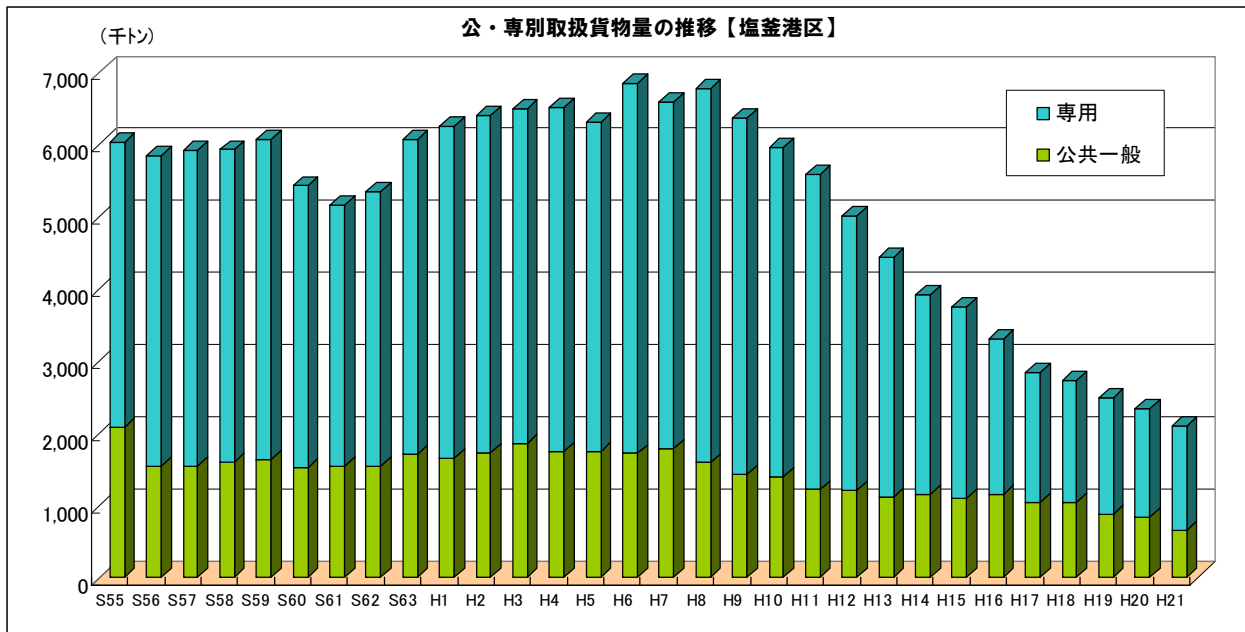
#### ◇ 仙台塩釜港【仙台港区】

- 平成 7 年までは順調に増加。
- 平成 7 年から平成 14 年までは 3,000 万トン程度で推移。
- 平成 15 年以降、再び増加に転じ、平成 19 年に過去最高の 3,890 万トン記録。
- しかし、平成 21 年は 3,000 万トンまで減少。
- 公専別では、専用貨物が平成 15 年以降減少傾向、コンテナ貨物は順調に増加。



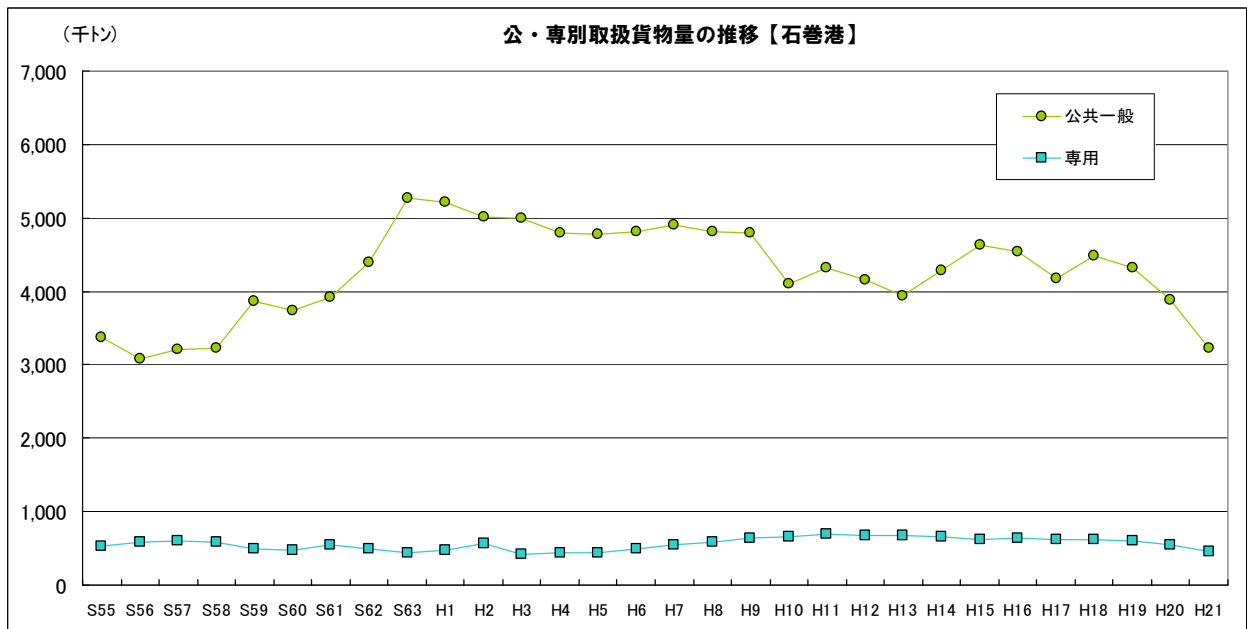
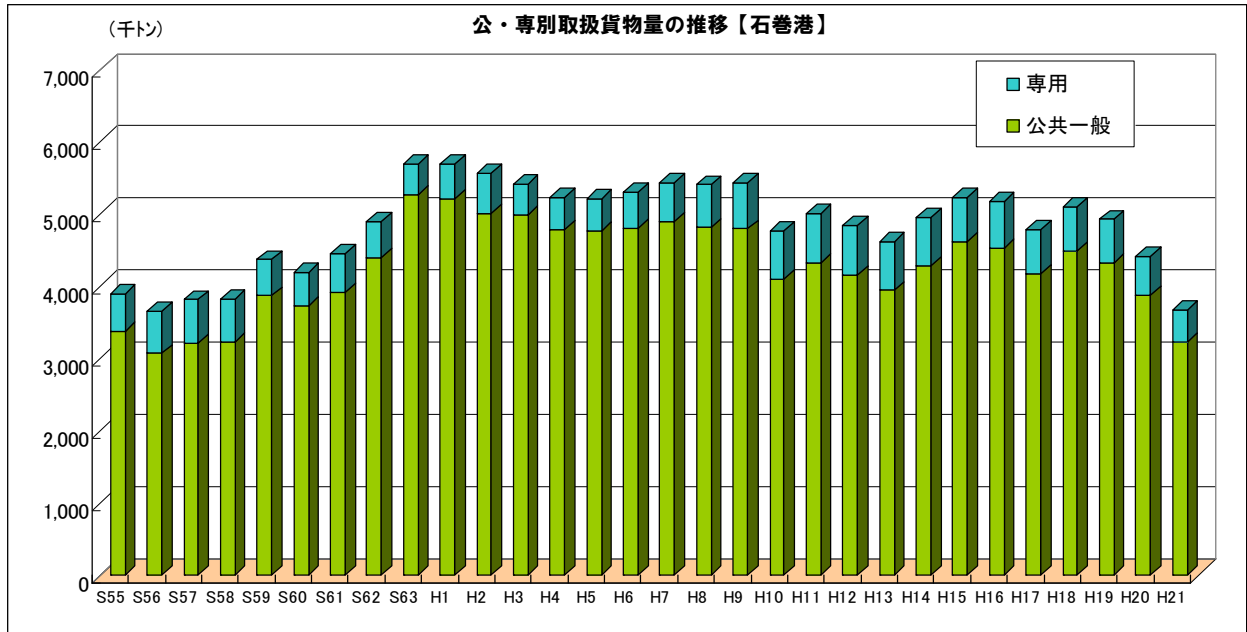
◇仙台塩釜港【塩釜港区】

- 昭和 55 年から平成 6 年までは 600 万トン前後で推移。
- ※昭和 60 から 62 年は 500 万トン。
- 公専合計貨物量は平成 8 年以降、年々減少。
- 平成 21 年は 200 万トンまで減少（H21/H6=30%）。
- 平成 8 年以降の減少の要因は石油関連企業の撤退と火力発電所のエネルギー転換による専用貨物の減少。

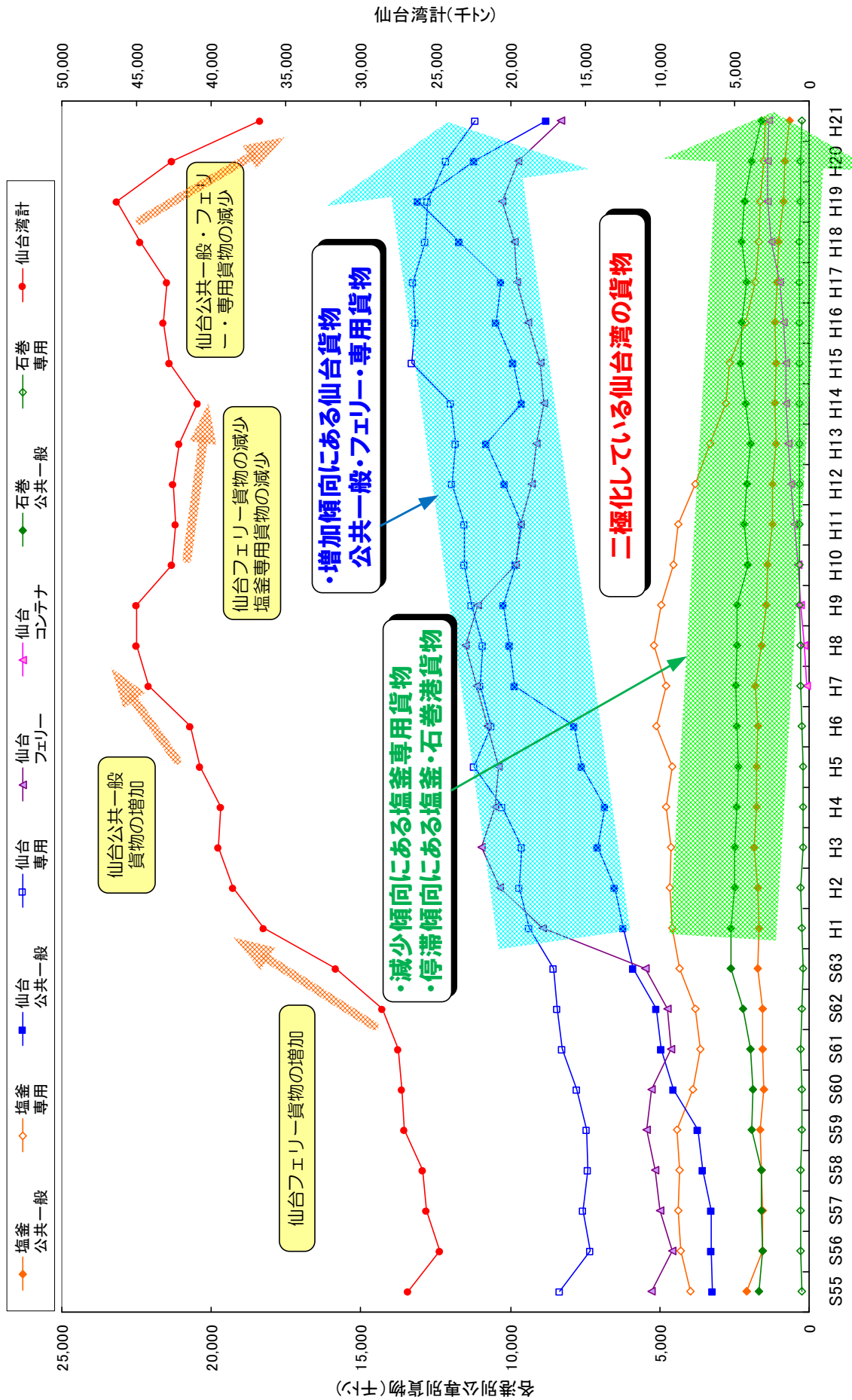


◇石巻港

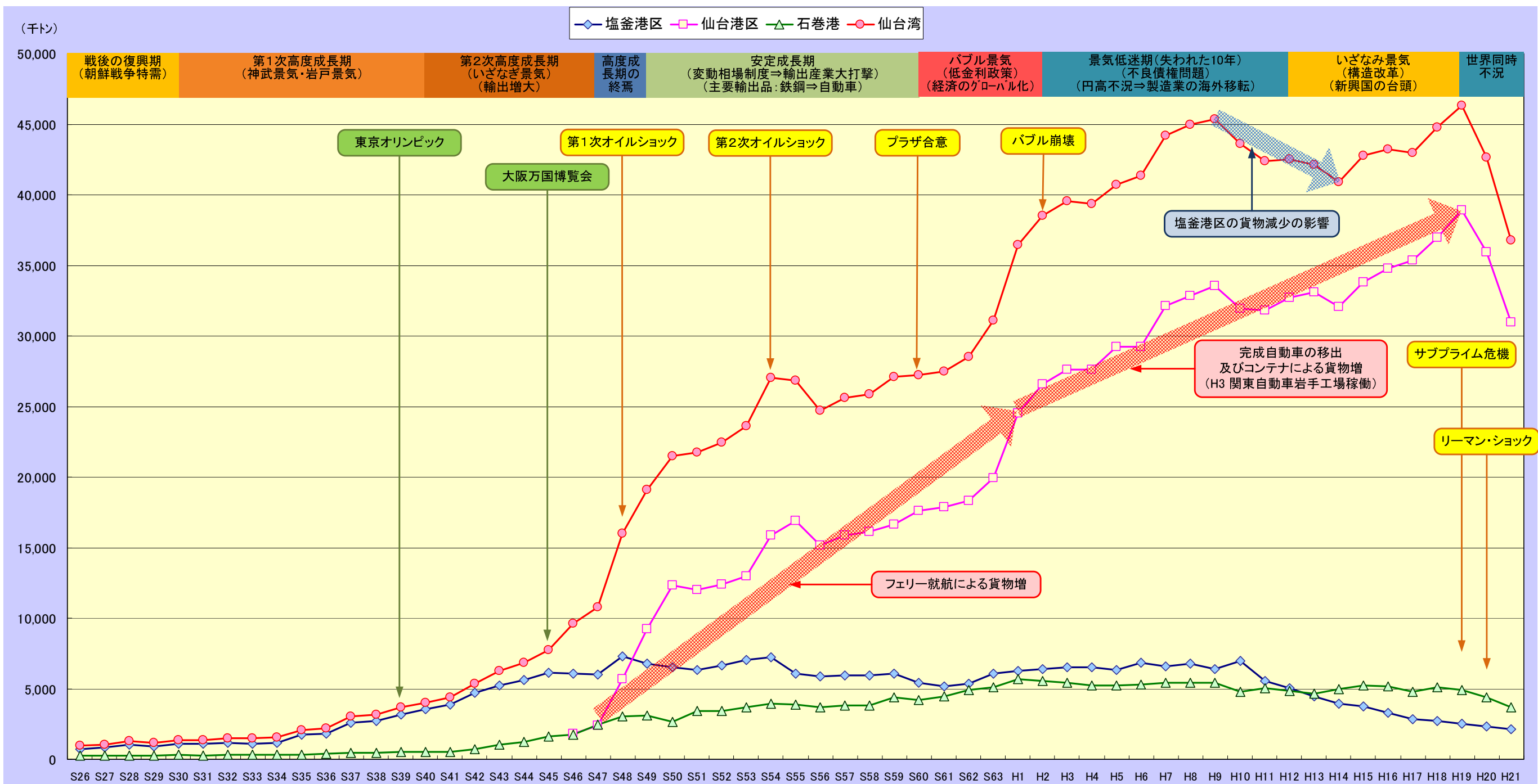
○昭和 63 年までは順調に増加し、石巻港取扱実績の最高 570 万トン进行記録。  
 ○その後はやや減少傾向にあり、平成 21 年は 370 万トンまで減少。  
 ○公専別では、専用貨物はほぼ 60 万トン前後で横ばい、公共貨物がやや減少傾向。



# 港湾別公専別貨物量の推移のまとめ



### 仙台湾 (仙台塩釜港・石巻港) 取扱貨物量動向の総括



塩釜港区	重要港湾指定	貞山1号供用	港湾計画改訂	貞山2号供用	仙台港区編入	貞山3・4号供用	中4号供用		港湾計画改訂		仙台塩釜港と石巻港の統合(一体的改訂)を検討	港湾計画改訂	三井石油撤退	日本石油撤退	特定重要港湾昇格	高砂2号供用	中国韓国航路	流ターミナル	仙台湾国際貿易港物	高砂CT拡張・供用	港湾計画改訂	内買コンテナ定期航路	
			新産都市指定 工業港計画		築港工事着工				新東日本F 太平洋沿岸F	高松埠頭2号供用 中野埠頭1号供用 フェリー1号供用 中野埠頭1号供用 雷神埠頭1号供用 雷神埠頭2号供用	仙台港臨海 鉄道開通												
仙台港区																							
石巻港																							

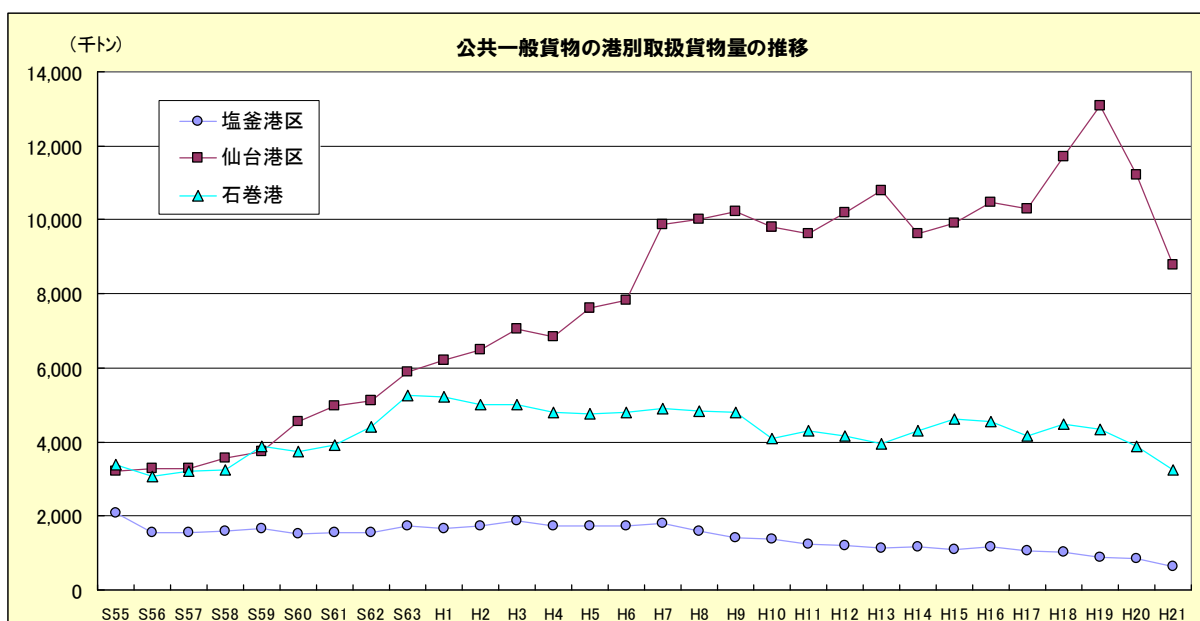
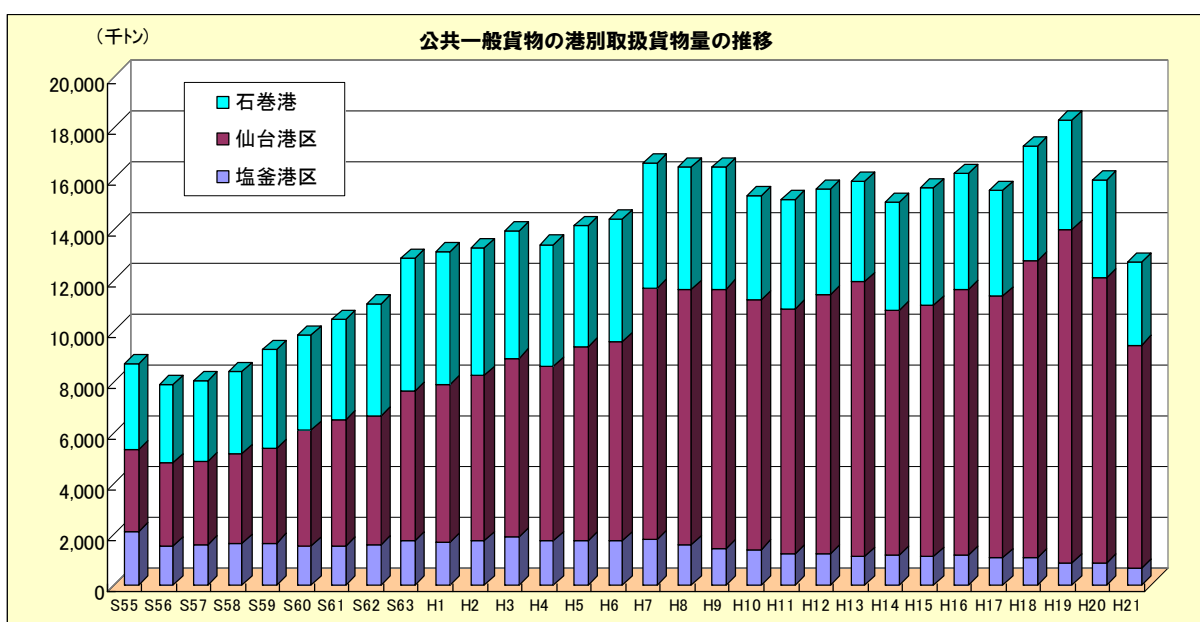
【凡例】  
 貨物増加期  
 貨物停滞期  
 貨物減少期



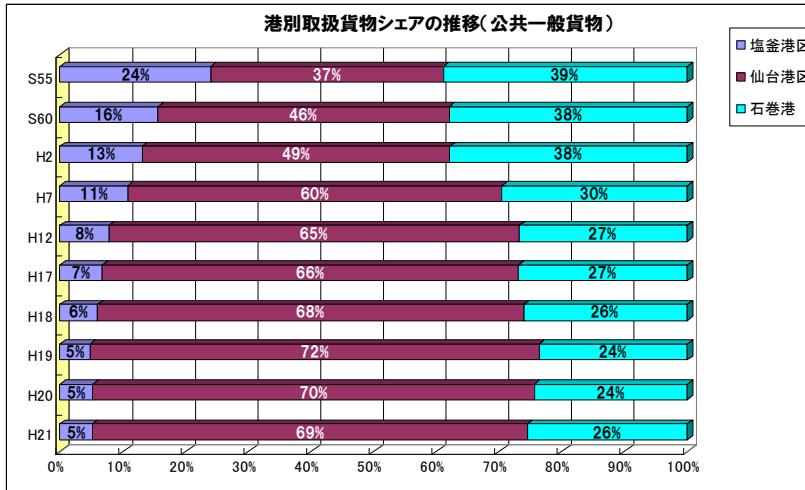
④港別公共一般貨物量の推移（専用・コンテナ・フェリー除く）

◇仙台湾（仙台塩釜港及び石巻港）合計貨物

- 公共一般貨物は平成6年まで順調に増加、平成7年に1,600万トンに急増、その後平成9年までは横ばい、平成10年以降は1,500万トン前後で推移。
- 平成17年以降、増加に転じ、平成19年に過去最高の1,800万トンに増加。
- しかし、平成21年は1,200万トンまで減少。
- 港別の推移としては、石巻港が昭和63年から減少、塩釜港区は平成7年から減少。
- 仙台港区は平成7年に1,000万トンまで増加、その後、平成17年まで横ばいで推移。
- 平成18年以降に増加に転じ、平成19年は過去最高の1,300万トンを記録。
- しかし、平成21年は900万トン弱まで減少。



- 港別シェアは、昭和 55 年では石巻港が最も高く全体の 39%。
- しかし、昭和 60 年以降は、仙台港区のシェアが高まり、近年では全体の 70%。
- 仙台港区のシェアの高まりは、仙台港区の貨物増加に加え、塩釜港区および石巻港の貨物の落ち込みが要因。



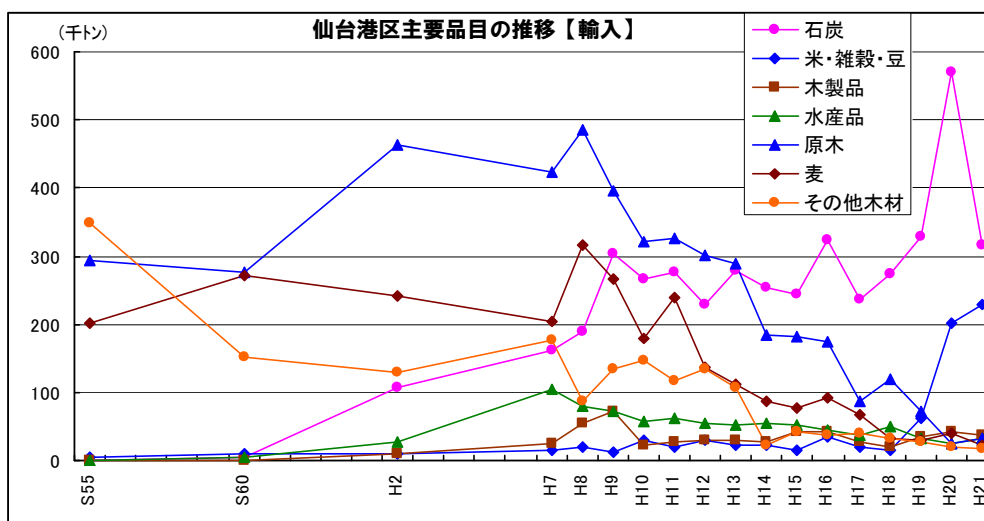
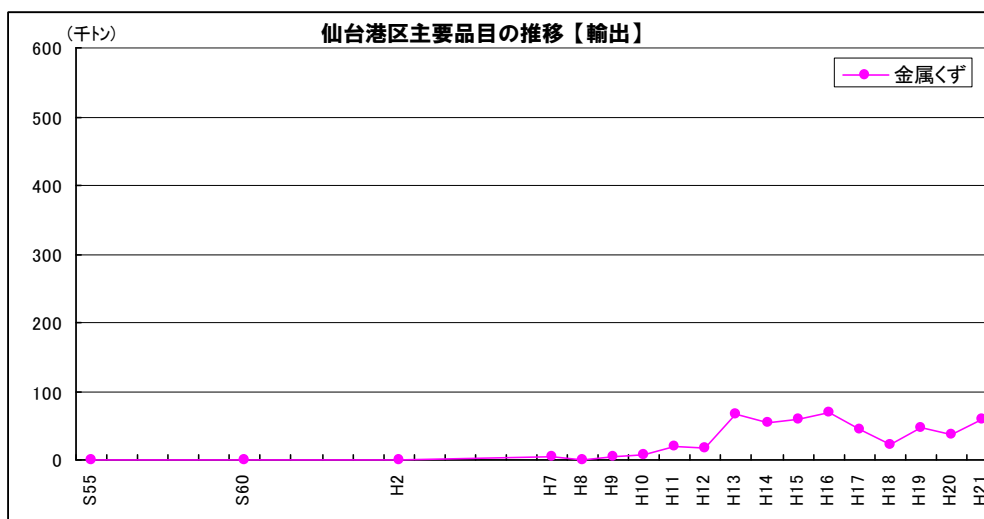
単位:千トン

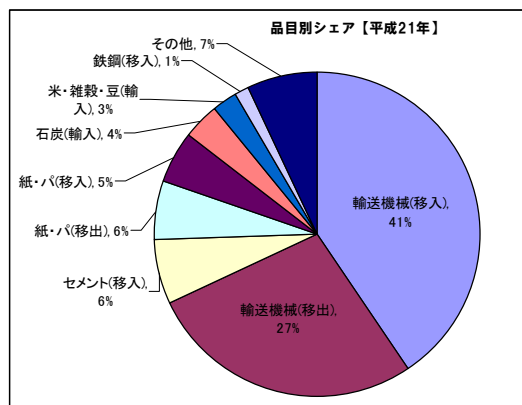
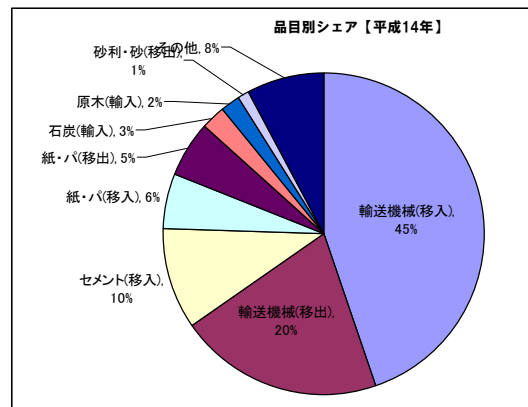
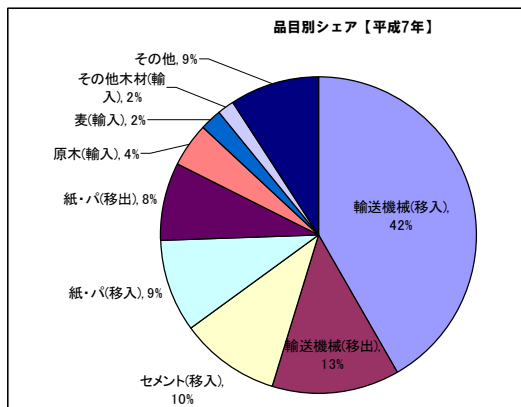
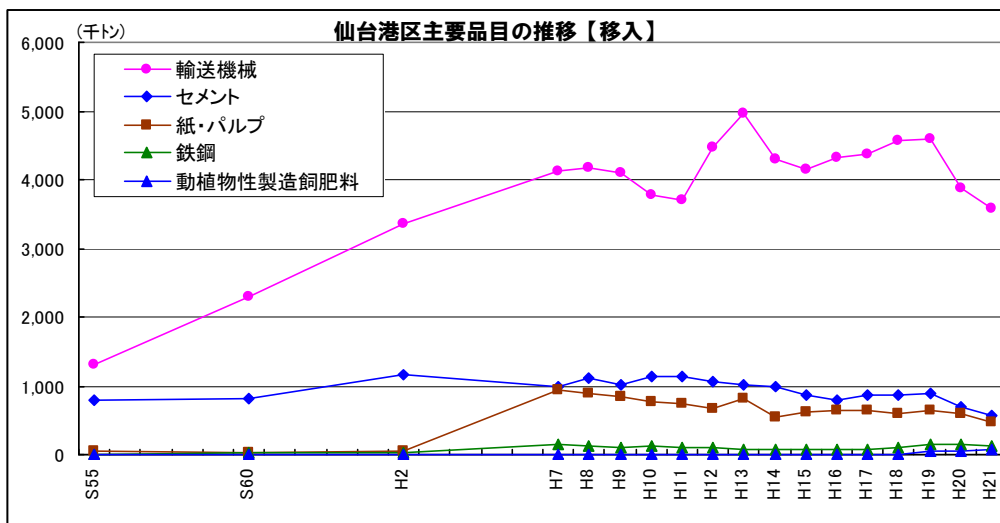
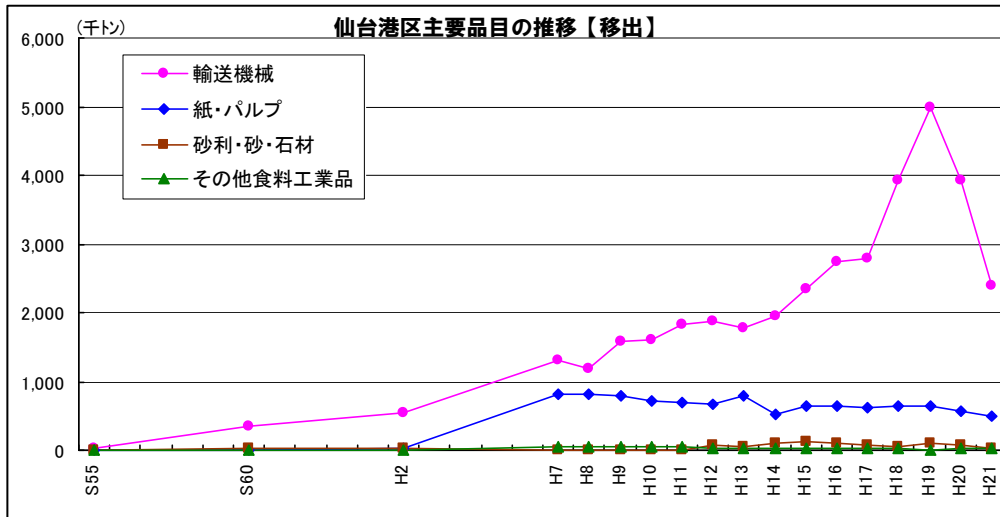
	公共一般		
	塩釜港区	仙台港区	石巻港
S55	2,079	3,225	3,373
S56	1,538	3,279	3,074
S57	1,552	3,280	3,211
S58	1,603	3,576	3,227
S59	1,644	3,725	3,871
S60	1,532	4,562	3,728
S61	1,540	4,964	3,912
S62	1,552	5,098	4,396
S63	1,713	5,886	5,266
H1	1,664	6,205	5,219
H2	1,729	6,502	5,010
H3	1,859	7,064	4,995
H4	1,743	6,843	4,796
H5	1,743	7,608	4,770
H6	1,721	7,838	4,810
H7	1,788	9,879	4,901
H8	1,592	10,025	4,816
H9	1,427	10,214	4,798
H10	1,390	9,814	4,103
H11	1,221	9,627	4,318
H12	1,214	10,191	4,154
H13	1,116	10,808	3,945
H14	1,156	9,617	4,290
H15	1,100	9,897	4,622
H16	1,163	10,470	4,533
H17	1,047	10,305	4,174
H18	1,038	11,709	4,486
H19	872	13,086	4,323
H20	833	11,221	3,879
H21	650	8,787	3,231

### ⑤港別品目別公共一般貨物量の推移

#### ◇仙台塩釜港【仙台港区】

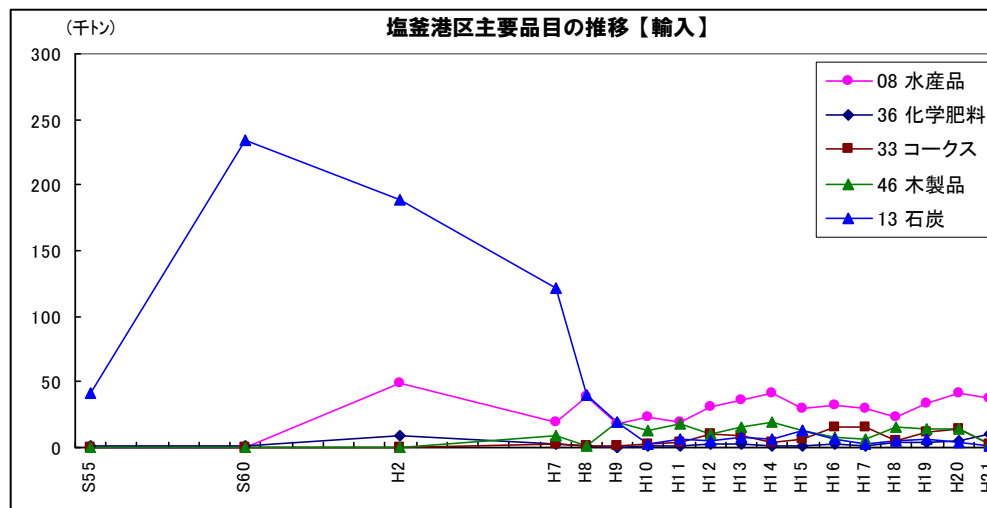
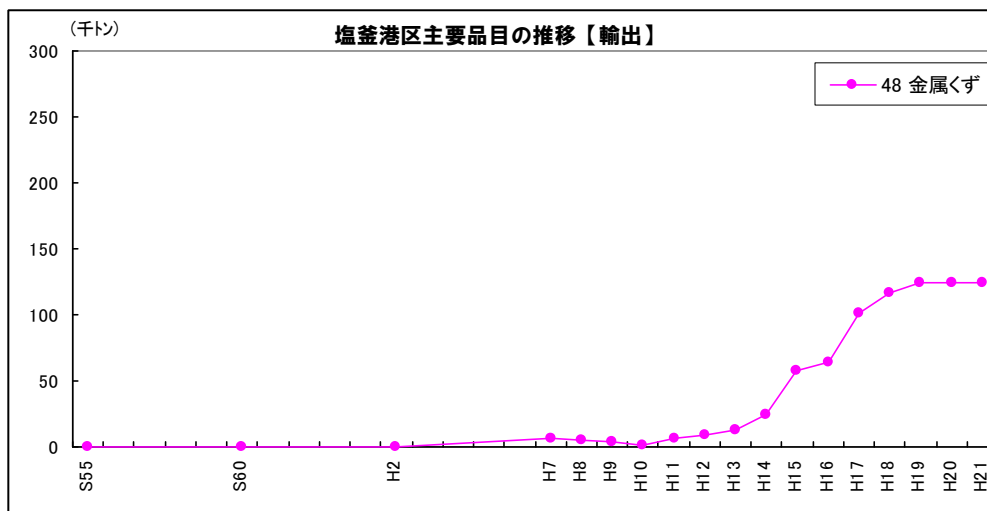
- 輸出：取扱貨物量(H21)は6万トン。そのうち、約97%が金属くず。平成13年以降、ほぼ横ばいで推移。
- 輸入：取扱貨物量(H21)は73万トン。主要品目は石炭(45%)、次いで米・雑穀・豆(30%)、木製品(5%)。原木が平成8年以降に減少、米・雑穀・豆が近年急増。
- 移出：取扱貨物量(H21)は300万トン。主要品目は輸送機械(80%)、次いで紙・パルプ(17%)。輸送機械は平成19年に過去最高の500万トンを記録（平成21年は240万トンまで激減）。
- 移入：取扱貨物量(H21)は300万トン。主要品目は移出と同様、輸送機械(70%)、次いでセメント(11%)、紙・パルプ(9%)。輸送機械は平成13年に過去最高の500万トンを記録（平成21年は360万トンまで減少）。セメント、紙・パルプは平成8年以降、やや減少傾向。

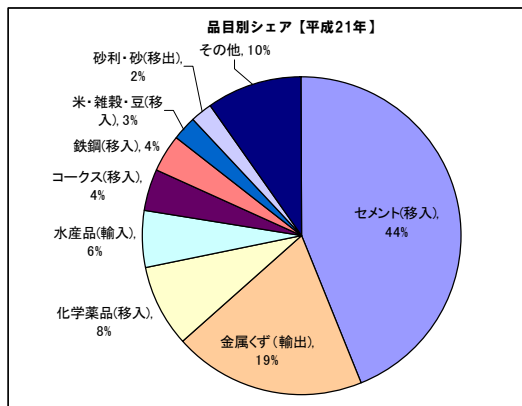
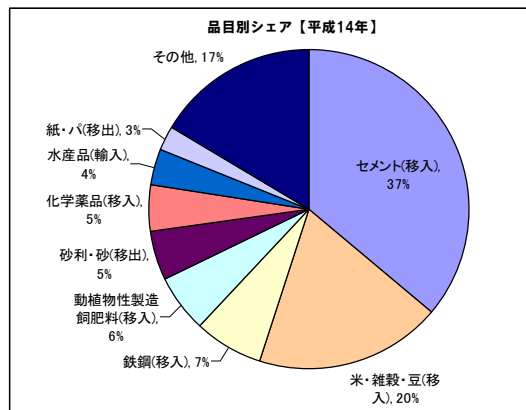
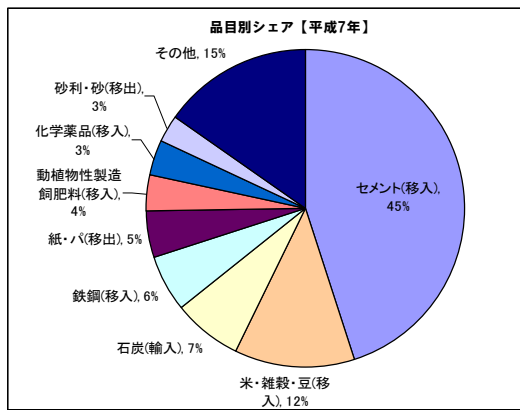
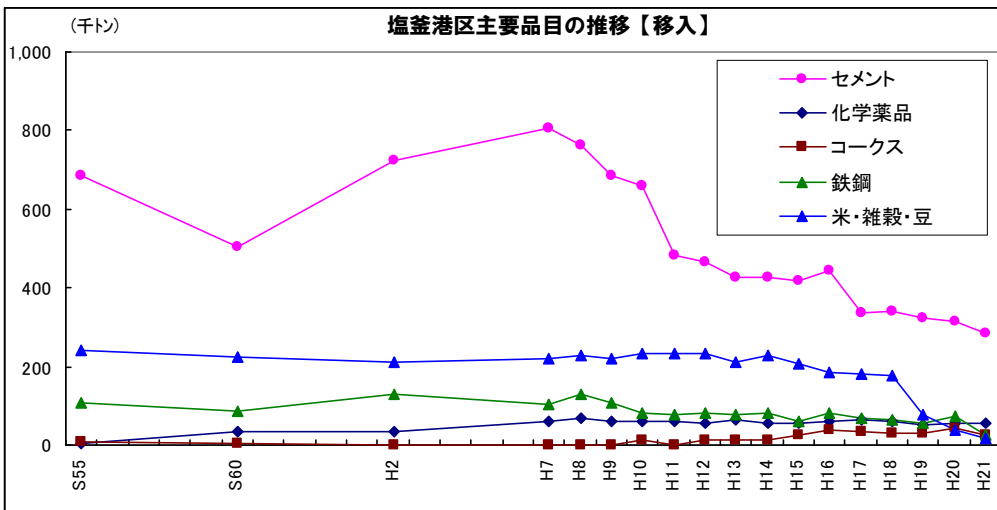
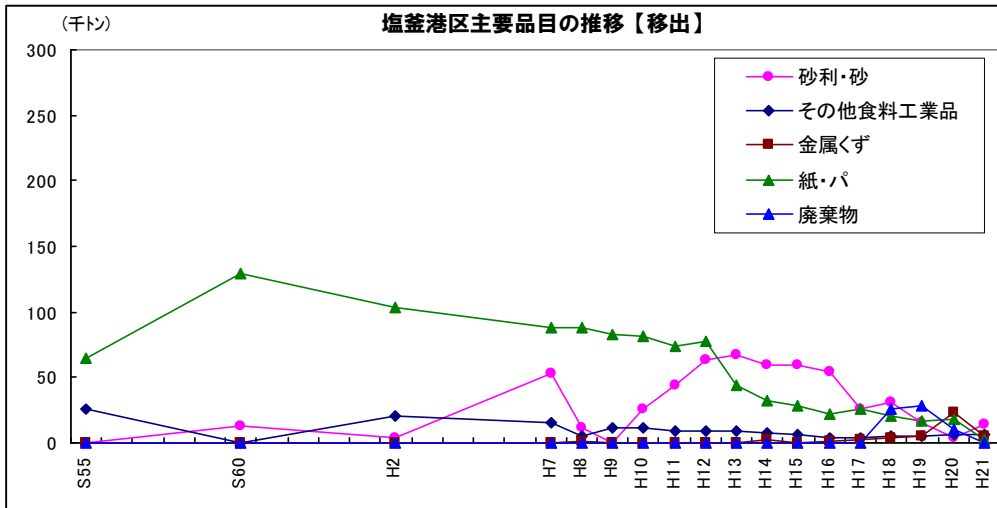




◇仙台塩釜港【塩釜港区】

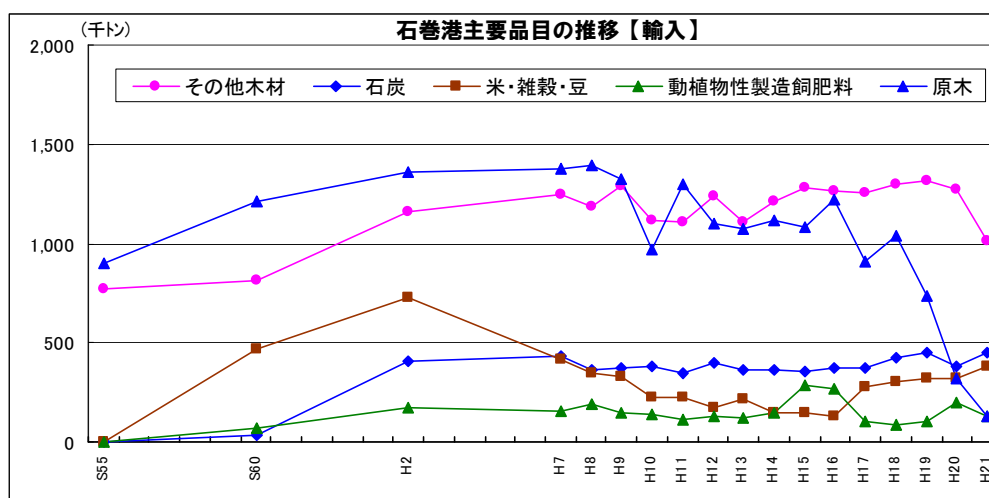
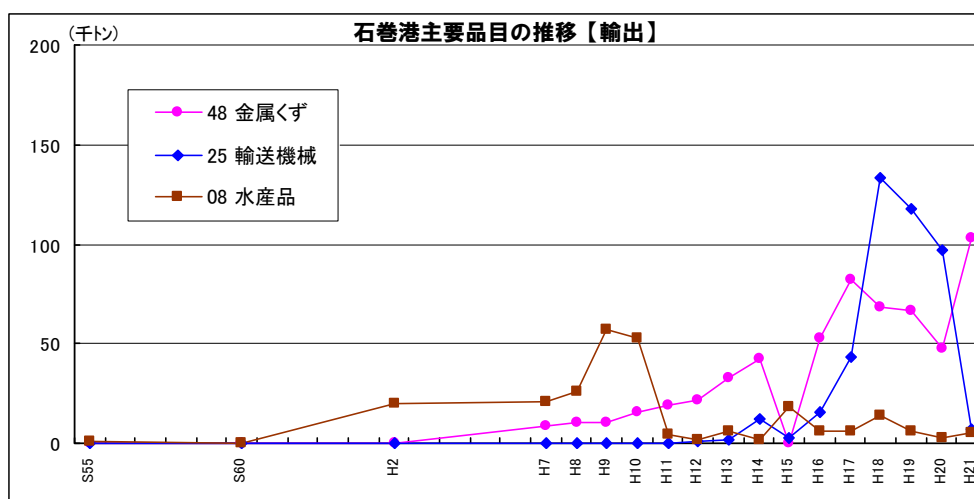
- 輸出：平成 17 年以降は全て金属くず。平成 14 年以降、増加傾向にあったが、近年は 12 万トン程度で推移。
- 輸入：取扱貨物量(H21)は 6 万トン。主要品目は水産品(70%)、次いで、化学肥料(20%)。昭和 60 年に 23 万トンの取り扱いのあった石炭が 1 千トンまで減少。
- 移出：取扱貨物量(H21)は 3 万トン。主要品目は砂利・砂(40%)、次いで、その他食料工業品(20%)。昭和 60 年に 9 万トンの取り扱いのあった紙・パルプが 2 千トンまで減少。
- 移入：取扱貨物量(H21)は 44 万トン。主要品目はセメント(65%)、次いで、化学薬品(10%)。平成 7 年に 81 万トンの取り扱いのあったセメントが 29 万トンまで減少。近年、米・雑穀・豆が 20 万トン前後から約 2 万トンに激減。

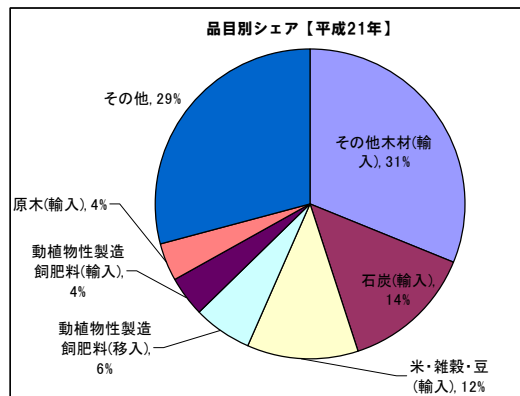
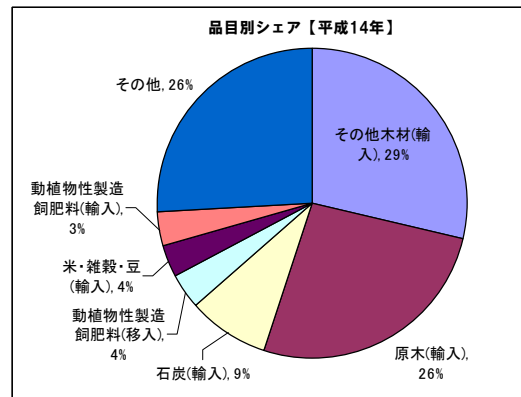
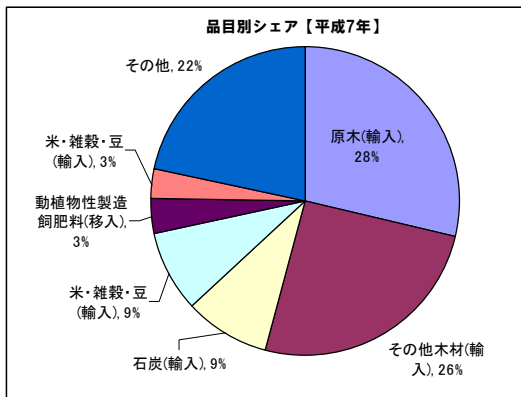
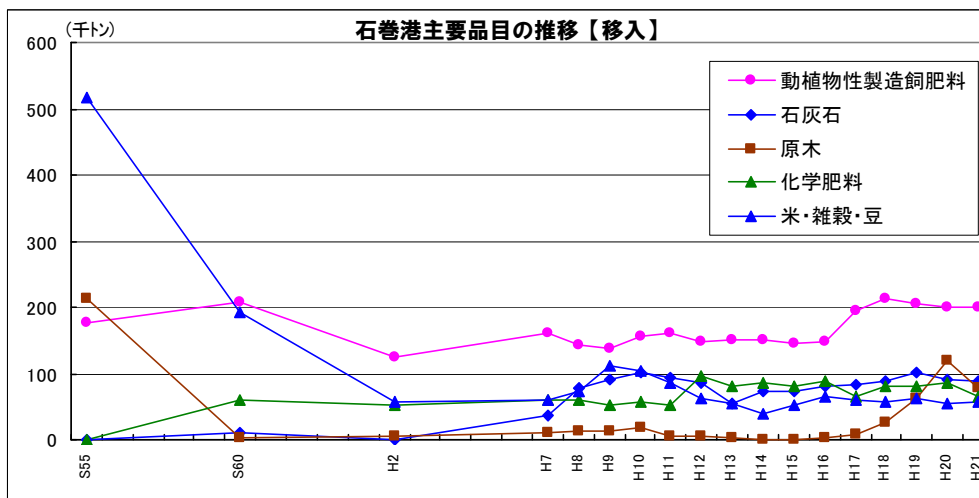
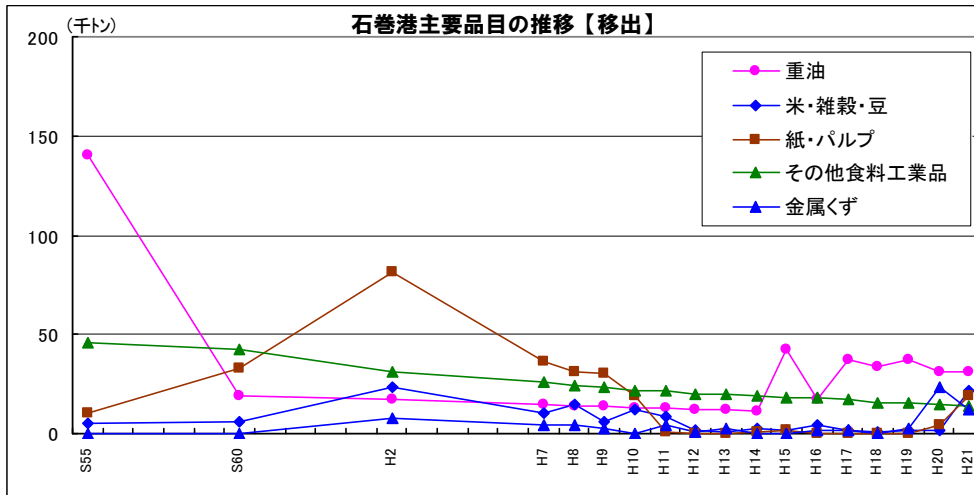




## ◇石巻港

- 輸出：取扱貨物量(H21)は 12 万トン。主要品目は金属くず、平成 21 年に急増。輸送機械は平成 18 年に 13 万トンあったが、平成 21 年には 1 万トンに減少。
- 輸入：取扱貨物量(H21)は 240 万トン。主要品目はその他木材(43%)、石炭(19%)、米・雑穀・豆(16%)。原木が平成 18 年以降激減(H18：100 万トン⇒H21：13 万トン)。
- 移出：取扱貨物量(H21)は 13 万トン。主要品目は重油(24%)、米・雑穀・豆(17%)、紙・パルプ(15%)、その他食料工業品(11%)。平成 2 年に 8 万トンの実績のあった紙・パルプが平成 21 年には 2 万トンに減少。その他の品目はほぼ横ばいで推移。
- 移入：取扱貨物量(H21)は 62 万トン。主要品目は、動植物性製造飼肥料(32%)、石灰石(14%)、原木(13%)、化学肥料(10%)。平成 7 年以降は若干の増減はあるが、ほぼ横ばいで推移。

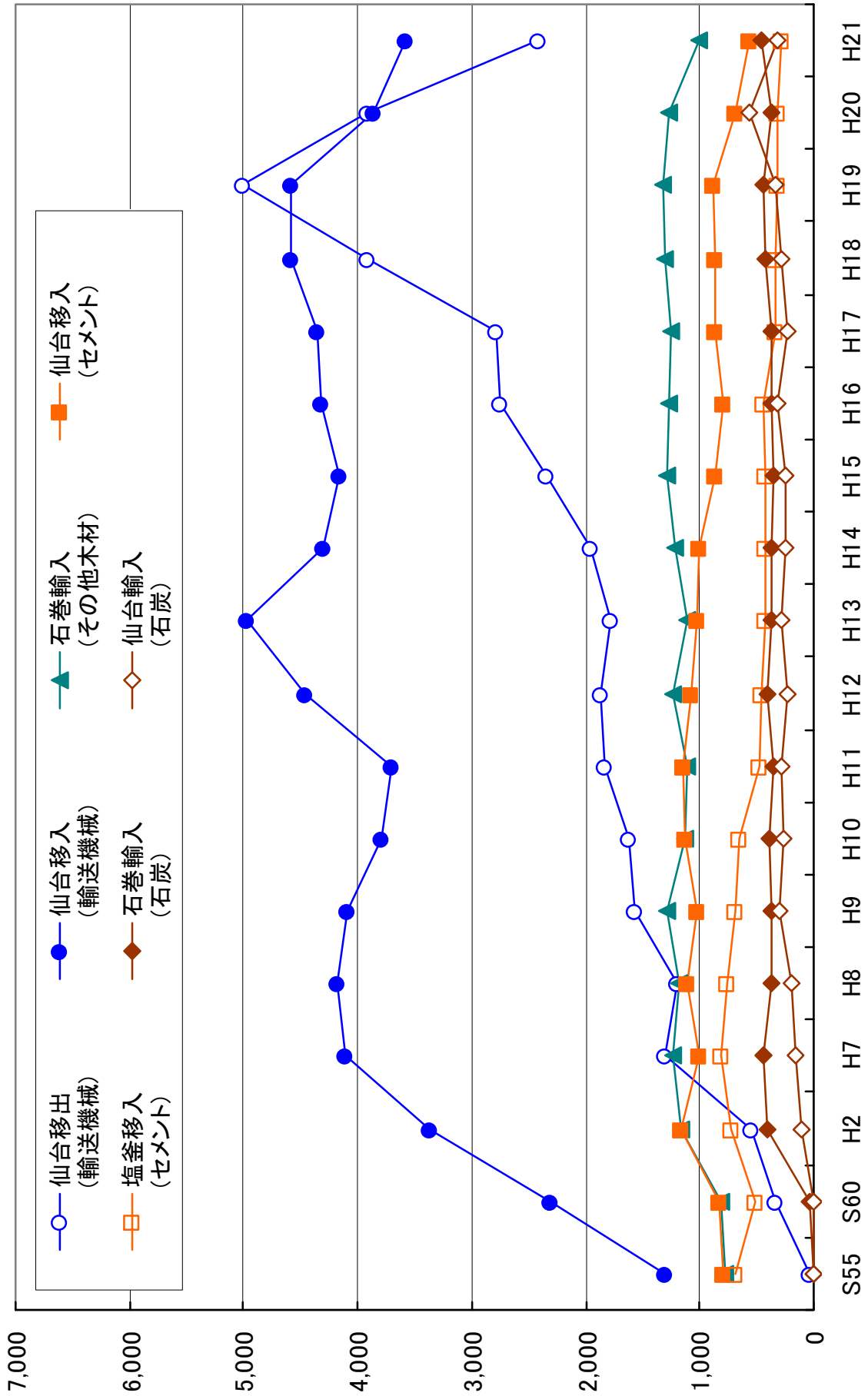






# 港湾別主要品目別貨物量(公共一般)の推移

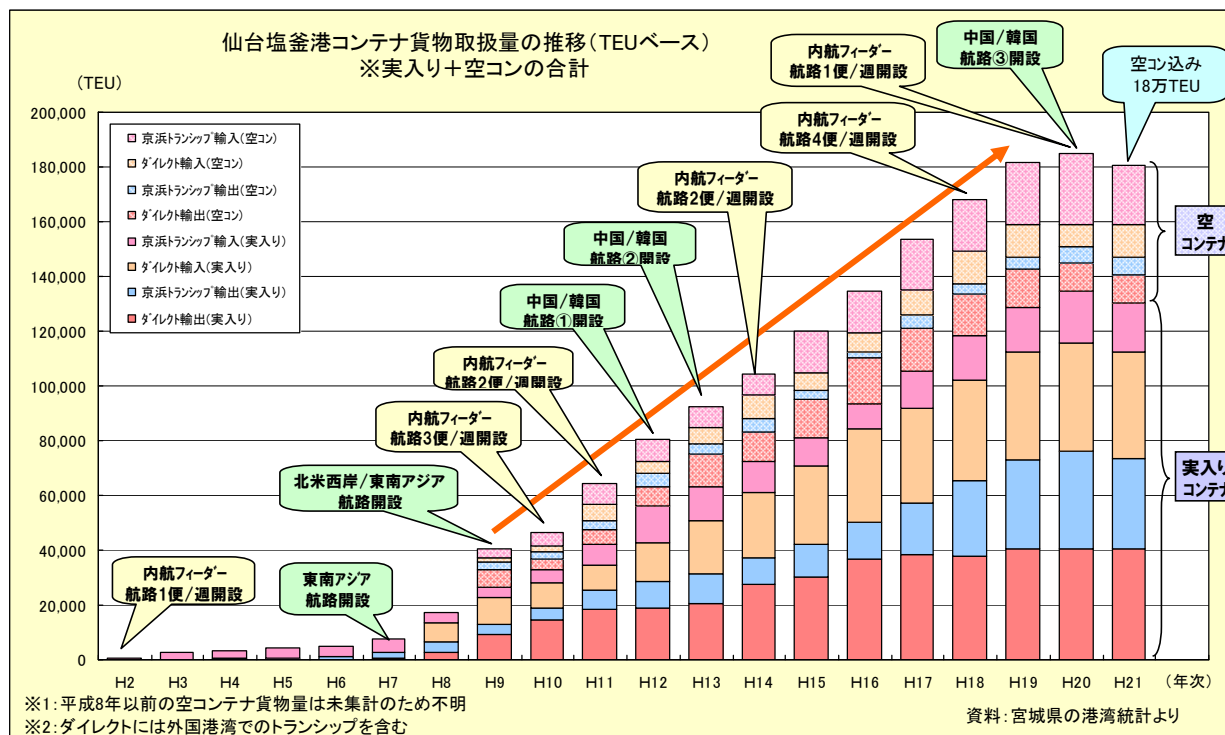
(千トン)



## 2) 外内貿コンテナ貨物取扱状況

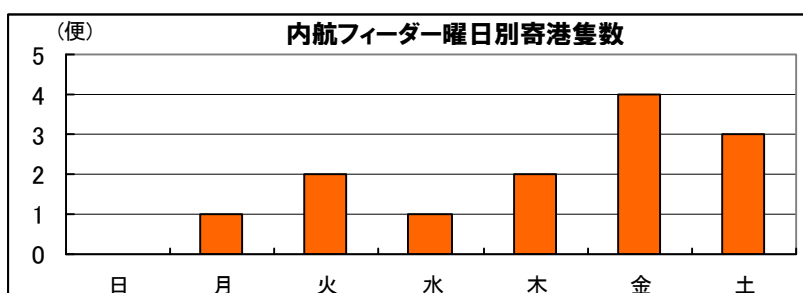
### ① 仙台港区取扱貨物量の推移

- 外貿コンテナ貨物は平成 20 年までは着実に増加し、取扱個数は約 18 万 5 千 TEU で過去最高。
- 平成 21 年は、世界同時不況の影響により全国的に減少しているが、仙台港区はほぼ横ばいで推移。

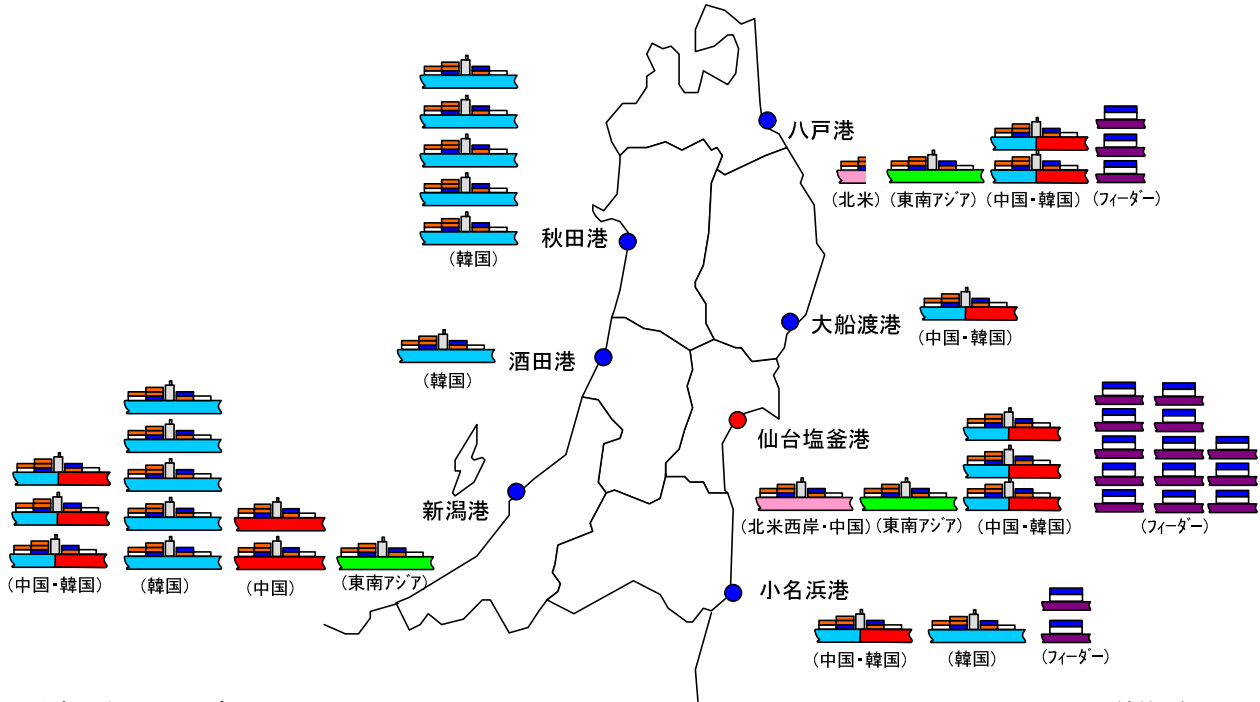


### 国際コンテナ定期航路

航路名	開設年次	寄港地	寄港曜日							
			日	月	火	水	木	金	土	
東アジア航路	H7.7	仙台～基隆～台中～高雄～上海～新潟～苦小牧～八戸～仙台								
北米西岸/東南アジア航路	H9.4	仙台～ロサンゼルス～オークランド～東京～名古屋～神戸～高雄～蛇口～カイメップ～レムチャバン～シンガポール～神戸～名古屋～東京～仙台								
中国/韓国航路	H12.5	仙台～小名浜～常陸那珂～釜山～蔚山～光陽～寧波～上海～釜山～清水～仙台								
中国/韓国航路	H13.2	仙台～釜山～大連～青島～蔚山～光陽～新港～釜山～新潟～苦小牧～釧路～八戸～仙台								
中国/韓国航路	H20.11	仙台～大船渡(隔週)～釜山～蔚山～光陽～上海～寧波～釜山～清水～仙台								



## ②東北地方定期コンテナ航路就航状況



平成22年10月現在

単位: 便/週

航路	港湾名	仙台塩釜港	八戸港	大船渡港	小名浜港	秋田港	酒田港	新潟港
北米			0.25					
北米西岸・中国		1						
東南アジア		1	1					1
中国								2
中国・韓国		3	2	1	1			3
韓国					1	5	1	5
内航フィーダー		13	3		2			

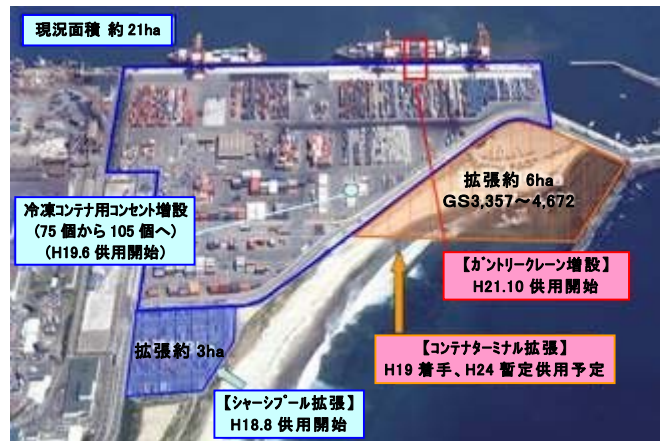
資料: 各港HP

## ③高砂コンテナターミナル施設概要

### ■高砂コンテナターミナル施設概要(H22.5現在)

施設名	規模
ふ頭面積	215,900m <sup>2</sup>
岸壁	水深-12m 延長270m(H7.4供用)
	水深-14m 延長330m(H13.6供用) ※耐震強化岸壁
スロット数	ドライコンテナ: 2,160TEUスロット
	リーファーコンテナ: 60TEUスロット
ガントリークレーン	4基
ストラドルキャリア	11台
リーファーコンセント	105個
くん蒸施設	1棟
ゲートハウス	1式
CFS	1棟(1,500m <sup>2</sup> )
メンテナンスショップ	1棟
管理棟	1棟
シャーププール	15,295m <sup>2</sup>

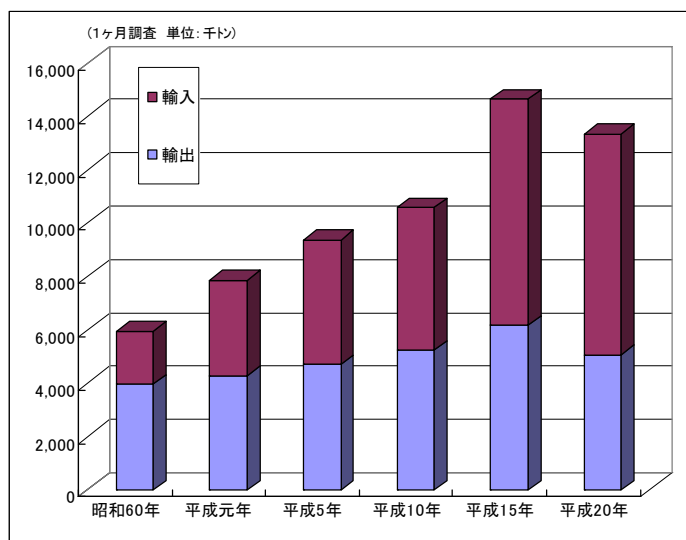
資料: 宮城県HP



#### ④我が国港湾のコンテナ取扱貨物量の推移

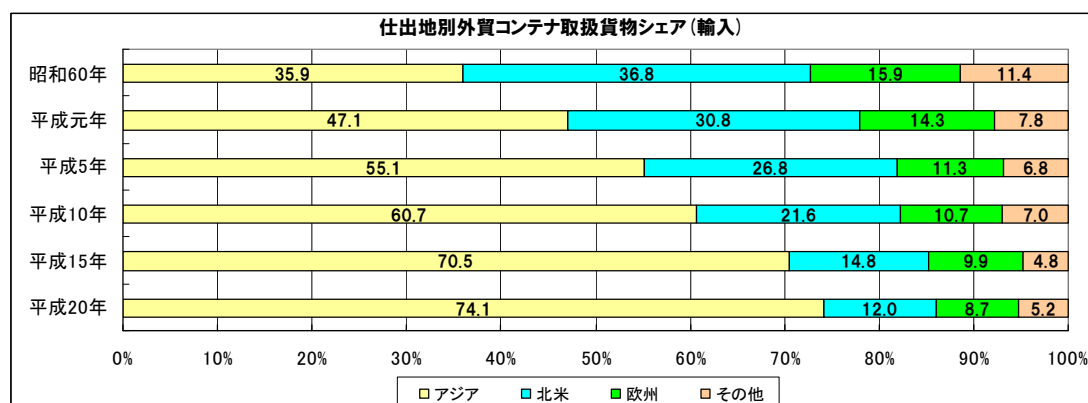
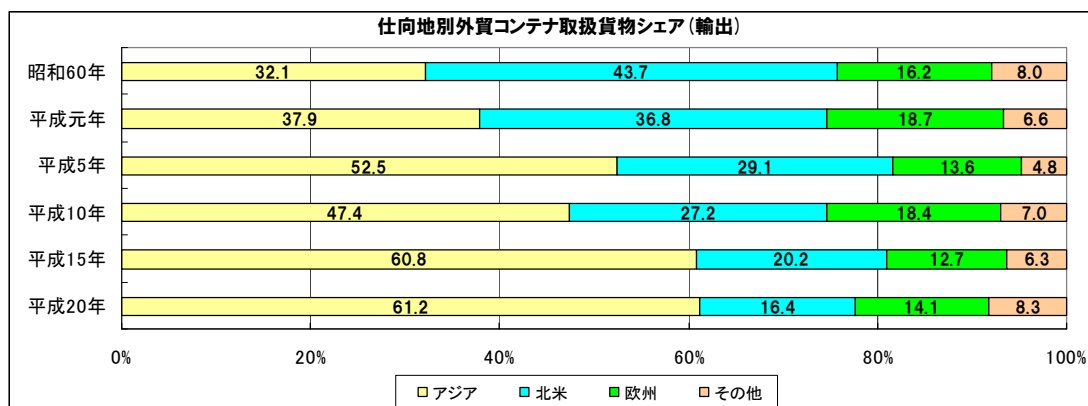
- 我が国で生産・消費されるコンテナ貨物は平成15年までは順調に増加していたが、平成20年に減少に転じている。
- 外貿コンテナ取扱貨物の仕向・仕出地域別取扱シェアは、年々アジア地域のシェアが高まり、平成20年実績においては輸出61%、輸入74%。

全国輸出入コンテナ貨物量の推移



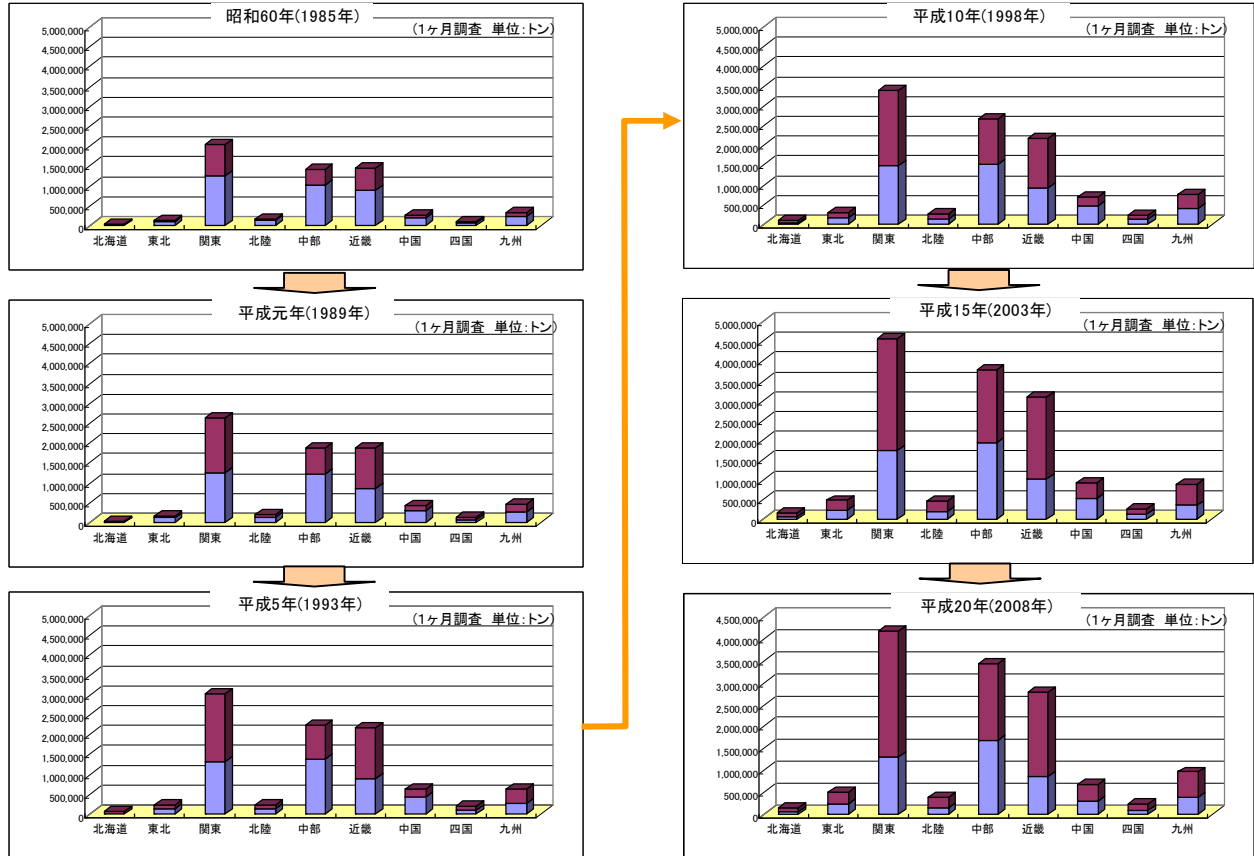
資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査

仕向・仕出地域別取扱シェアの推移



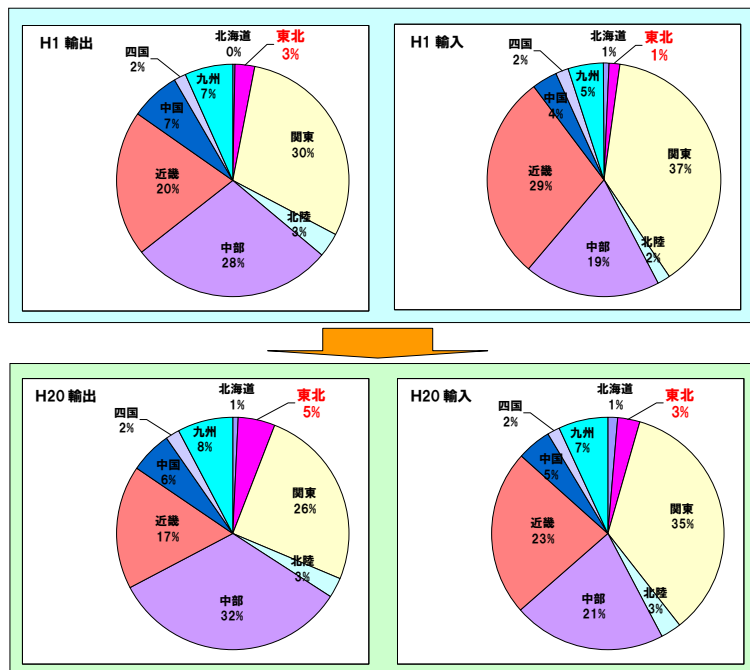
- 生産・消費されるコンテナ貨物量は、関東、中部、近畿地方が増加。
- 東北地方のコンテナ貨物量も年々増加、全国取扱貨物量(輸出入計)に占めるシェアも平成元年の2%から平成20年には4%に増加。

### 地域別コンテナ取扱貨物量の推移



資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査

### 地域別コンテナ取扱貨物量シェアの比較(H1⇒H20)



資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査

### ⑤ 港湾別コンテナ取扱個数ランキング

- 我が国の主要港の取扱個数順位は年々下降しており、2008年(H20)では東京港の24位が最高。
- 世界でのコンテナ取扱個数上位港は、東アジア地域の港湾が独占しており、取扱個数も増加の一途をたどっている。
- 仙台塩釜港の2009年実績における全国順位は第13位であるが、増加率は上位港と比較し急増（増加率：2009/2000=2.3倍）

### 世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング

単位：千TEU

順位	1990年		2000年		2008年	
	港湾名	取扱個数	港湾名	取扱個数	港湾名	取扱個数
1	シンガポール	5,224	香港(中国)	18,100	シンガポール	29,918
2	香港	5,101	シンガポール	17,040	上海(中国)	27,980
3	ロッテルダム(オランダ)	3,667	釜山(韓国)	7,540	香港(中国)	24,494
4	高雄(台湾)	3,495	高雄(台湾)	7,426	深セン(中国)	21,414
5	神戸	2,596	ロッテルダム(オランダ)	6,275	釜山(韓国)	13,453
6	釜山(韓国)	2,348	上海(中国)	5,613	ドバイ(アラブ)	11,827
7	ロサンゼルス	2,116	ロサンゼルス	4,879	寧波(中国)	11,226
8	ハンブルグ(ドイツ)	1,969	ロングビーチ(米国)	4,601	広州(中国)	11,001
9	ニューヨーク・ニュージャージー	1,872	ハンブルグ(ドイツ)	4,248	ロッテルダム(オランダ)	10,800
10	基隆(台湾)	1,828	アントワープ(ベルギー)	4,082	青島(中国)	10,320
	横浜(11)	1,648	東京(14)	2,899	東京(24)	4,156
	東京(13)	1,555	横浜(21)	2,317	横浜(29)	3,481
	名古屋(24)	898	神戸(22)	2,266	名古屋(39)	2,817
	大阪(38)	483	名古屋(28)	1,912	神戸(44)	2,556
	北九州(67)	256	大阪(35)	1,474	大阪(50)	2,243
	清水(89)	164	博多(89)	511	博多(112)	825
	博多(97)	150	北九州(112)	412	北九州(161)	453
			清水(121)	362		

資料：CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEAR BOOK より国土交通省港湾局作成

注1) 輸移出入を合計した値で、トランシップ貨物を含む。

注2) 実入りコンテナと空コンテナを合計した値である。

注3) 2008年は暫定値である。

### 日本の港湾別コンテナ取扱個数ランキング

単位：千TEU

順位	1995年取扱個数				2000年取扱個数				2009年(速報値)取扱個数				増加率 2009/2000
	港湾名	輸出	輸入	計	港湾名	輸出	輸入	計	港湾名	輸出	輸入	計	
1	横浜	1,386	1,341	2,727	東京	1,235	1,403	2,638	東京	1,552	1,830	3,382	128%
2	東京	855	991	1,846	横浜	1,116	1,146	2,262	横浜	1,379	1,176	2,555	113%
3	名古屋	749	728	1,477	神戸	1,012	1,027	2,039	名古屋	1,035	1,017	2,052	101%
4	大阪	652	699	1,351	名古屋	893	864	1,757	大阪	837	1,006	1,843	105%
5	神戸	670	675	1,345	大阪	696	778	1,474	神戸	946	827	1,773	120%
6	北九州	184	185	367	博多	237	237	474	博多	307	322	629	133%
7	博多	126	130	256	清水	195	181	376	北九州	188	170	358	95%
8	清水	127	125	252	北九州	172	184	356	清水	172	153	325	91%
9	那覇	27	37	64	苫小牧	74	75	149	苫小牧	76	89	165	111%
10	苫小牧	30	33	63	四日市	54	50	104	四日市	89	67	156	150%
					仙台塩釜(17)	26	18	44	仙台塩釜(13)	51	51	102	232%

資料：国土交通省港湾局調べ

注：コンテナ個数は、実入りコンテナと空コンテナを合計した値である。

《参考：日本製紙が石巻港に内貿コンテナ船(専用)を就航》

- 日本製紙石巻工場が製品輸送に使用する内貿コンテナ船を平成20年11月より運航。
- これまでの製品輸送は、鉄道輸送60%、トラック輸送30%、フェリー(仙台港区)10%。
- 導入の目的は、国際競争力強化を目的に石巻工場に設置した抄紙機「N6マシン」がフル生産する製品出荷に対応するため。

運航スケジュール

寄港地	寄港間隔	石巻港寄港日
石巻～大阪～水島～高松～苫小牧～釧路～石巻	1便/週	水曜日

取扱貨物量の推移

単位:TEU

	移出	移入	計
H20	487	0	487
H21	2,255	0	2,255

資料:宮城の港湾統計



うらが丸(雲雀野ふ頭)

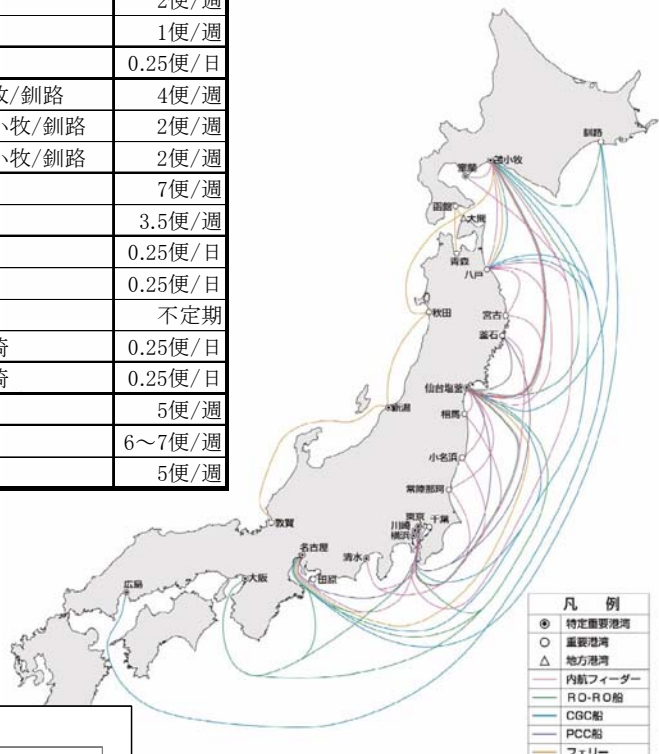
### 3) 内貿ユニットロード貨物取扱状況

○仙台塩釜港には、首都圏、中部圏、北海道と結ぶ国内海上ネットワークが形成されている。

○フェリー貨物量は平成元年に急増し、平成8年まで順調に増加。その後、平成14年まで減少、平成15年以降再び増加、近年、世界同時不況の影響により激減している。

平成22年1月現在

港湾名	船種	航路	運航回数
八戸港	CGC船	八戸/名古屋/仙台/苫小牧	0.25便/日
		八戸/川崎/苫小牧	2便/週
		八戸/苫小牧/広島	1便/週
釜石港	PCC船	釜石/横浜・川崎・名古屋・仙台方面	0.25便/日
仙台塩釜港	RORO船	仙台/東京/大阪/東京/仙台/苫小牧/釧路	4便/週
		仙台/東京/大阪/名古屋/仙台/苫小牧/釧路	2便/週
		仙台/東京/名古屋/東京/仙台/苫小牧/釧路	2便/週
	フェリー	仙台/苫小牧	7便/週
		仙台/名古屋	3.5便/週
	CGC船	仙台/苫小牧/仙台/名古屋	0.25便/日
		仙台/苫小牧/八戸/名古屋	0.25便/日
		仙台/釧路/名古屋	不定期
		仙台/横浜/田原/名古屋/横浜/川崎	0.25便/日
	PCC船	仙台/釜石/田原/名古屋/千葉/川崎	0.25便/日
秋田港	フェリー	秋田/苫小牧/秋田/新潟/敦賀	5便/週
新潟港	フェリー	新潟/小樽	6~7便/週
		新潟/秋田/苫小牧/敦賀	5便/週

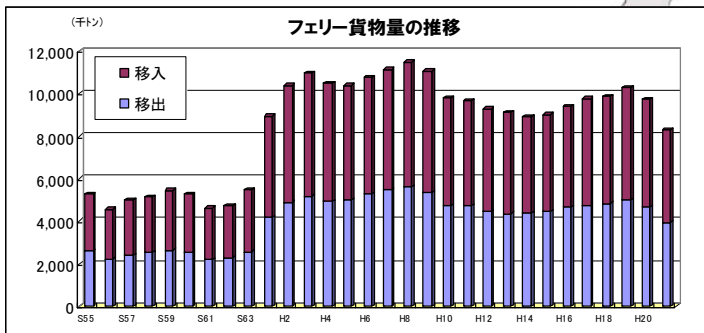


注1) フェリーは長距離フェリー(片道300km以上)のみ

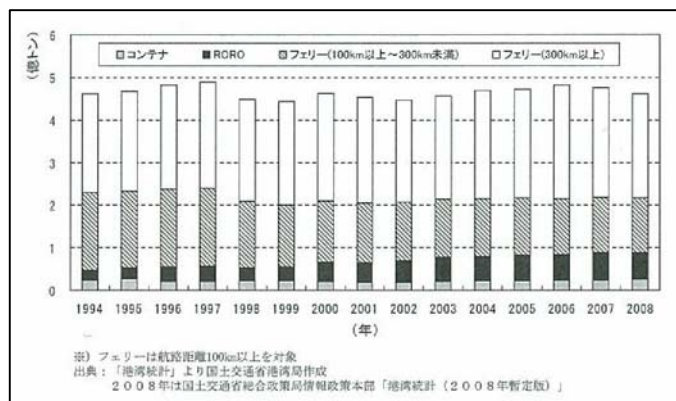
2) CGC船：混載自動車専用船 PCC船：自動車専用船

3) 新潟港のデータは平成22年1月現在

資料：東北及び北陸地方整備局 港湾空港部HP



### 我が国の内貿ユニットロード貨物量の推移

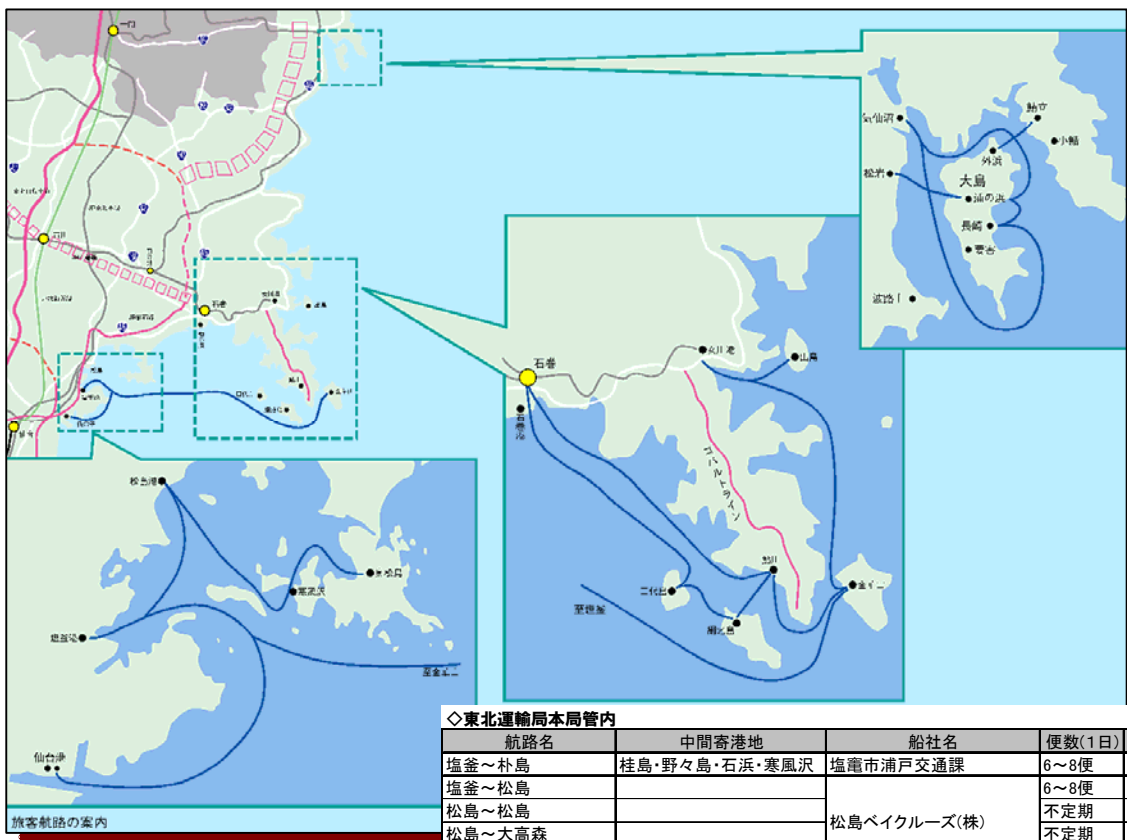




#### 4) 旅客船就航状況

- 塩釜港区と松島港間には8～13便／日の定期便が運航している。
- ほかにも、各船社が季節に合わせて不定期に運航している
- 船舶乗降人員の推移は、
  - ・塩釜港区：平成2年⇒平成17年まで減少、平成17年以降は若干減少
  - ・松島港：平成7年までは順調に増加、その後は120万人／年前後で推移
  - ・石巻港：昭和60年から平成17年まで年々減少、その後4万人弱で推移
  - ・仙台港区：年度による増減が大きく、概ね20～25万人程度で推移

旅客船航路図



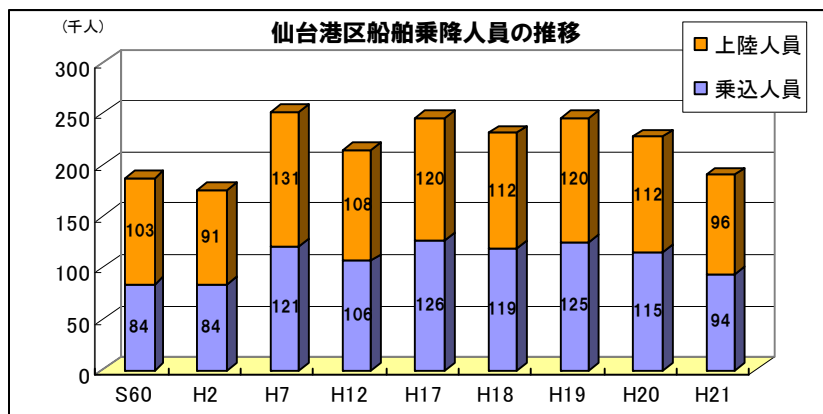
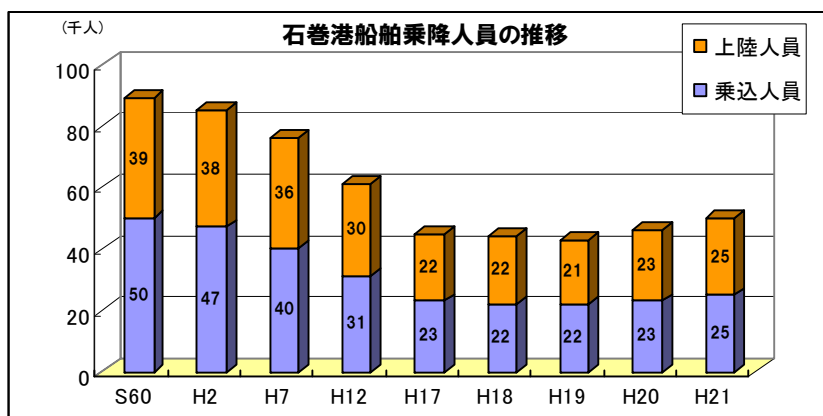
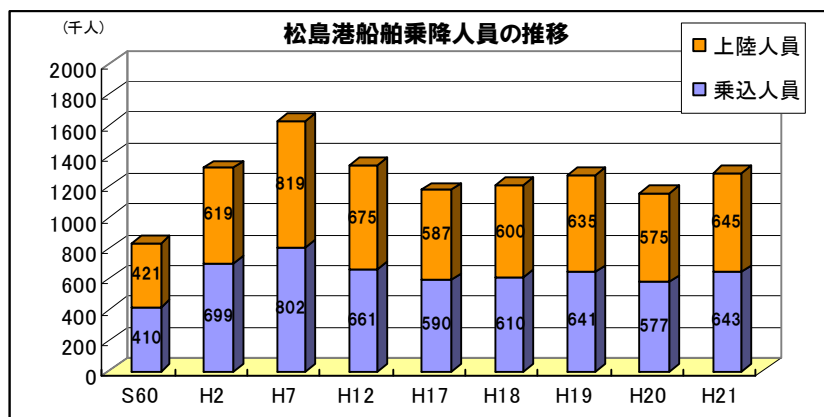
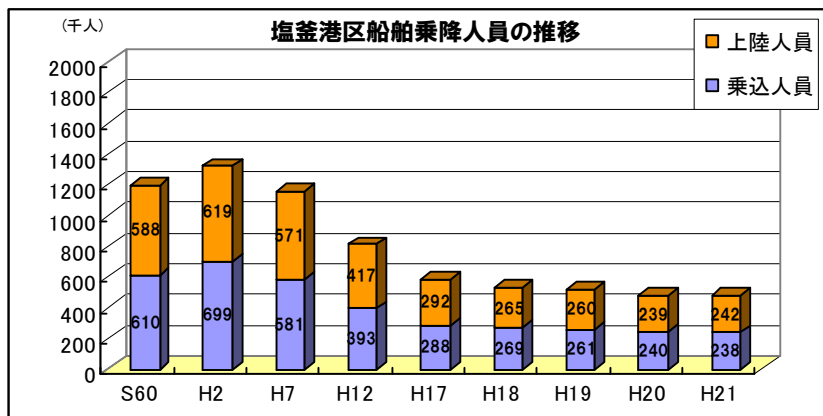
##### ◇東北運輸局本局管内

航路名	中間寄港地	船社名	便数(1日)	備考
塩釜～朴島	桂島・野々島・石浜・寒風沢	塩釜市浦戸交通課	6～8便	離島航路(補助指定航路)
塩釜～松島		松島ベイクルーズ(株)	6～8便	
松島～松島			不定期	
松島～大高森			不定期	
塩釜～松島			不定期	
塩釜～松島		丸文松島汽船(株)	2～5便	
松島～松島			不定期	
塩釜～塩釜			不定期	
塩釜～松島	寒風沢・野々島	ニュー松島観光船(株)	不定期	
松島湾内・松島廻遊	大高森		不定期	
塩釜～松島		松島島巡り観光船(企)	不定期	
松島湾内			7便	
松島～塩釜			不定期	
松島～大高森			不定期	
松島～桂島			不定期	
松島湾内貫立航路		(株)パシフィックマリーン	不定期	
松島湾内名勝		松島クルージング	不定期	
仙台湾周遊		太平洋フェリー(株)	不定期	

##### ◇石巻海事事務所管内

航路名	中間寄港地	船社名	便数(1日)	備考
鮎川～金華山		(株)金華山観光	2～5便	離島航路
石巻～金華山			不定期	離島航路
女川～金華山			不定期	離島航路
鮎川～金華山周遊			不定期	離島航路
石巻～鮎川	大泊・二斗田・網地	網地島ライン(株)	5便	離島航路(補助指定航路)
女川～江島	出島・寺間	シーパル女川汽船(株)	5～7便	離島航路(補助指定航路)
石巻湾周遊		シーフレンド(株)	不定期	
鮎川～金華山		シードリーム金華山汽船(株)	5便	
女川～金華山		(株)潮プランニング	1便	

資料：「Ports of MIYAGI 宮城の港湾」(2010年3月)

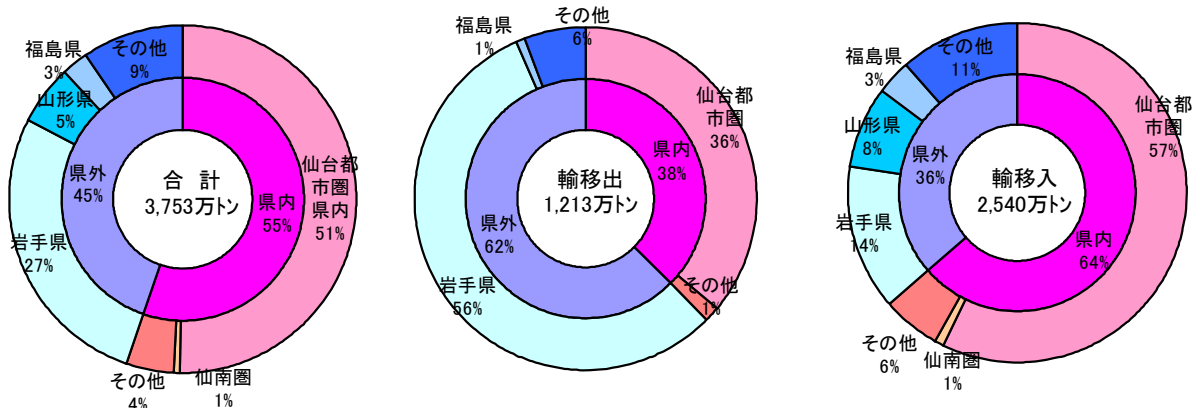
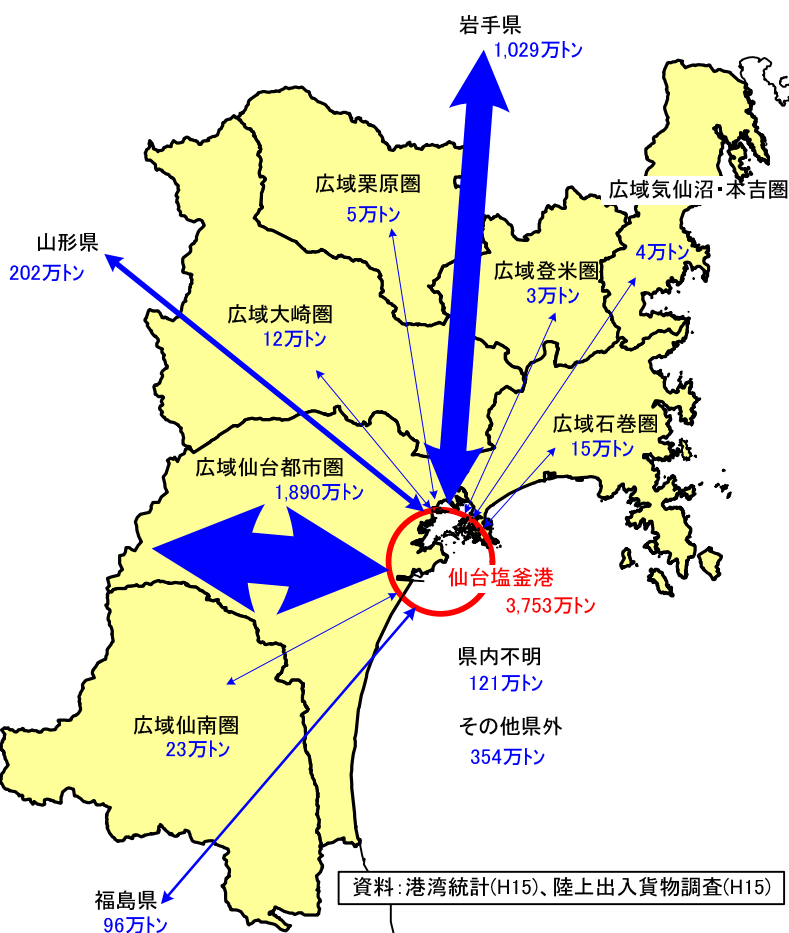


(2) 取扱貨物の背後地流動状況

◇陸上出入貨物調査による流動状況

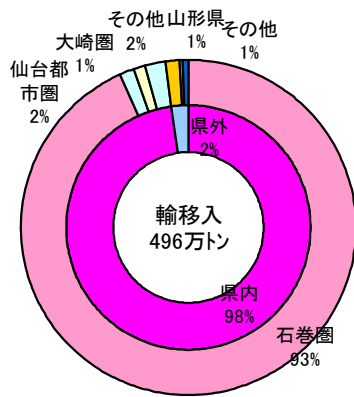
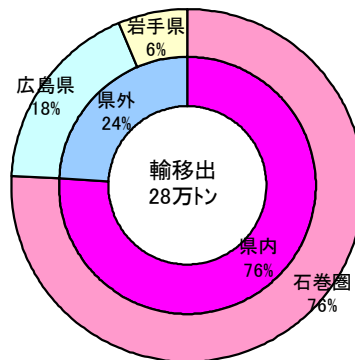
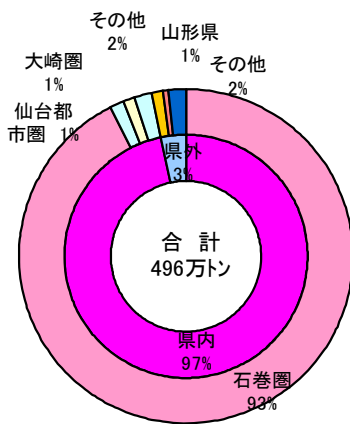
- 関東・東北地域港湾における陸上出入貨物調査は、平成5年、平成10年、平成15年に実施されている（現在は調査中止）
- 仙台塩釜港で取り扱っている貨物の背後地流動状況(H15)としては、**県内シェア(55%)**、**県外シェア(45%)**で、**広域的な貨物流動**となっている
- 県外流動先**としては岩手県が多く、次いで**山形県**といった隣接県への流動が多い
- また、**県内流動先**としては、**ほぼ直背後の仙台都市圏への流動**となっている。

港湾貨物の背後流動[仙台塩釜港](平成15年)



- 石巻港で取り扱っている貨物の背後地流動状況(H15)としては、**県内シェアが全量の約97%と高く**、そのほとんどが直背後都市の石巻圏に流動している。
- 県外への流動量は全量の約3%であり、流動先としては、隣接県の山形県、福島県となっている。

### 港湾貨物の背後流動[石巻港](平成15年)

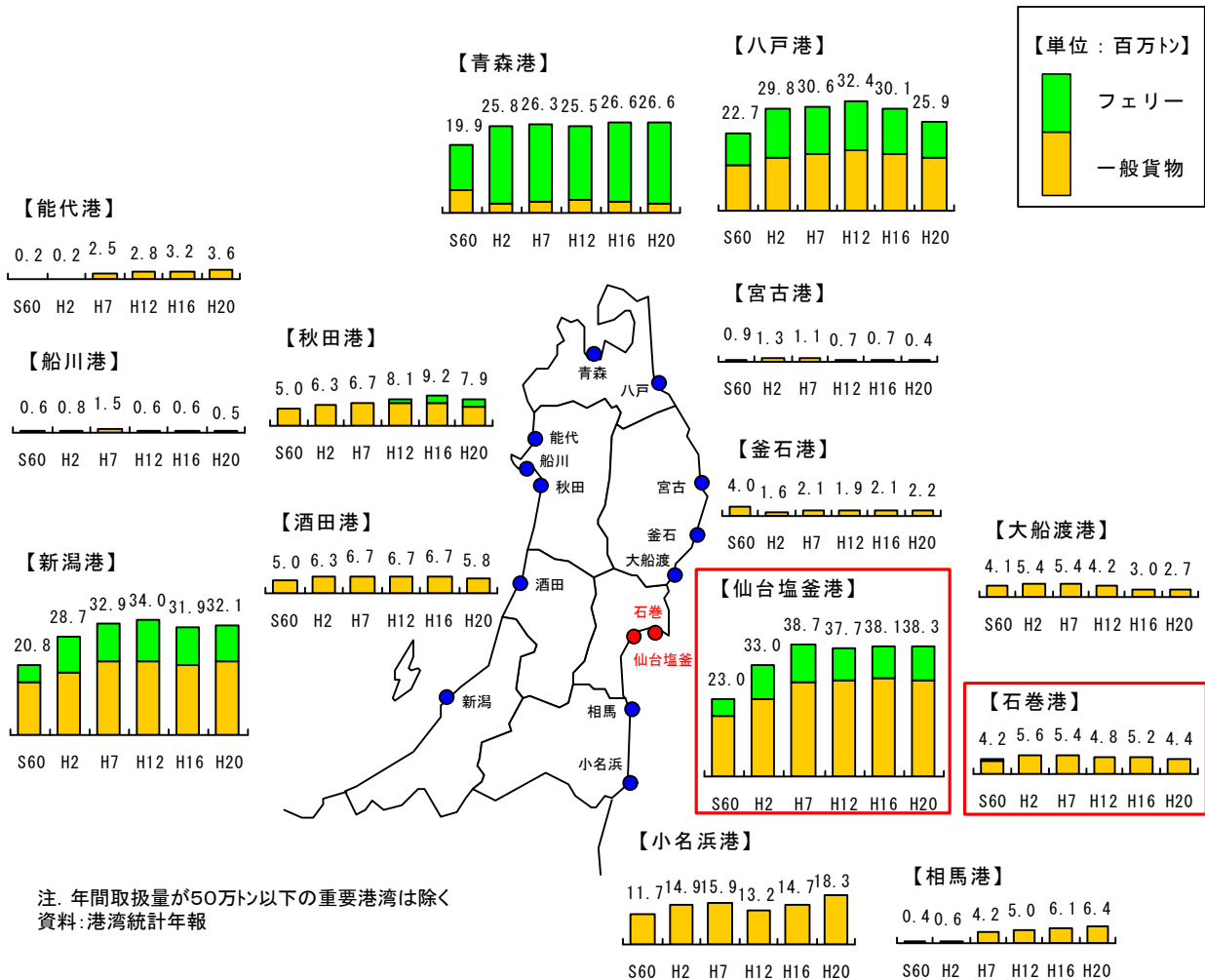


### (3) 東北他港との比較

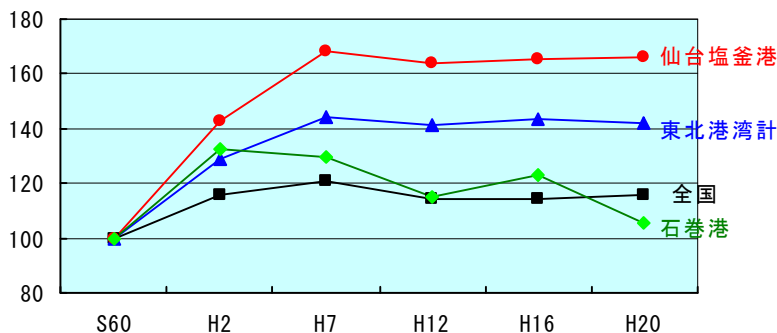
#### 1) 総貨物量

- 仙台塩釜港は、東北の重要港湾で取り扱っている貨物(H20)の約 27%を占めており、次いで取り扱いの多い青森港(19%)及び八戸港(18%)はフェリー貨物の占める割合が高い。
- 石巻港は全量の約 3%を占めており、約 5 百万ト前後で推移している。

東北地方港湾別取扱貨物量の推移

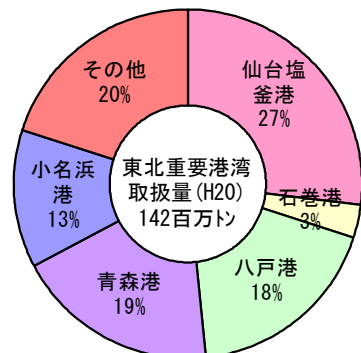


港湾貨物量の推移（昭和60年を100とした場合）



注：東北には新潟港は含まない  
資料：港湾統計年報

東北港湾取扱貨物の港湾別シェア



資料：港湾統計年報

- 港湾取扱貨物量ランキング(2008年)の全取扱貨物量での順位は、仙台塩釜港 24位、石巻港 92位である。
- また、フェリー貨物を除く順位は、仙台塩釜港 27位、石巻港 67位である。
- 両港の貨物を合計した場合、全貨物量で 21位、フェリー貨物を除いた場合は 22位となる。

### 港湾取扱貨物量ランキング(2008年 上位100港)

#### ◇フェリー貨物含む

単位:千トン			単位:千トン		
全国順位	港名	合計(フェリー含む)	全国順位	港名	合計(フェリー含む)
1	名古屋港	218,130	1	名古屋港	218,130
2	千葉港	165,143	2	千葉港	165,143
3	横浜港	141,764	3	横浜港	141,764
4	北九州港	109,427	4	北九州港	109,427
5	水島港	103,149	5	水島港	103,149
6	苫小牧港	102,293	6	苫小牧港	102,293
7	神戸港	95,186	7	神戸港	95,186
8	大阪港	92,976	8	大阪港	92,976
9	川崎港	92,739	9	川崎港	92,739
10	東京港	81,357	10	東京港	81,357
24	仙台塩釜港	38,250	21	仙台塩釜港+石巻港	42,667
33	青森港	26,636			
35	八戸港	25,889			
40	小名浜港	18,347			
67	秋田港	7,929			
76	相馬港	6,370			
92	石巻港	4,417			

資料:数字でみる港湾

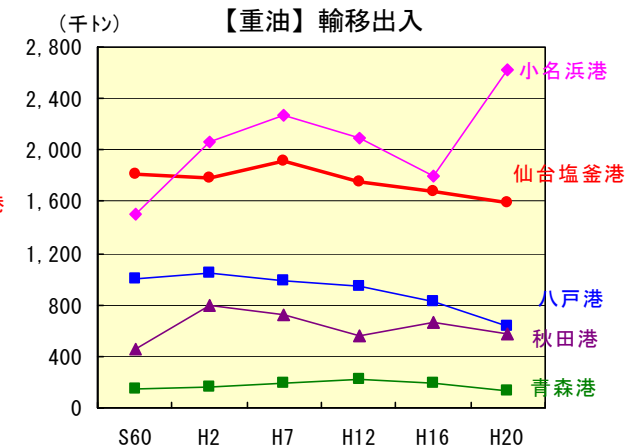
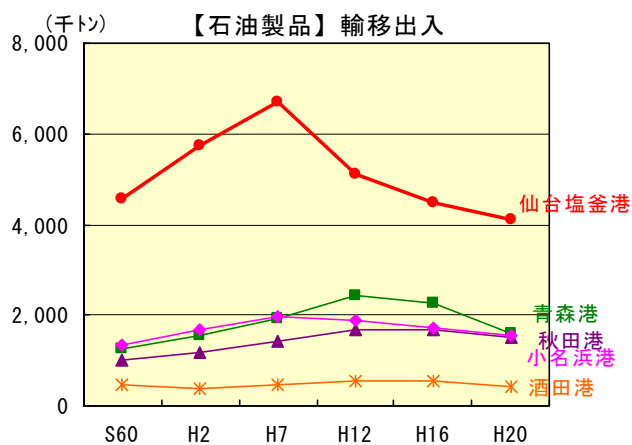
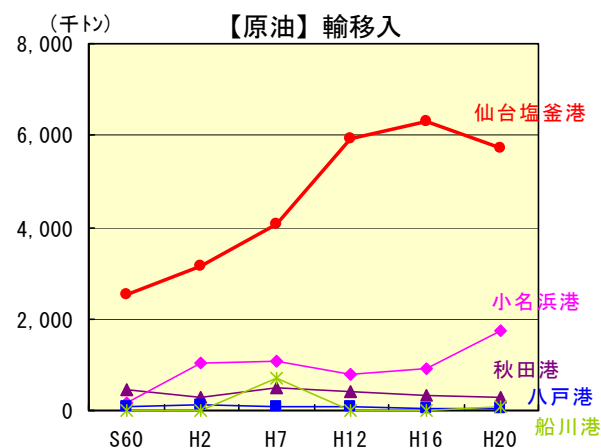
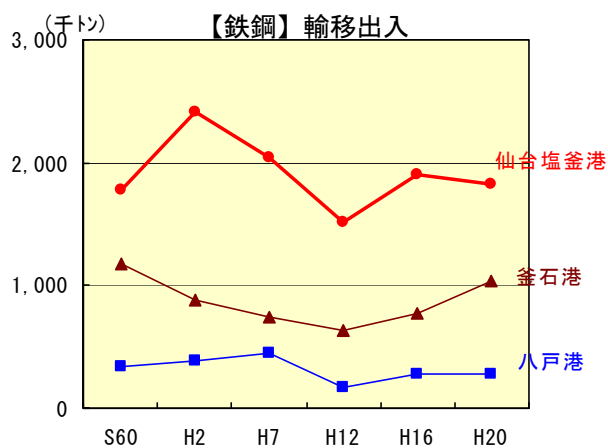
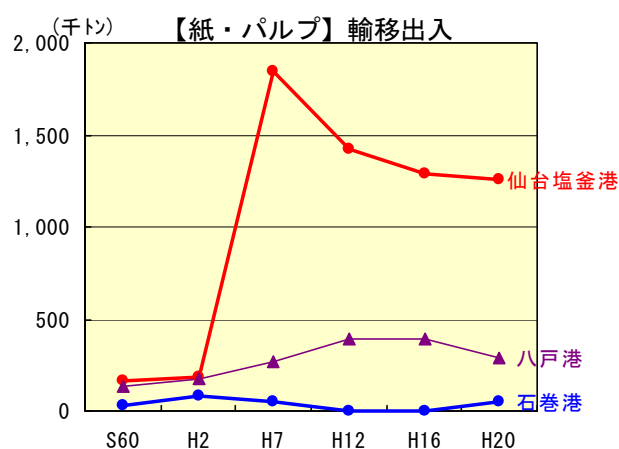
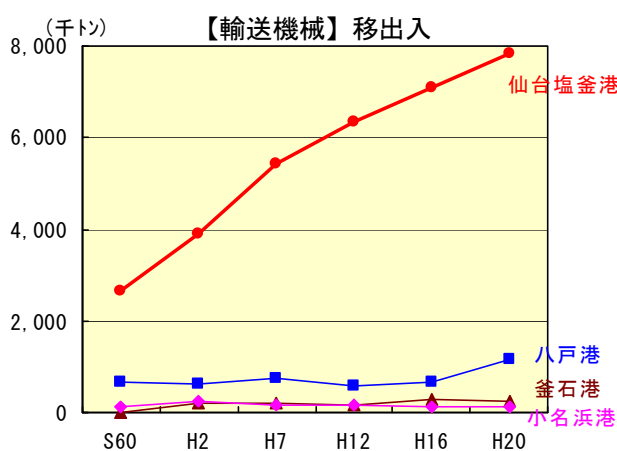
#### ◇フェリー貨物除く

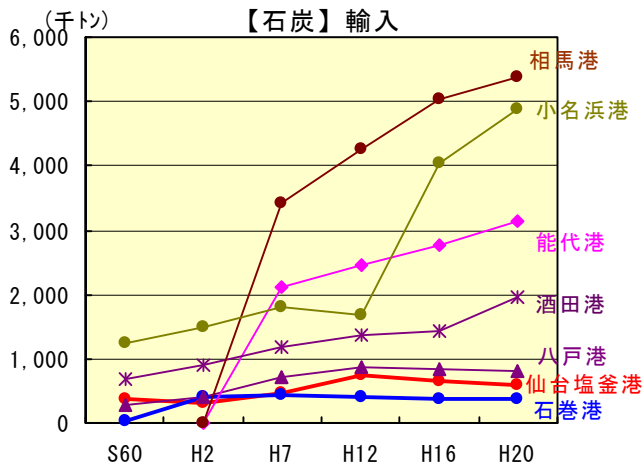
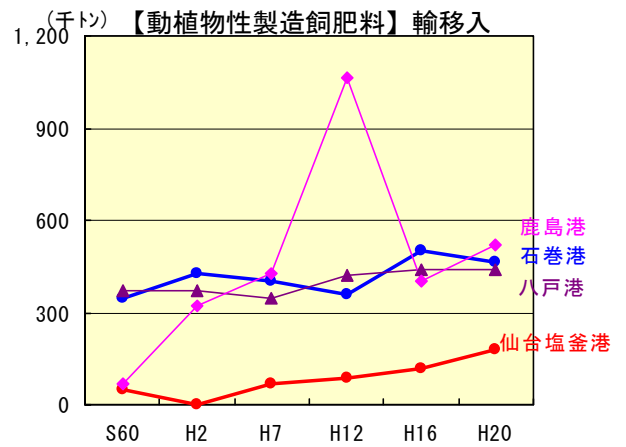
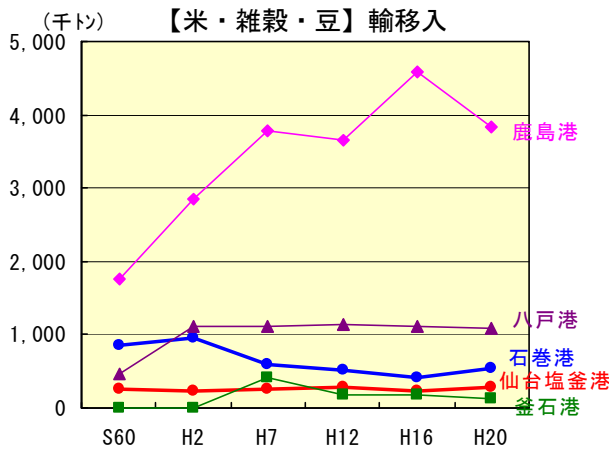
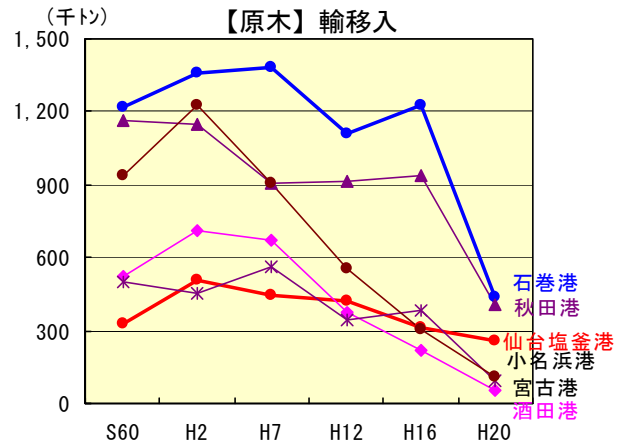
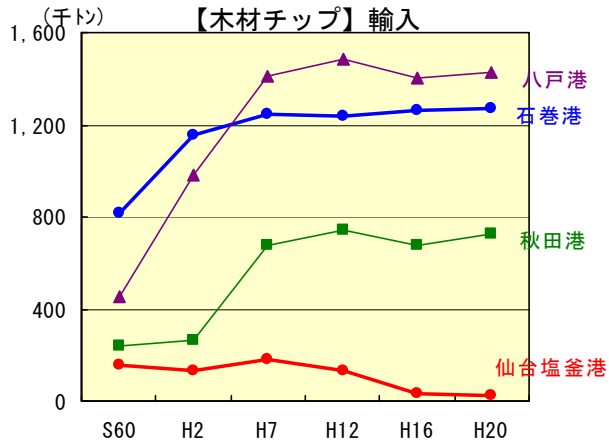
単位:千トン			単位:千トン		
全国順位	港名	合計(フェリー除く)	全国順位	港名	合計(フェリー除く)
1	名古屋港	213,841	1	名古屋港	213,841
2	千葉港	165,143	2	千葉港	165,143
3	横浜港	141,764	3	横浜港	141,764
4	水島港	103,149	4	水島港	103,149
5	川崎港	92,739	5	川崎港	92,739
6	東京港	73,987	6	東京港	73,987
7	木更津港	73,736	7	木更津港	73,736
8	神戸港	69,546	8	神戸港	69,546
9	北九州港	66,132	9	北九州港	66,132
10	鹿島港	65,013	10	鹿島港	65,013
27	仙台塩釜港	28,531	22	仙台塩釜港+石巻港	32,944
32	小名浜港	18,347			
37	八戸港	15,617			
55	相馬港	6,370			
59	秋田港	5,765			
67	石巻港	4,413			
79	青森港	2,727			

資料:数字でみる港湾

## 2) 大宗品目 (公専計)

- 仙台塩釜港の太宗貨物を対東北港湾と比較すると、輸送機械(完成自動車)の貨物量が突出して多く、背後自動車産業の積み出し基地、背後地への自動車供給基地となっている。(H20 内貿の取扱量では名古屋港、三河港に次いで全国第3位)
- また、原油や石油製品も多く、エネルギー供給基地にもなっている。
- その他では鉄鋼、紙・パルプが多い。
- 石巻港の太宗貨物を対東北港湾と比較すると、製紙関連産業の原料である木材チップは八戸港に次いで多い。(H20 輸入の取扱量では八戸港全国第6位、石巻港第10位)
- また、配合飼料工場の集約化により、米・雑穀・豆及び動植物性製造飼肥料は鹿島港、八戸港に次いで多い。(H20 とうもろこしの輸移入取扱量では鹿島港全国第1位、八戸港第6位、石巻港第10位)





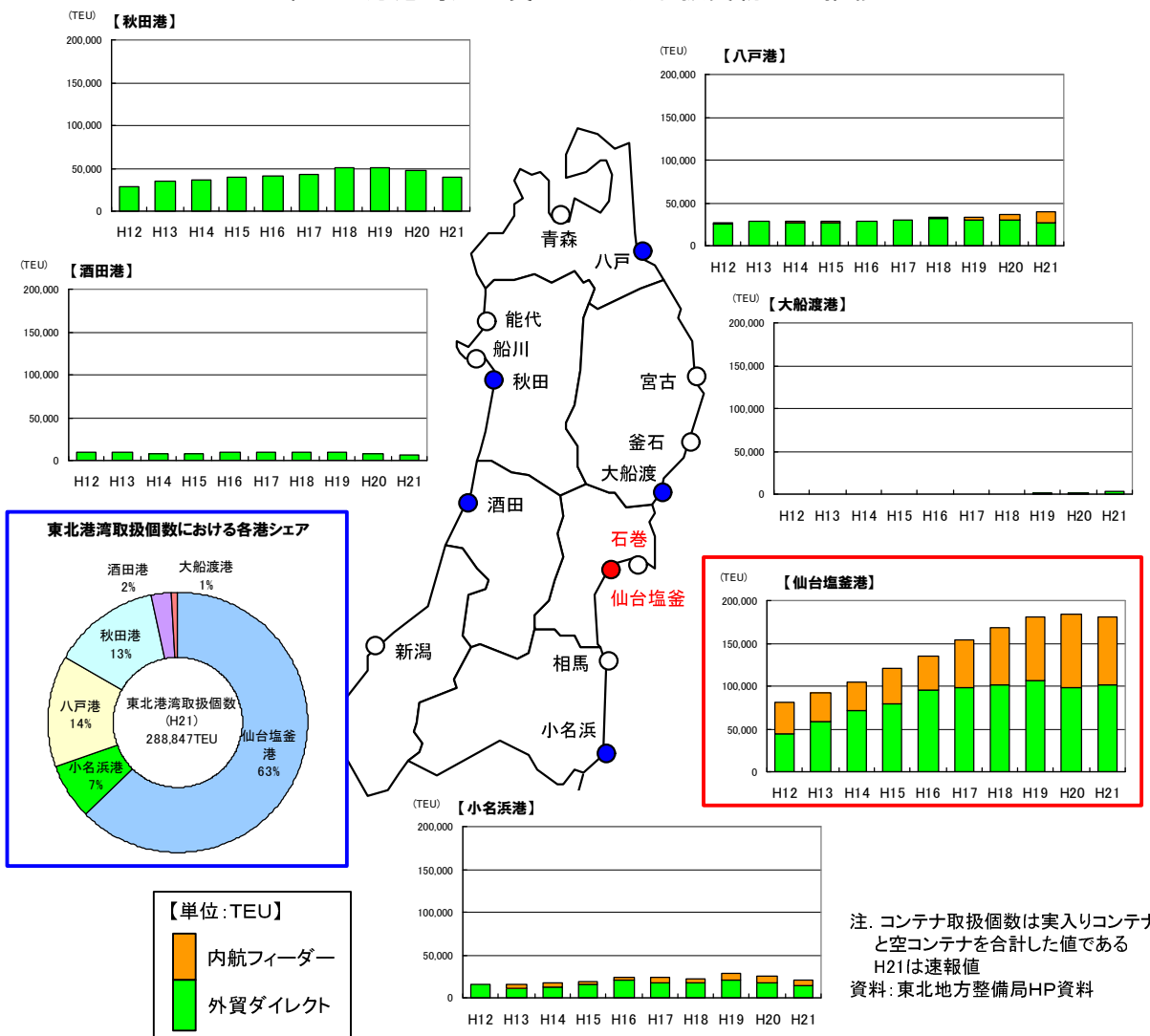


### 3) 外貿コンテナ貨物

#### ①東北地方港湾別貨物量の推移

○仙台塩釜港は東北6港合計貨物量の約63%(H21)を取り扱っている  
 ○仙台塩釜港取扱貨物の44%(H21)は内航フィーダー貨物である。  
 ○東北6港において、H16年からH21年にかけて大きく取扱個数が増加しているのは仙台塩釜港だけである(95千TEU⇒102千TEU)。

東北地方港湾別外貿コンテナ取扱貨物量の推移

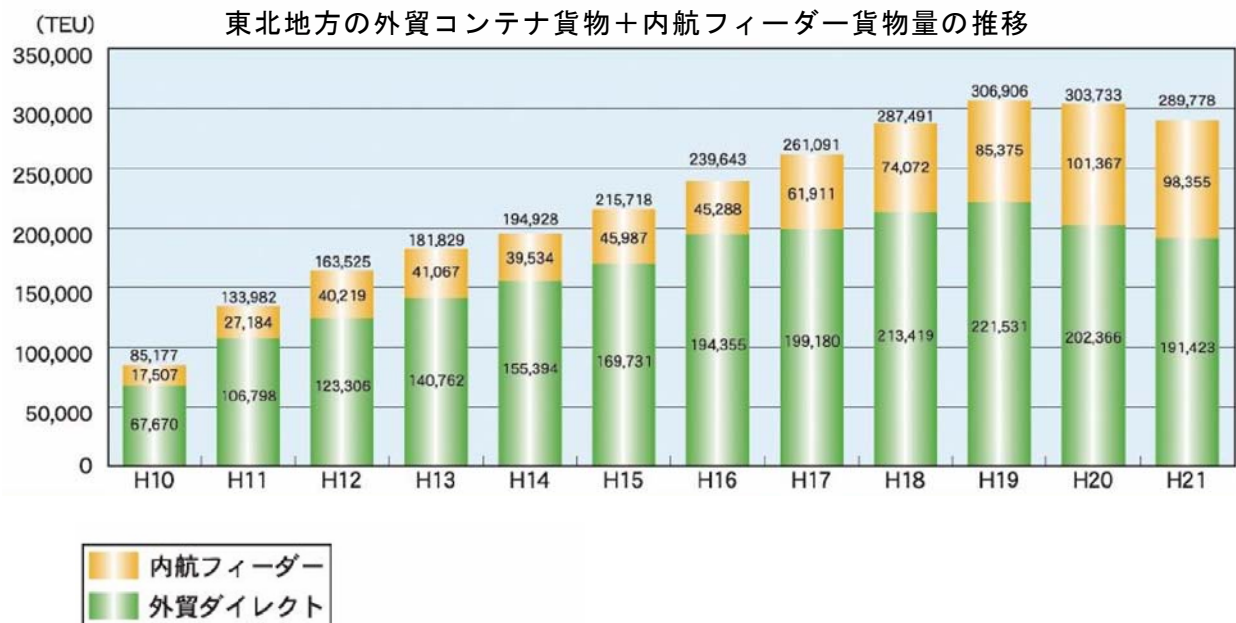


#### 外貿コンテナ取扱個数ランキング

【H16年】			【H21年】		
全国順位	港名	取扱個数	全国順位	港名	取扱個数
14	仙台塩釜港	95	13	仙台塩釜港	102
21	秋田港	41	22	秋田港	39
30	八戸港	27	27	八戸港	27
37	小名浜港	20	39	小名浜港	15
48	酒田港	10	50	酒田港	7
—	大船渡港	—	57	大船渡港	3

資料: 数字でみる港湾

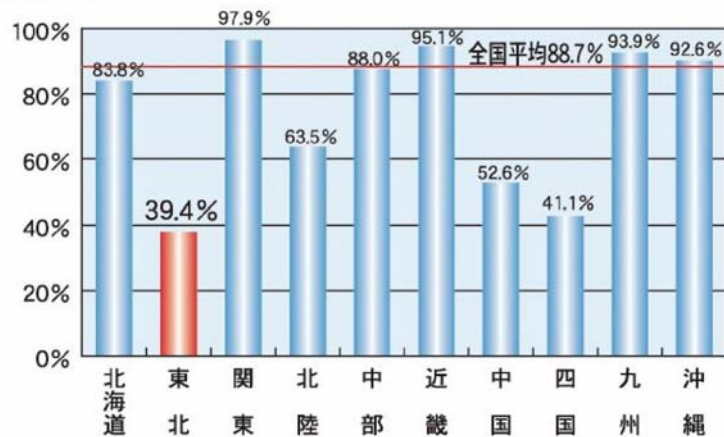
H21年は速報値



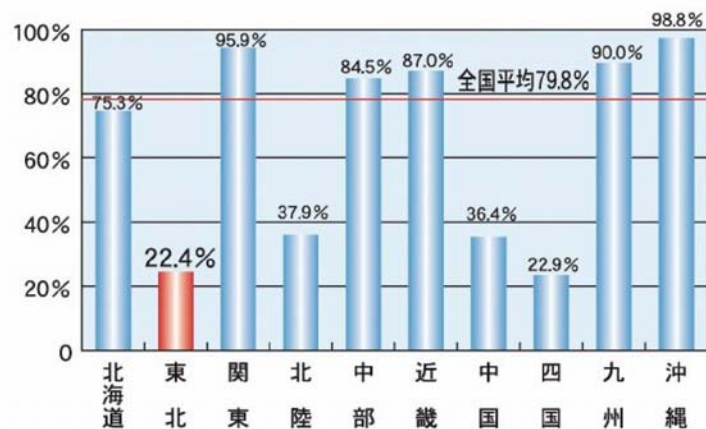
注)・上記値には、宮古港、釜石港、相馬港を含む  
 ・H21は速報値

自地域内の港湾における外貿コンテナ貨物量(地域別)(平成20年)

[輸入]



[輸出]



資料: 東北地方整備局HPより

## ②東北を生産・消費地とする貨物の船積・船卸港

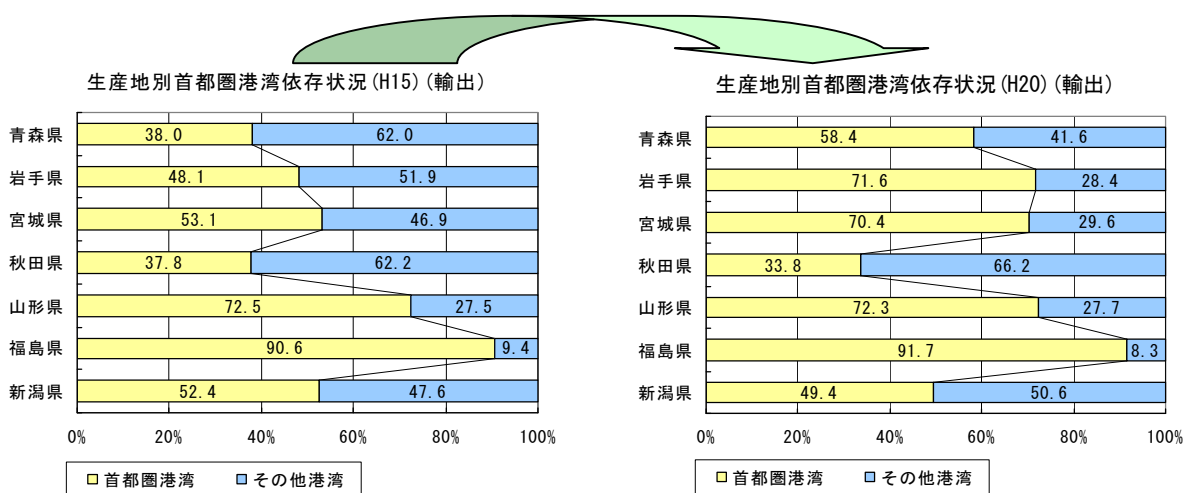
### ◇全国輸出入コンテナ貨物流動調査による船積・船卸港

※当該調査は、10月(H20年は11月)の1ヶ月値であり、船積・船卸港は、本船からの積み卸し量で、フィーダー貨物は含まれない。

○東北地方を生産・消費地とするコンテナ貨物の船積・船卸港は、首都圏港湾の比率が依然として高い。

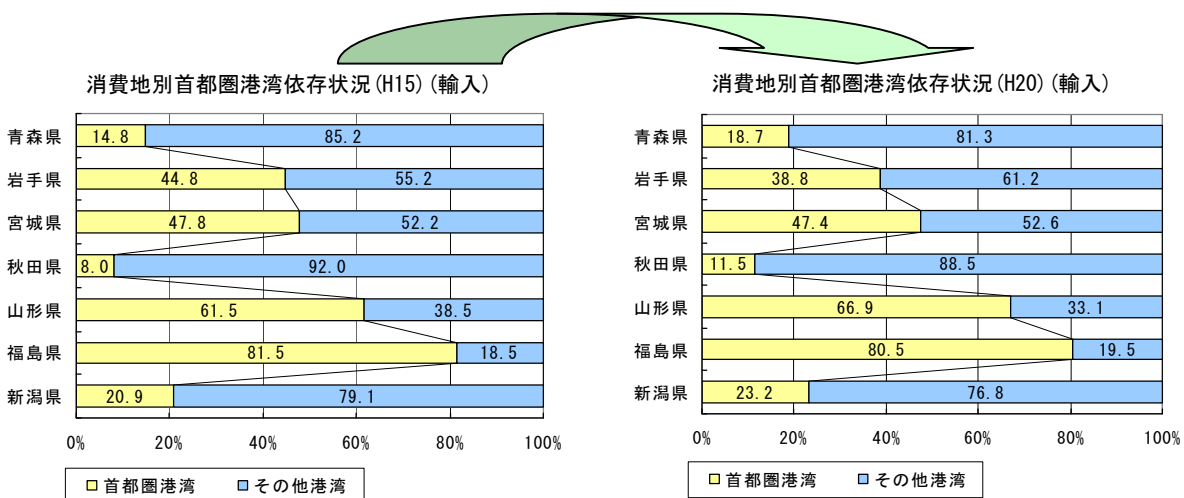
○生産・消費地別で平成15年と平成20年の仙台塩釜港の利用貨物量(1ヶ月値)を比較すると、宮城県の入荷貨物のみ増加している。

### 生産・消費地別首都圏依存シェアの比較(H15⇒H20)



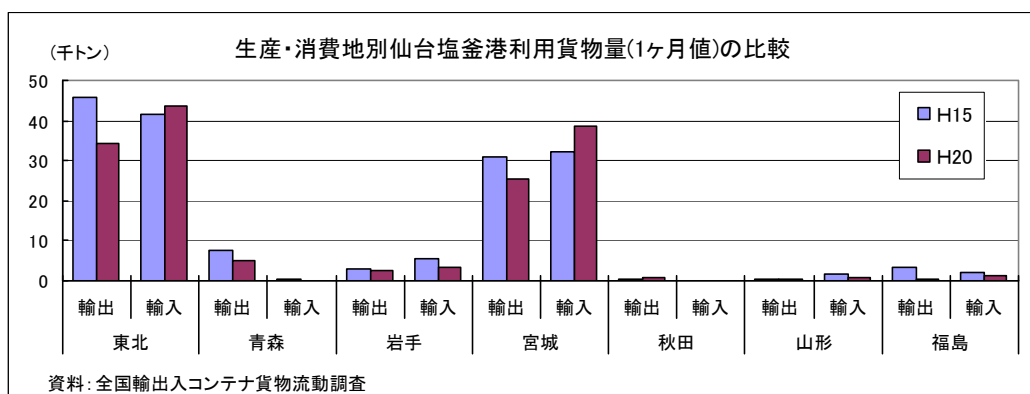
資料：外貿コンテナ流動調査(H15)

資料：外貿コンテナ流動調査(H20)



資料：外貿コンテナ流動調査(H15)

資料：外貿コンテナ流動調査(H20)



### 1.3 仙台湾各港のあゆみと港湾計画の経緯

#### (1) 仙台湾各港のあゆみ

	仙台湾塩釜港(塩釜港区)	仙台湾塩釜港(仙台港区)	石巻港	松島港
奈良時代	国府多賀城の外港並びに製塩地として栄える			
元和9年 (1623年)			北上川の開削工事に着手 以降、石巻は米穀の積出港として繁栄	
明治	塩釜港改修工事(浚渫埋立)起工(M15) 三陸沿岸と通商開始(M33) 港湾調査会により第2種重要港湾に指定(M43)		野蒜築港工事台風により中止(M17) 石巻税関監視署開設(M32)	県内初の県立自然公園に指定(M35)
大正	第1期築港工事起工(T4) 塩釜港務所設置(T15)			
昭和元年 ～ 昭和30年	横浜税関塩釜支署設置(S9) 東北海運局設置(平成元年度仙台市に移転)(S18) 第二管区海上保安本部設置、塩釜港長事務所設置(S23) 塩釜海上保安部設置(S25) 港湾法による重要港湾に指定(S26) 東京検疫所塩釜出張所開設(S28) 第6回港湾計画会議により商港の長期計画決定(S30)		石巻税関出張所に昇格(S16) 地方港湾に指定(S25)	国の特別名勝に指定(S27) 地方港湾に指定(S29)
昭和35年			全国総合開発計画に基づく北上川特定地域開発計画の一環として、河口西方約3kmの釜地区へ工業港の建設を開始	
昭和39年	港湾計画変更(改訂) 新産業都市建設地域指定	港湾計画変更(改訂:仙台港区の工業港計画新規策定) 新産業都市「仙台湾地区」に指定 工業港計画新規策定	港湾計画変更(改訂:新規計画) 港湾法による重要港湾に指定	
昭和40年	港則法による特定港指定 横浜植物防疫所塩釜出張所開設			
昭和42年		工事開始	出入国港の指定を受ける	
昭和43年			検疫法による検疫港に指定 植物防疫法による木材輸入港に指定 東京検疫所石巻出張所開設	
昭和44年	港湾計画変更(改訂)	港湾計画変更(改訂) 商港計画追加	植物防疫法による穀物輸入港に指定	
昭和46年		貿易港として塩釜港へ編入(関税法) 植物防疫法による植物輸入港に指定	植物防疫所石巻出張所開設	
昭和47年			港湾計画変更(改訂)	
昭和56年			港湾計画変更(改訂)	
昭和61年	港湾計画変更(改訂)	港湾計画変更(改訂) 国際貿易港計画策定		国際観光モデル地区に指定
平成元年			港湾計画変更(改訂)	
平成3年			家畜伝染病予防法による動物検疫港に指定	
平成4年				松島の水質・底質を改善する海域環境整備事業(シーブルー)を平成15年度まで実施
平成5年	第3セクター塩釜港開発株式会社設立			
平成7年		仙台港・仙台空港周辺地域が輸入促進地域(FAZ)に指定 国際交流インフラ推進事業対象地域に指定		
平成8年	港湾計画変更(改訂)	港湾計画変更(改訂) エコポートモデル港に指定		
平成13年	港湾法による特定重要港湾に指定 港名を塩釜港から仙台湾塩釜港に変更			
平成16年		仙台国際貿易港物流ターミナルオープン		
平成17年			港湾計画変更(改訂)	
平成18年		横浜税関仙台塩釜税関支署に名称変更及び移転		
平成20年	港湾計画変更(改訂)	港湾計画変更(改訂)		

## (2) 港湾整備の歴史

### 1) 仙台塩釜港（仙台港区）

#### ◇戦後（現在の港湾法制定以降）の計画改訂

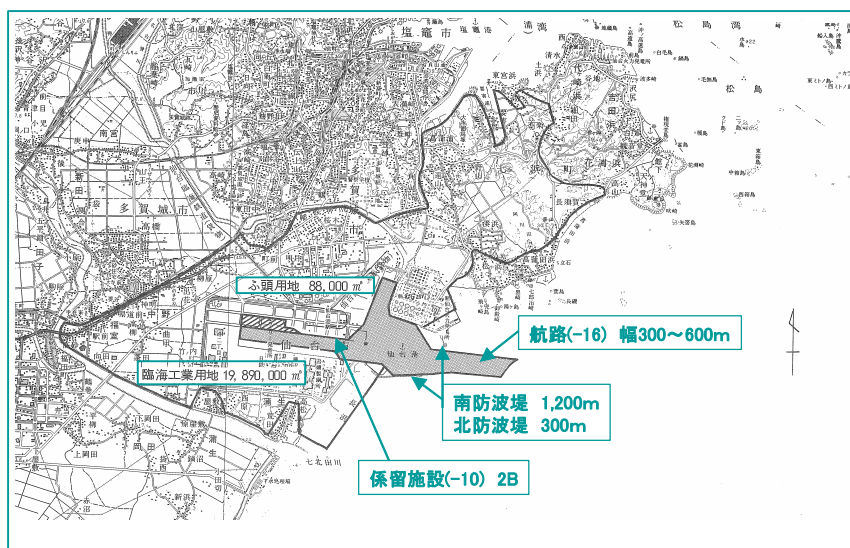
- 昭和 39 年 8 月 《仙台港区（新規）・塩釜港区》
- 昭和 44 年 3 月 《仙台港区》
- 昭和 61 年 3 月 《仙台港区・塩釜港区》
- 平成 8 年 6 月 《仙台港区・塩釜港区》
- 平成 20 年 11 月 《仙台港区・塩釜港区》

仙台港区は、昭和 39 年 3 月に新産業都市「仙台湾地区」の指定を受け、臨海型工業の開発拠点として、同年 8 月に港湾計画が策定された堀込港湾であり、同 44 年 12 月から建設工事が始まった。その後、流通港湾としての必要性が高まったため、同 44 年 3 月の計画変更で商港機能を追加し、同 46 年 7 月に貿易港として塩釜港に編入、開港した。

平成 13 年 4 月に東北地方唯一の特定重要港湾に昇格したことに伴い、現在の「仙台塩釜港」と港名を変更、同年 6 月には高砂コンテナターミナル(-14m)が供用開始するなど、東北地方における国際及び国内海上輸送網の拠点としてその重要性を高めている。



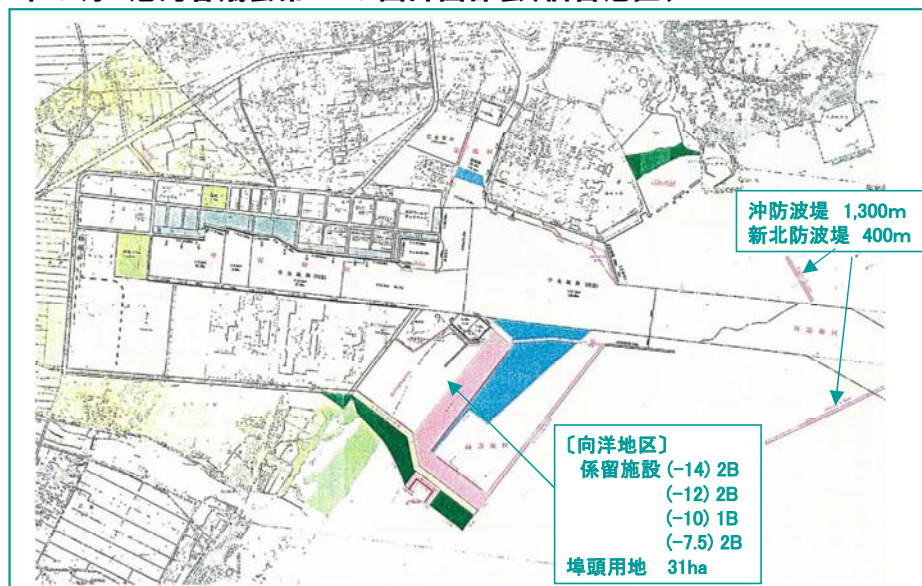
◇昭和 39 年 8 月 港湾審議会第 23 回計画部会(仙台港区)



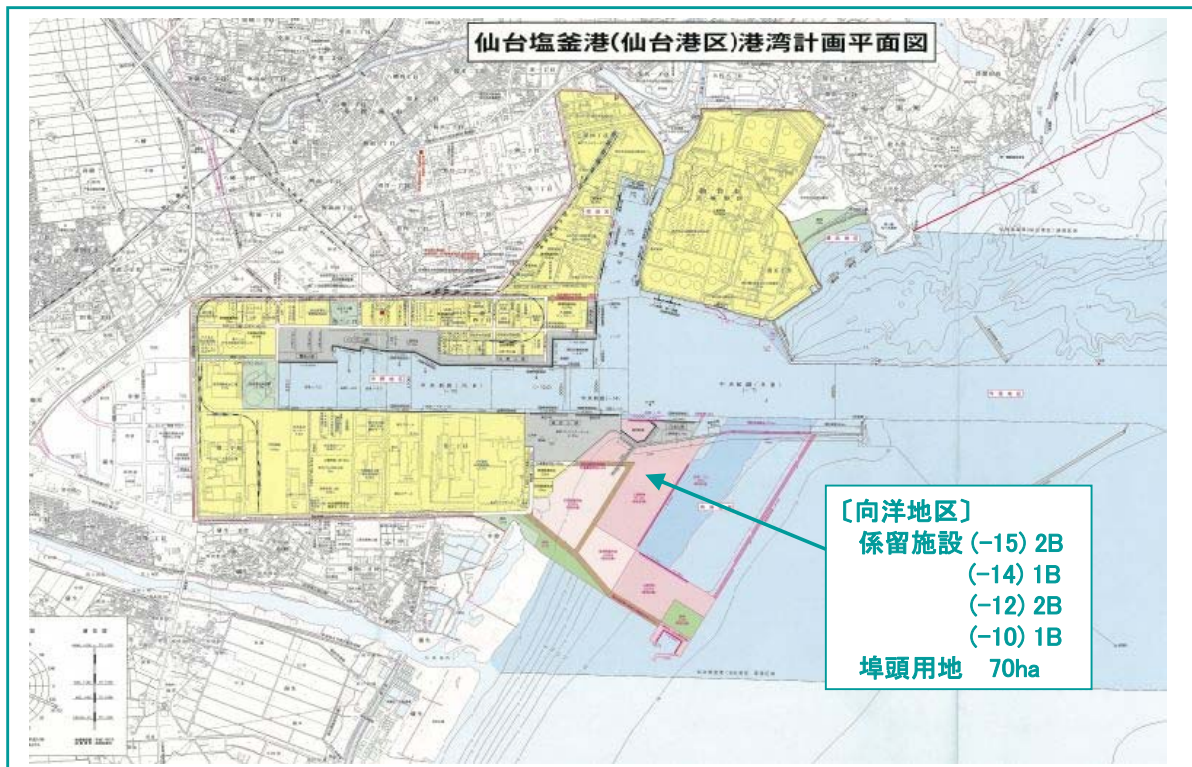
◇昭和 44 年 3 月 港湾審議会第 36 回計画部会(仙台港区)



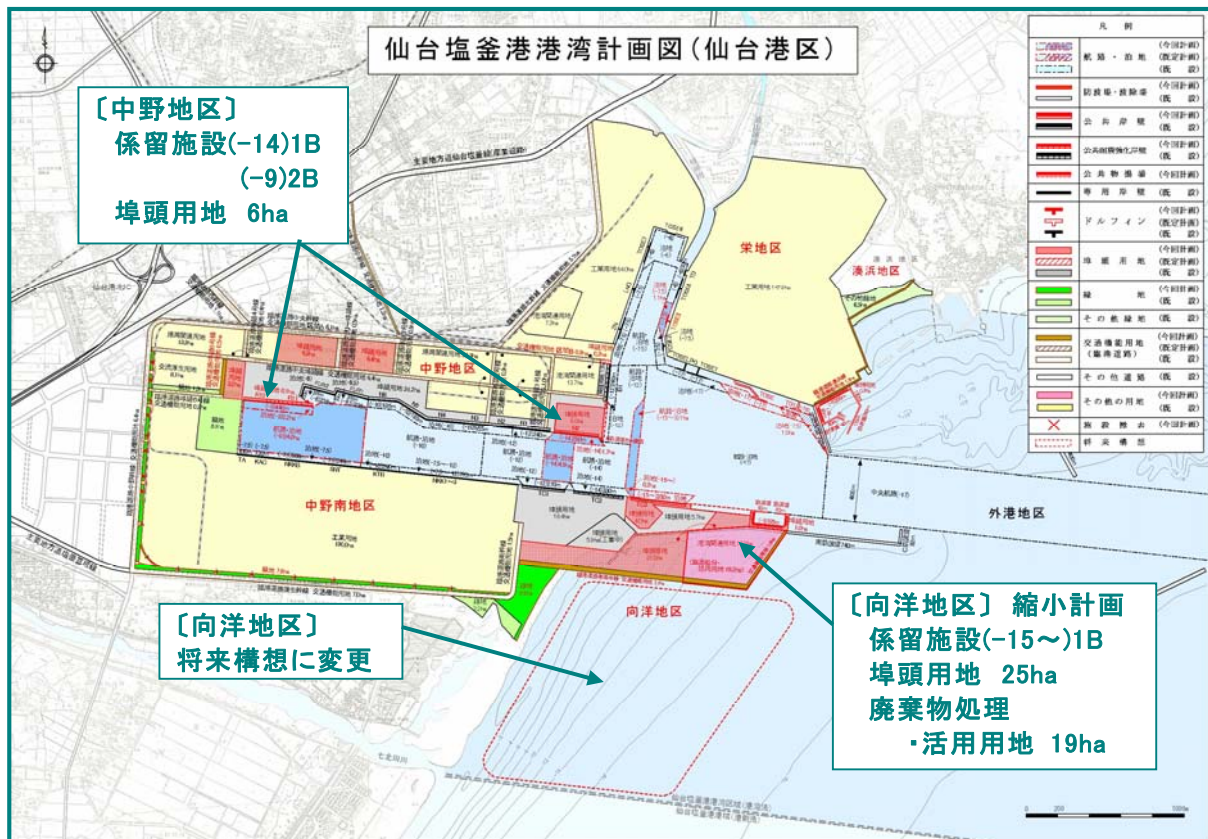
◇昭和 61 年 3 月 港湾審議会第 113 回計画部会(仙台港区)



◇平成 8 年 6 月 港湾審議会第 158 回計画部会(仙台港区)



◇平成 20 年 11 月 交通政策審議会第 33 回港湾分科会(仙台港区)



## 2) 仙台塩釜港（塩釜港区）

### ◇戦後（現在の港湾法制定以降）の計画改訂

- 昭和 39 年 8 月《仙台港区（新規）・塩釜港区》
- 昭和 61 年 3 月《仙台港区・塩釜港区》
- 平成 8 年 6 月《仙台港区・塩釜港区》
- 平成 20 年 11 月《仙台港区・塩釜港区》

塩釜港区は古くから陸奥国府多賀城への荷揚げ港として開かれたといわれ、藩政時代伊達政宗の水運振興策によって港町としての機能を発揮するようになり、四代藩主綱村公の特別保護政策により仙台藩の門戸港として繁栄をみた。

明治 43 年に第 2 種重要港湾に指定され、大正 4 年に第 1 期塩釜港修築工事に着手、昭和 8 年、東西埠頭、中埠頭、物揚場、臨港鉄道、航路等の近代港湾の整備がなされた。また、昭和 9 年には横浜税関塩釜支署が設置され、国際貿易港の指定を受け、今日の塩釜港の基盤が形成されるとともに港勢も発展し、昭和 26 年重要港湾に指定された。

平成 13 年 4 月 1 日、塩釜港（塩釜港区・仙台港区）は重要港湾から特定重要港湾に格上げされ、また、「塩釜港」の名称は「仙台塩釜港」に変更となった。



昭和 38 年撮影



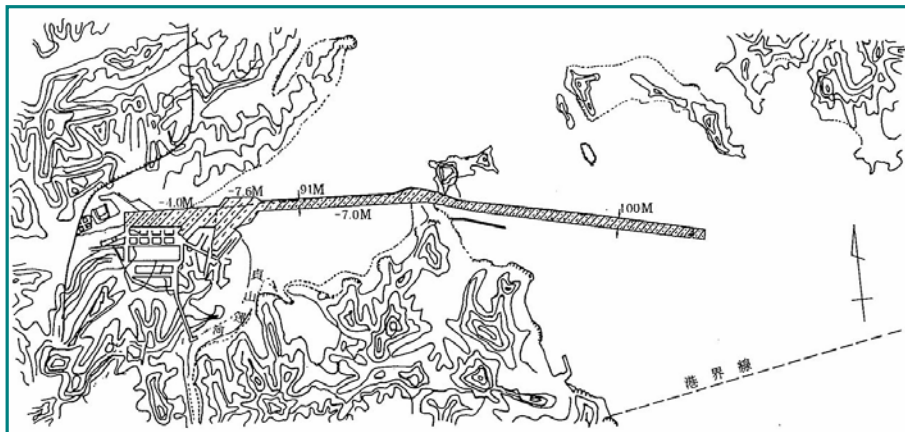
昭和 61 年撮影



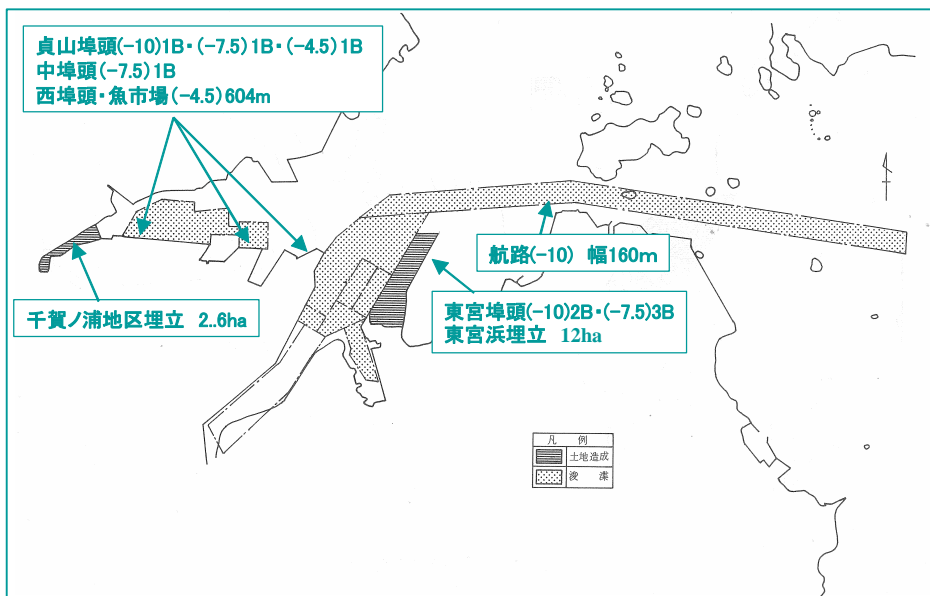
平成 19 年撮影



◇昭和 7 年 臨時港湾調査会計画図(塩釜港区)



◇昭和 39 年 8 月 港湾審議会第 23 回計画部会(塩釜港区)



◇昭和 61 年 3 月 港湾審議会第 113 回計画部会(塩釜港区)

